

# 令和6年度 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事 設計図

図面リスト											
〔意匠図〕				〔電気設備図〕				〔機械設備図〕			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	特記仕様書(改修その1)	—	A-36	コートライン・器具配置図	1/100	E-01	電気設備工事特記仕様書	—	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	—
A-02	特記仕様書(改修その2)	—	A-37	下屋根・庇防水改修詳細図(改修前・改修後)	1/50,30	E-02	配置図	1/150	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	—
A-03	特記仕様書(改修その3)	—	A-38	トップライト廻り詳細図	1/50,20	E-03	受変電設備単線結線図(改修前・改修後)	—	M-03	機器表・雑詳細図	—
A-04	特記仕様書(改修その4)	—	A-39	雑詳細図	1/20,5	E-04	幹線動力設備図(改修後)	1/100	M-04	機械設備 平面図(改修後)	1/100
A-05	特記仕様書(改修その5)	—	A-40	既存構造図(参考図) 基礎伏図・中間梁・下屋根伏図	1/100	E-05	照明器具姿図(改修前・改修後)	—	M-05	アリーナ展開図(改修後)	1/50
A-06	特記仕様書(改修その6)	—	A-41	既存構造図(参考図) 軒梁伏図・屋根伏図	1/100	E-06	電灯コンセント設備図(改修前・撤去図)	1/100	M-06	立面図(改修後)	1/100
A-07	仕上表(改修前・改修後)	—	A-42	既存構造図(参考図) 軸組図	1/200	E-07	電灯コンセント設備図(改修後)	1/100	M-07	制御装置 平面図(改修後)	1/100
A-08	案内図・配置・仮設図(参考)	1/500	A-43	既存構造図(参考図) 部材リスト	1/30	E-08	弱電設備図(改修前・撤去図)	1/100	M-08	空調室内機鉄骨架台詳細図(参考図)	1/20,10
A-09	床面積求積図	1/100,50				E-09	弱電設備図(改修後)	1/100	M-09	空調室内機防球ガード詳細図(参考図)	1/20
A-10	仮設計画図(参考図)	1/100				E-10	自動火災報知設備図(改修前・撤去図)	1/100	M-10	カードタイマー計装概略図	—
A-11	1階平面図(改修前)	1/100				E-11	自動火災報知設備図(改修後)	1/100			
A-12	1階平面図(改修後)	1/100									
A-13	1階(上部)平面図・屋根伏図(改修前)	1/100									
A-14	1階(上部)平面図・屋根伏図(改修後)	1/100									
A-15	立面図-1	1/100									
A-16	立面図-2(外壁調査図)	1/100									
A-17	断面図(改修前)	1/100									
A-18	断面図(改修後)	1/100									
A-19	1階平面詳細図(改修前・改修後)	1/30									
A-20	矩計図-1(改修前)	1/20									
A-21	矩計図-1(改修後)	1/20									
A-22	矩計図-2(改修前)	1/20									
A-23	矩計図-2(改修後)	1/20									
A-24	空調室内機取付部詳細図	1/20									
A-25	展開図-1(改修前)	1/50									
A-26	展開図-1(改修後)	1/50									
A-27	展開図-2(改修前)	1/50									
A-28	展開図-2(改修後)	1/50									
A-29	1階天井伏図(改修前・改修後)	1/100									
A-30	1階(上部)天井伏図	1/100									
A-31	建具キープラン(改修前)	1/100									
A-32	建具キープラン(改修後)	1/100									
A-33	建具表-1	1/50									
A-34	建具表-2	1/50									
A-35	床伏図(改修前・改修後)	1/100									
小計 43枚				小計 11枚				小計 10枚			
小計 64枚											

工事名 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事

特記仕様書

- I 工事概要
1. 工事場所 埼玉県春日部市八丁目353番地1
2. 敷地面積 22,125㎡ (施設台帳上)
3. 工事種目 (建物概要) 棟名称・構造・階数・延べ面積
体育館・RC造・1階・697.04㎡
4. 工事内容 (外部) 屋根防水塗装改修
下屋屋根・庇防水改修
外壁改修(劣化部補修・断熱塗装)、雨樋改修(堅樋)
アルミ製建具改修(ガラス交換・断熱フィルム貼)
受変電設備改修
空調設備設置に伴う配管、配線、非常用電源接続盤設置
換気設備設置
(内部) 床改修(アリーナ・ステージ・再塗装、倉庫：床下地改修)
空調設備設置及び設置に伴う配管、配線
アリーナ等内装・塗装改修
内部建具改修
換気設備設置及び設置に伴う配管、配線
照明器具改修(LED化)
自動火災報知設備改修
屋内消火栓設備(収納箱)
吊下げバスケットゴールの昇降装置更新
その他雑改修
※図面記載事項は全て本工事とする。

- 5. 工期 契約工期 契約書による。
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
ただし、仮設工事等は施設との協議による。

- 6. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

Table with 2 columns: 工事項目, 工事種目. Lists items like 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, etc.

II 建築改修工事仕様

- (1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。))による。
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と○印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、○のみを適用する。
3) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、( )内は製品名を示す。
7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。
8) ※印は設計図書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。
9) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for various construction items like ① 一般共通事項, ② 条件明示事項, etc.

Technical specifications for ⑩ 技能士, ⑪ 化学物質の濃度測定, 20 中間検査, 21 完成図等, 22 保証書, 23 工所用図面, 24 その他, ⑫ 仮設工事, ⑬ 足場等, ⑭ 仮設間仕切り, ⑮ 既存部分の養生. Includes tables for chemical concentration measurement and safety measures.

Technical specifications for 5 監督員事務所, ⑯ 現場表示板, ⑰ 工用水, ⑱ 工用電力, ⑲ 工用搬入器, ⑳ 仮囲い, ㉑ 交通誘導員, 12 快通トイレ, ⑳ 防水改修工事, 5 アスファルト防水. Includes tables for waterproofing and asphalt paving.

6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水
屋内防水 防水層の種類
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
高日射反射率防水の適用
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

9 シーリング
10 とい
11 アルミニウム製止水
12 防水工事施工票
4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁
高日射反射率防水の適用
脱気装置の種類及び設置数量
シーリング改修工法の種類
シーリング材の目地寸法
ルーフトレンドレンの種別及び呼び

2 欠損部改修工法
1 既存モルタル塗りの撤去
2 タイルの形状、寸法等
3 ひび割れ部改修工法
4 欠損部改修工法
モルタル塗り仕上げ外壁
高日射反射率防水の適用
脱気装置の種類及び設置数量
シーリング改修工法の種類
シーリング材の目地寸法
ルーフトレンドレンの種別及び呼び

5 浮き部改修工法
6 目地改修工法
塗り仕上げ外壁等
3 マスチック塗材塗り
4-5 外壁用塗膜防水材塗り
タイル張替え工法
アンカーピン
注入口アンカーピン
タイル部分張替え工法
目地改修工法
既存塗膜等の除去・下地調整
塗り仕上げ外壁等
仕上塗材仕上げ
マスチック塗材塗り
外壁用塗膜防水材塗り

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ⑤ 改修工法, ⑥ 鋼製軽量建具, and ⑦ 鋼製建具. Each section contains detailed technical specifications, material lists, and performance requirements.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 10 ステンレス製建具, 11 木製建具, 12 建具用金物, 13 鍵, 14 自動ドア開閉装置, 15 自閉式上吊り引戸装置性能, and 16 重量シャッター. Each section contains detailed technical specifications and material lists.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 17 軽量シャッター, 18 オーバーヘッドドア, ⑨ ガラス, 20 ガラスブロック, and ⑩ ガラス用フィルム. Each section contains detailed technical specifications, material lists, and performance requirements.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ⑥ 内装改修工事, ① 改修範囲, ② 既存床の撤去及び下地補修, ③ 既存壁の撤去及び下地補修, ④ 施工一般, 5 製材, 6 造作用集材, and 7 造作用単板積層材. Each section contains detailed technical specifications and material lists.

8 合板等	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
		※5.5 ・12	ワラン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
9 接合具等	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
		※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・※12
					・適用する ・適用しない
10 接着剤	「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない
11 防蟻・防蟻処理	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・5.5	・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
12 内部間仕切組及び床組み	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
13 窓、出入口その他	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・5.5	・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
14 軽量鉄骨天井下地	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない

15 軽量鉄骨壁下地	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
		※5.5 ・12	ワラン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
16 ビニル床シート	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
		※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・※12
					・適用する ・適用しない
17 ビニル床タイル	「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない
18 特殊機能床材	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・5.5	・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
19 ビニル幅木	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
20 ゴム床タイル	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
21 カーベツト敷き	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない

22 合成樹脂塗床	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
23 フローリング張り	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
24 畳敷き	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない

25 モルタル塗り	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
26 タイル張り	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
27 セルフレベリング材塗り	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
28 フリーアクセスフロア	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
29 可動間仕切	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
30 移動間仕切	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
31 トイレブース	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない
32 手すり	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		
					・適用する ・適用しない

35 階段滑り止め
36 黒板及びホワイトボード
37 表示
38 タラップ
39 ブラインド
40 ロールスクリーン
41 カーテン
42 カーテンレール
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
44 天井点検口
45 床点検口
46 くつきマット
47 流し台ユニット
48 鋼製書架及び物品棚

49 屋内掲示板
50 洗面カウンター
51 防煙垂れ壁
52 収納家具
⑦ 塗装改修工事
⑧ 錆止め塗料塗り
⑨ 塗装
⑩ 鋼製書架及び物品棚

8 耐震改修工事
9 石綿粉じん濃度測定
10 石綿含有吹付け材の除去
11 石綿含有保温材等の除去
12 石綿含有成形板の除去
13 石綿含有建築用仕上塗材等の除去
14 PCB含有シーリング材処分
15 外断熱改修工事

8 断熱・防露改修工事
9 屋上緑化改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
12 濁水の処理

鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類記号 呼び径(mm) 備考 SD295 ※D16以下 SD345 ※D19以上
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 溶接金網 鉄筋格子
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 機械式継手 ※D19以上 溶接継手 耐力壁の鉄筋 重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 重ね継手 ガス圧接 その他の鉄筋( ) 重ね継手 溶接継手
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による( ) 機械式定着工法 運用場所 種類 摩接圧接合部 螺合グラウト固定 嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) 図示による( ) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所( ) 最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm
	⑥ 各部配筋	※図示による (5.3.7)
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(f)(a)による) 引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(f)(b)による
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3.5) 図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 A級 種類 ねじ式鉄筋継手 充填方式 無機グラウト方式 有機グラウト方式 端部ねじ加工継手 モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 評定等の評価内容による 試験方法 評定等の評価内容による 超音波測定試験 試験対象 抜取り ロット 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	⑨ 溶接継手	適用箇所 (5.5.3.5) ○図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 A級 溶接継手の工法 図示による( ) 鉄筋相互のあき 標準仕様書5.3.5(4)による 評定等の評価内容による 図示による( )

コンクリート工事	① コンクリートの種類等	施工完了後の溶接部の試験 ○外観試験 ※全数 試験対象 試験項目 評定等の評価内容による 試験方法 評定等の評価内容による 超音波測定試験 試験対象 抜取り ロット 1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	② セメント	種類 (6.2.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 高炉セメントB種 ( ) 適用箇所(1FLより下部(立上り部含む)) フライアッシュセメントB種 ( ) 適用箇所( )
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下)
	④ 混和材料	混和剤の種類 (6.3.1) ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による( )
	6 湿潤養生	打継ぎ目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) 標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による( )
	⑦ コンクリートの仕上り	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) 図示による( ) 湿潤養生の期間 (6.7.2) セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( )日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種別 適用箇所 A種 ※図示による( ) B種 ※図示による( ) C種 ※図示による( ) コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 a種 ※図示による( ) b種 ※図示による( ) c種 ※図示による( )
	8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm 20mm 外装タイル後張り面の打増し処理 20mm 打増し範囲 図示による( )
	⑨ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板(※12mm ) ( ) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による( ) MOR工法用シートの使用 適用箇所 図示による( ) 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による( ) スリーブの材質、規格等 図示による( )
	10 軽量コンクリート	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による 普通エコセメントの場合(※図示による( ) ) 適用箇所 (6.10.1.2) 図示による( ) 種類 1種 2種 気乾単位容積質量 標準仕様書 表6.10.1による スラブ ※21cm

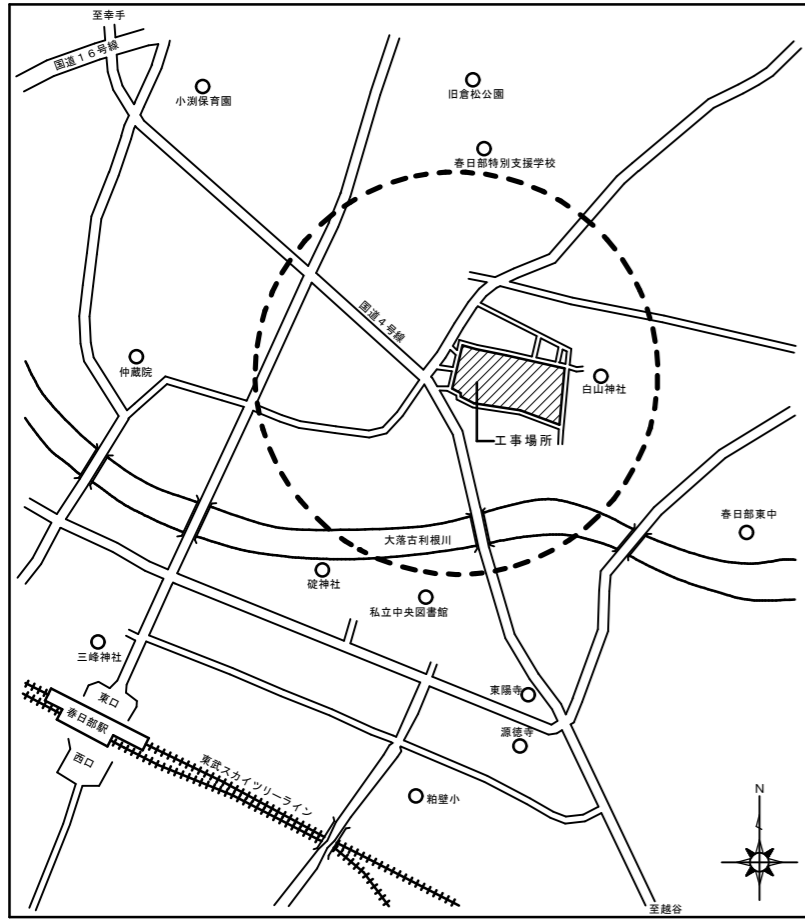
11 寒中コンクリート	適用期間(月日～月日) (6.11.1.2) 構造体強度補正值(S)を構築温度を基に定める場合 図示による( )、S=( )
12 暑中コンクリート	適用期間(月日～月日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup> 図示による( )、S=( )
13 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1.2) 図示による( ) セメントの種類 普通ポルトランドセメント 中熱熱ポルトランドセメント 低熱熱ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 シリカセメント 混和材料の適用 あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による) 標準仕様書6.13.2(2)(f)による
14 無筋コンクリート	スラブ (6.14.1) ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 高炉セメントB種 ( ) フライアッシュセメントB種 ( ) 設計基準強度 ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による( )
15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m <sup>3</sup> に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(g)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画適合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放す。その後、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画適合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、TFA法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

外部仕上表						
部位	記号	改修前		改修後		備考
		既存仕上げ（新築時：昭和39年度）	既存仕上げ（改修歴）	下地処理	改修仕上げ・改修内容	
屋根	A	長尺鉄板 29# 平葺き OP塗 一部（頂部）長尺鉄板 29# 瓦葺き（芯木なし）OP塗 下地：アスファルトルーフィング17kg、木毛セメント板 t18、フックボルト止め	既設、4種ケレン、プライマー塗、天然アスファルト系塗料塗【昭和55年度】 一部、塗装改修【施工時期不明】	既存塗料除去（サンディング・溶剤拭き等）、高圧洗浄（15Mpa） 段差箇所・鋼板継ぎ目：シーリング材処理（専用編成シリコン系シート材）	特殊アクリルゴム系塗膜防水ローラー工法（高反射タイプ） （AQK-15ATS仕様 同等品） 天窓取合い部：シーリング材処理	
屋根 (天窓)	B	滝沢式トップライト：線入り型板ガラス t6.8	既設線入り型板ガラス t6.8撤去 木毛セメント板 t25下地、カラー鉄板 29# 瓦葺き（芯木なし）【昭和60年度】	高圧洗浄（15Mpa） 段差箇所・鋼板継ぎ目：シーリング材処理（専用編成シリコン系シート材）	特殊アクリルゴム系塗膜防水ローラー工法（高反射タイプ） （AQK-15ATS仕様 同等品）	
屋根 (内樋・並木)	C	内樋：モルタル防水塗 並木：モルタル防水塗	下地処理の上、塗膜防水【施工時期不明】	既存防水層撤去、高圧洗浄（15Mpa） 特殊アクリル樹脂系防水材塗布（全面）	特殊アクリルゴム系塗膜防水ローラー工法（高反射タイプ） （AQK-15ATS仕様 同等品）	既設ルーフトレン（縦型）：上皿【撤去】 ドレン廻り：新り・モルタル修正の上、改修用鋼製二重ドレン【新設】
下屋根 (下屋根根1、2・並木)	D	屋根：モルタル防水塗 並木：モルタル防水塗	下地処理の上、塗膜防水【施工時期不明】	既存防水層撤去、高圧洗浄（15Mpa） 特殊アクリル樹脂系防水材塗布（全面）	高粘性ウレタン塗膜防水メッシュフリー密着工法（高反射タイプ） （60-JIN G00-3VSC仕様 同等品） 端部：ウレタン系シーリング材処理	既設ルーフトレン（横型）：上皿【撤去】 ドレン廻り：新り・モルタル修正の上、改修用鋼製二重ドレン【新設】
庇 (庇1、2)	E	屋根：モルタル防水塗 並木：モルタル防水塗	下地処理の上、塗膜防水【施工時期不明】	既存防水層撤去、高圧洗浄（15Mpa） 特殊アクリル樹脂系防水材塗布（全面）	高粘性ウレタン塗膜防水メッシュフリー密着工法（高反射タイプ） （60-JIN G00-3VSC仕様 同等品） 端部：ウレタン系シーリング材処理	既設ルーフトレン（縦型）：上皿【撤去】 ドレン廻り：新り・モルタル修正の上、改修用鋼製二重ドレン【新設】
庇 (庇3)	F	屋根：モルタル防水塗 並木：モルタル防水塗	下地処理の上、塗膜防水【施工時期不明】	既存防水層撤去、高圧洗浄（15Mpa） 特殊アクリル樹脂系防水材塗布（全面）	高粘性ウレタン塗膜防水メッシュフリー密着工法（高反射タイプ） （60-JIN G00-3VSC仕様 同等品） 端部：ウレタン系シーリング材処理	
軒裏	H	モルタル刷毛引き仕上、エマルシン吹付	既設、高圧洗浄、補修の上シーラー下地、アクリルリシン吹付【昭和60年度】	劣化部（ひび割れ・モルタル浮き・爆裂部）：補修 高圧洗浄（30Mpa）、下地調整（C-1）吹付	広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー 断熱塗料用専用主材 低汚染アクリルシリコン樹脂系外壁用遮熱塗料	
外壁 (柱型・梁型含む)	I	RC部：モルタル刷毛引き仕上、エマルシン吹付 CB部：モルタル刷毛引き仕上、エマルシン吹付	既設、高圧洗浄、補修の上シーラー下地、アクリルリシン吹付【昭和60年度】	劣化部（ひび割れ・モルタル浮き・爆裂部）：補修 高圧洗浄（30Mpa）、下地調整（C-1）吹付	広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー 断熱塗料用専用主材 低汚染アクリルシリコン樹脂系外壁用遮熱塗料	植物繁茂：撤去
外壁 (梁型 天窓)	J	モルタル刷毛引き仕上、エマルシン吹付	既設、高圧洗浄、補修の上シーラー下地、アクリルリシン吹付【昭和60年度】	劣化部（ひび割れ・モルタル浮き・爆裂部）：補修 高圧洗浄（30Mpa）、樹脂モルタルノ引き	高粘性ウレタン塗膜防水メッシュフリー密着工法（高反射タイプ） （60-JIN G00-3VSC仕様 同等品） 端部：ウレタン系シーリング材処理	
外壁 (1階ALC版部)	K	CB部：モルタル刷毛引き仕上、エマルシン吹付	既設CB部：一部撤去 ALC版 t100、下地処理の上、アクリルタイル吹付【平成20年度】	劣化部（ひび割れ・モルタル浮き・爆裂部）：補修 高圧洗浄（30Mpa）	広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー 断熱塗料用専用主材 低汚染アクリルシリコン樹脂系外壁用遮熱塗料	
外巾木	L	モルタル刷毛引き仕上		劣化部（ひび割れ・モルタル浮き・爆裂部）：補修 高圧洗浄（30Mpa）	基礎巾木専用塗料塗	
外部建具	M	アルミ製 スチール製	既設スチール製建具撤去、アルミ製建具に改修【昭和60年度】		サッシ廻りシーリング：撤去・新設 ガラス：清掃	
壁樋	N	鉄管 120φOP塗、養生管 150φOP塗装	既設壁樋撤去 塩ビ管100φ、養生管OP塗【昭和60年度】		既設壁樋：撤去（養生管・支持金物共） カラー塩ビ管100φ・養生管（カラー塩ビ管125φh1,000）：新設	
床下換気口	O	鋳鉄製（150×600）		高圧洗浄（30Mpa）、下地処理	DP塗装	
玄関ポーチ	P	モルタル塗 金コテ仕上げ			高圧洗浄（30Mpa）	
渡り廊下入り口	Q	モルタル塗 金コテ仕上げ	既設階段の上、コンクリート打設、防塵塗装塗り（スロープ）		高圧洗浄（30Mpa）	
外階段	R	モルタル塗 金コテ仕上げ			高圧洗浄（30Mpa）	
渡り廊下	S			鉄部：下地処理RB種 腰壁面：下地処理RB種	鉄部：DP塗装 腰壁面：水性艶消し塗り	既存屋根、タイトフレーム撤去・新設 既存軒樋、縦樋撤去新設

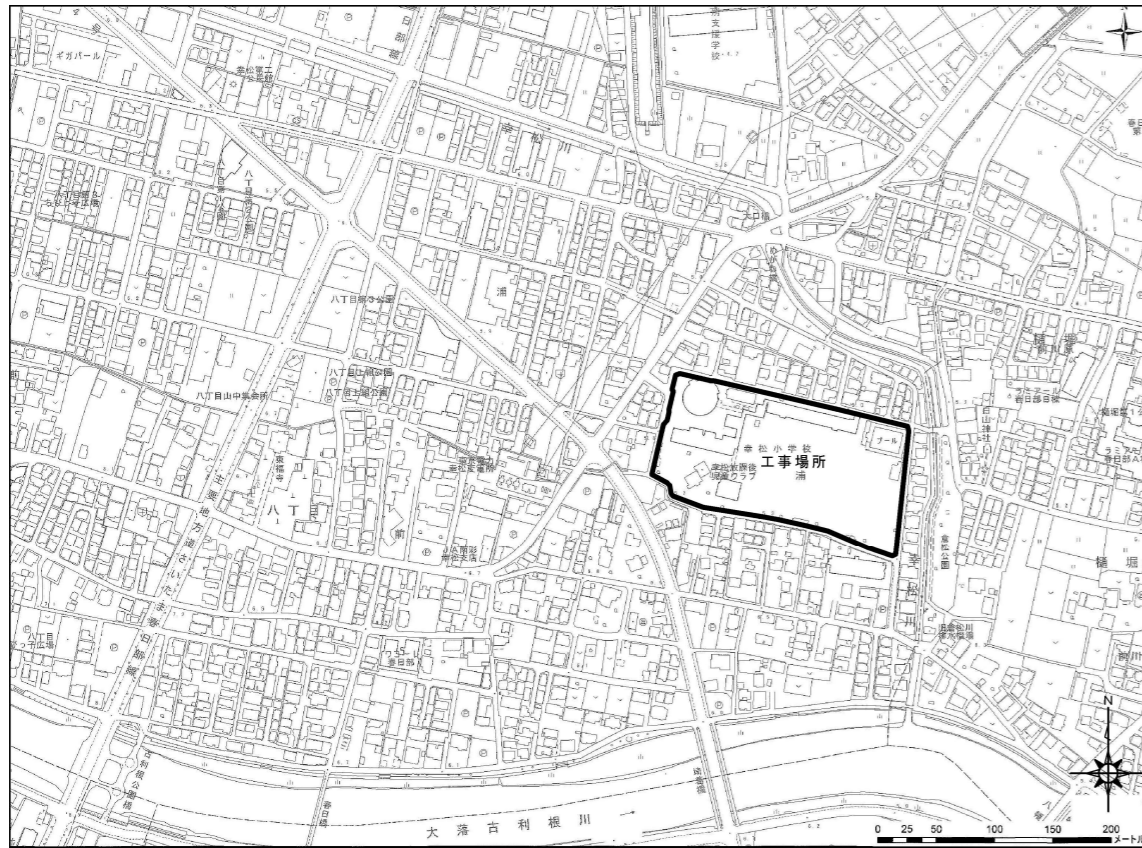
内部仕上表																		
階	室名		床			巾木			腰（中間梁以下）			壁			天井			備考
			下地	仕上		H	下地	仕上		H	下地	仕上		H	下地	仕上		
1階	アリーナ	改修前	鋼製梁	フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り（ユニットフロア）	W	ラウン OS	100	W ALC RC	木毛セメント板 t12・フナフロー（36×36）下地、 有孔ペニヤ t5.5目透し貼 OS塗装 LGS-65・構造用合板 t12下地 有孔ペニヤ t5.5目透し貼 OS塗装 モルタル塗り、ハードボード t4 目透し、OS塗装 下地処理の上、AP吹付		RC W	モルタル塗り、ハードボード t4 目透し、OS塗装 ステージ側壁：ハードボード t4 目透し、OS塗装	S	木毛セメント板 t18表し、白セメント吹付			5,720~ 9,500	既設暗幕：取外し、カーテンレール：一部撤去 排煙用オペレーター：一部撤去
		改修後	鋼製梁	既存床：ドラムサンダー掛け、 2液型油性ポリウレタン4回塗り 70-リノガード：隙間ナカ（床面積の1/3程度） 70-リノガード：一部補修（2m程度） フナフローリング t18		既存巾木：下地処理の上、OS塗装		既存床：撤去（木床組共）、 2液型油性ポリウレタン4回塗り 70-リノガード：一部補修（2m程度） フナフローリング t18 撤去部：下地処理の上、EP-G塗装		既存モルタル塗壁、劣化部補修・下地処理の上、吹付用軽量塗材 既存ボード壁：下地処理の上、OS塗装		現状のまま					コートライン：新設（別図コートライン図参照） 床下換気口・EXPゴム（18×20）：撤去・新設 防球柵：一時取外し・再取付、下地処理の上、EP-G塗装、一部改修（建具表参照） タラップ掛けパイプ：下地処理の上、EP-G塗装（一部撤去） 吊下げバスケットボールゴール昇降装置：撤去・新設（付属品共） 吊下げバスケットボールゴール：リング、ネット、ボード上可動装置撤去・新設 既設暗幕（録音・卒業制作）：移設 暗幕：再取付（一部撤去）、カーテンレール：一部新設 排煙用オペレーター：一部新設	
	ステージ	改修前	木床組	フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り	W	ラウン OS	100				W	ハードボード t4 目透し、OS塗装	S	木毛セメント板 t18表し、白セメント吹付 ブドウ欄：鋼製			4,000	
		改修後	鋼製梁	既存床：ドラムサンダー掛け、 2液型油性ポリウレタン4回塗り 既存床・階段：下地処理の上、ウレタン塗装		現状のまま		既存床：撤去（木床組共）、 2液型油性ポリウレタン4回塗り 既存床・階段：下地処理の上、ウレタン塗装		既存モルタル塗壁、劣化部補修・下地処理の上、吹付用軽量塗材 既存ボード壁：下地処理の上、OS塗装		現状のまま						椅子倉庫台車鋼板床：下地処理の上、EP-G塗装
	倉庫1	改修前	木床組	フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り	RC	ラウン OS	100				RC-CB	モルタル塗り、VP塗装	RC	ブラスター塗			2,360	
		改修後	鋼製梁	既存床：撤去（木床組共）、 2液型油性ポリウレタン4回塗り フナフローリング t18張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り（ユニットフロア） フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り		既存巾木：撤去 モルタル塗り補修、ビニル巾木：新設	100	既存壁：劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装		既存壁、劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装		既存天井：下地処理の上、EP塗装						床下点検口（7尺×600×600）：新設
	倉庫2	改修前	木床組	フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り	RC	ラウン OS	100				RC-CB W	モルタル塗り、VP塗装 木下地・合板 t4、SOP塗装	RC	ブラスター塗			2,410	
		改修後	鋼製梁	既存床：撤去（木床組共）、 2液型油性ポリウレタン4回塗り フナフローリング t18張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り（ユニットフロア） フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り		既存巾木：撤去 モルタル塗り補修、ビニル巾木：新設 ボード壁：ビニル巾木	100	既存壁、劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装 木下地壁：撤去 LGS-65・ラウン合板 t12下地、シナ合板 t5.5貼 OS塗装		既存壁、劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装 木下地壁：撤去 LGS-65・ラウン合板 t12下地、シナ合板 t5.5貼 OS塗装		既存天井：下地処理の上、EP塗装						スチールラック：新設（床8カ所、壁4カ所固定） 床下点検口（7尺×600×600）：新設
	機材庫	改修前	木床組	フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り	RC	ラウン OS	100				RC-CB W	モルタル塗り、VP塗装 木下地・合板 t4、SOP塗装	RC	ブラスター塗			2,410	
		改修後	鋼製梁	既存床：撤去（木床組共）、 2液型油性ポリウレタン4回塗り フナフローリング t18張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り（ユニットフロア） フナフローリング t18特殊張り、ウレタン塗装 耐水合板 t12捨張り		既存巾木：撤去 モルタル塗り補修、ビニル巾木：新設 ボード壁：ビニル巾木	100	既存壁、劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装 木下地壁：撤去 LGS-65・ラウン合板 t12下地、シナ合板 t5.5貼 OS塗装		既存壁、劣化部補修・下地処理の上、EP-G塗装 木下地壁：撤去 LGS-65・ラウン合板 t12下地、シナ合板 t5.5貼 OS塗装		既存天井：下地処理の上、EP塗装						床下点検口（7尺×600×600）：新設
	男子トイレ	改修前	RC	モルタル下地、ビニル床シート t2貼	RC	床材立上げ	100				RC-CB LGS	モルタル塗り、EP-G塗装 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装	RC	ブラスター塗下地、EP塗装			2,540	
		改修後						既存LGS壁：一部撤去 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装		既存LGS壁：一部撤去 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装		トップライト：撤去 撤去部：コンクリート打設・モルタル塗り下地、EP塗装						
	女子トイレ	改修前	RC	モルタル下地、ビニル床シート t2貼	RC	床材立上げ	100				RC-CB LGS	モルタル塗り、EP-G塗装 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装	RC	ブラスター塗下地、EP塗装			2,540	トップライト：撤去
		改修後						既存LGS壁：一部撤去 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装		既存LGS壁：一部撤去 LGS-65・耐水石膏ボード t12.5下貼・ケイカル板 t6、EP-G塗装		トップライト：撤去 撤去部：コンクリート打設・モルタル塗り下地、EP塗装						

※アスベスト検査の結果、本工事に関わる場所にアスベストは含有していない。



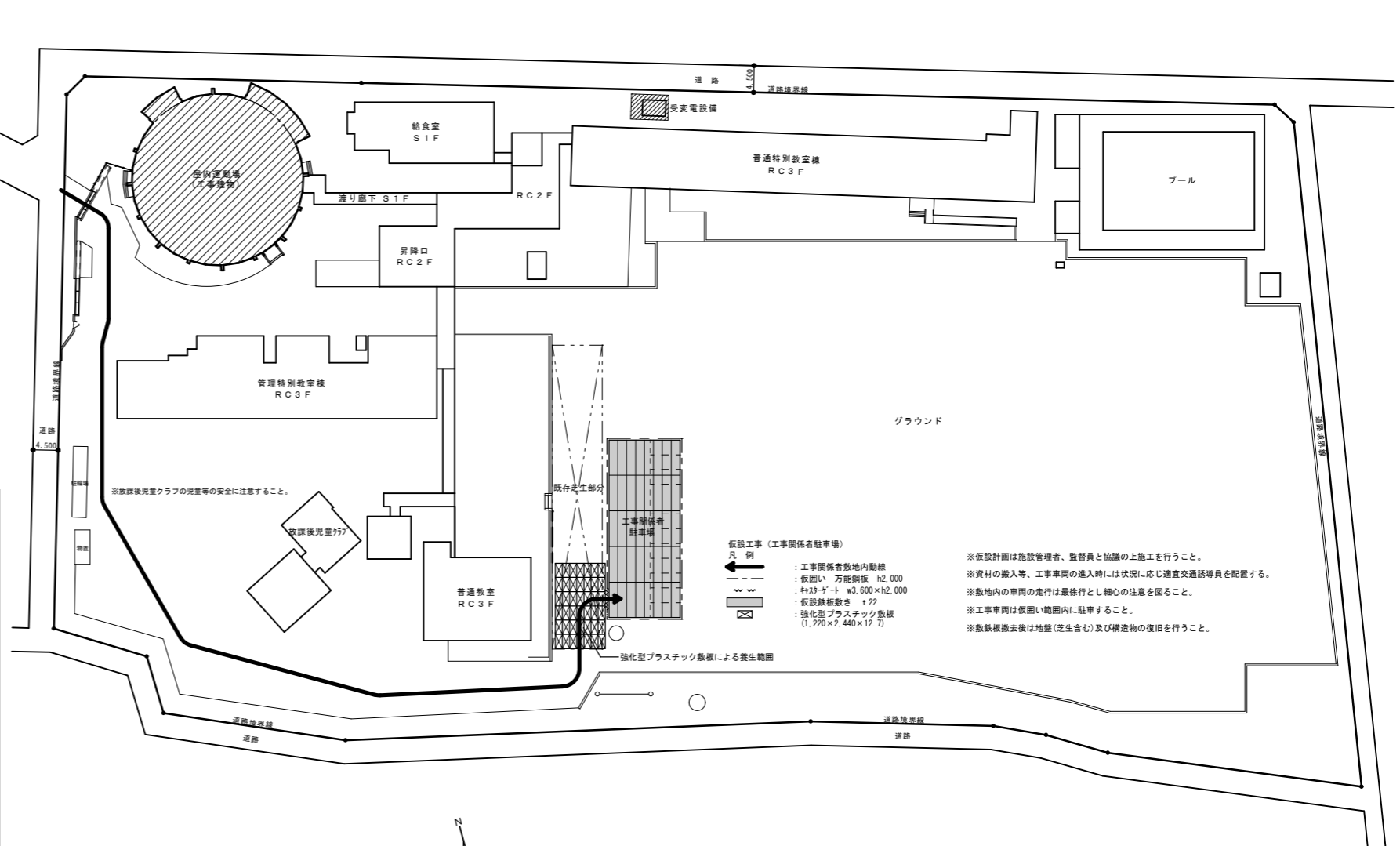


案内図



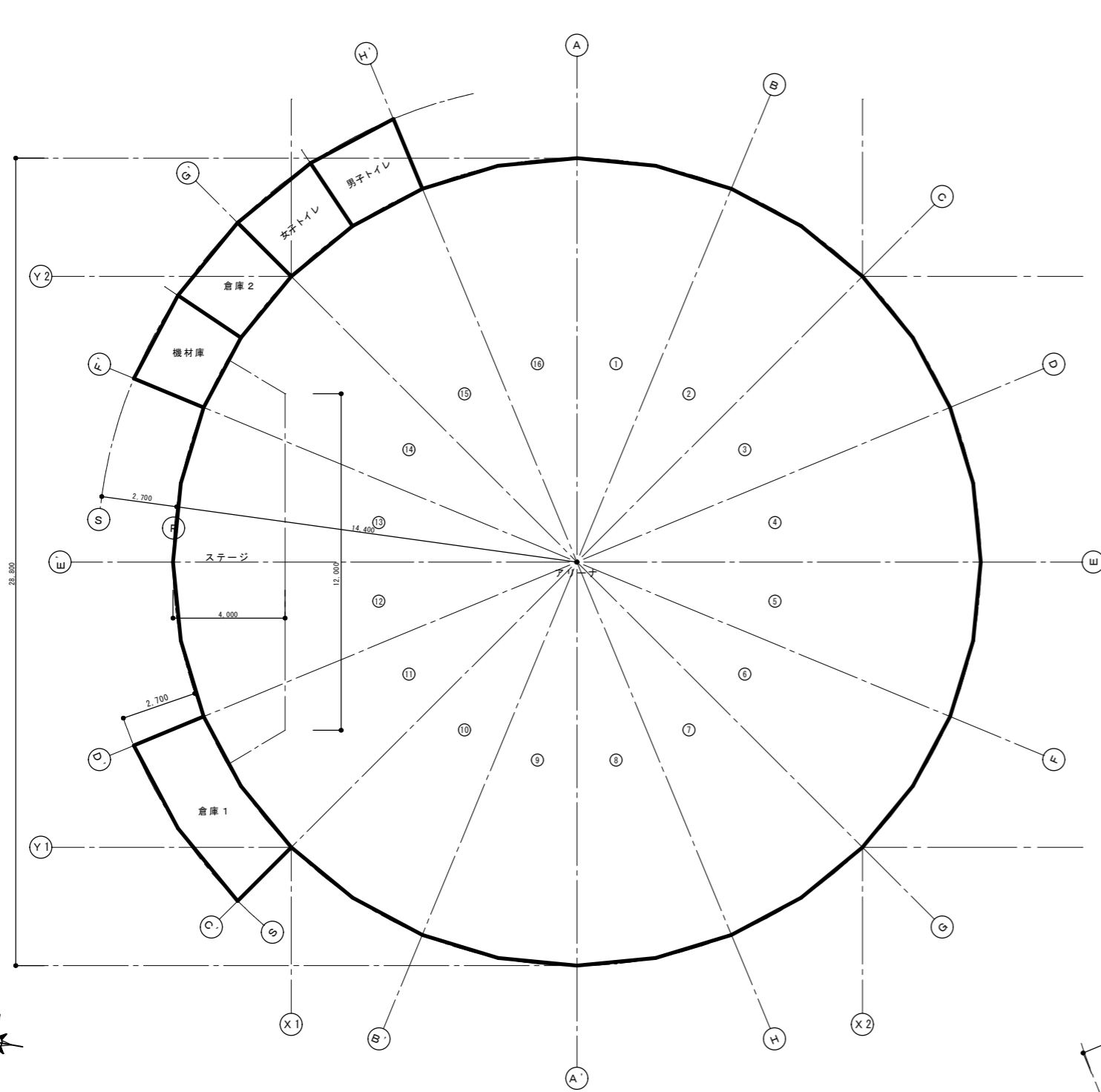
案内図

工事場所：埼玉県春日部市八丁目353番地1



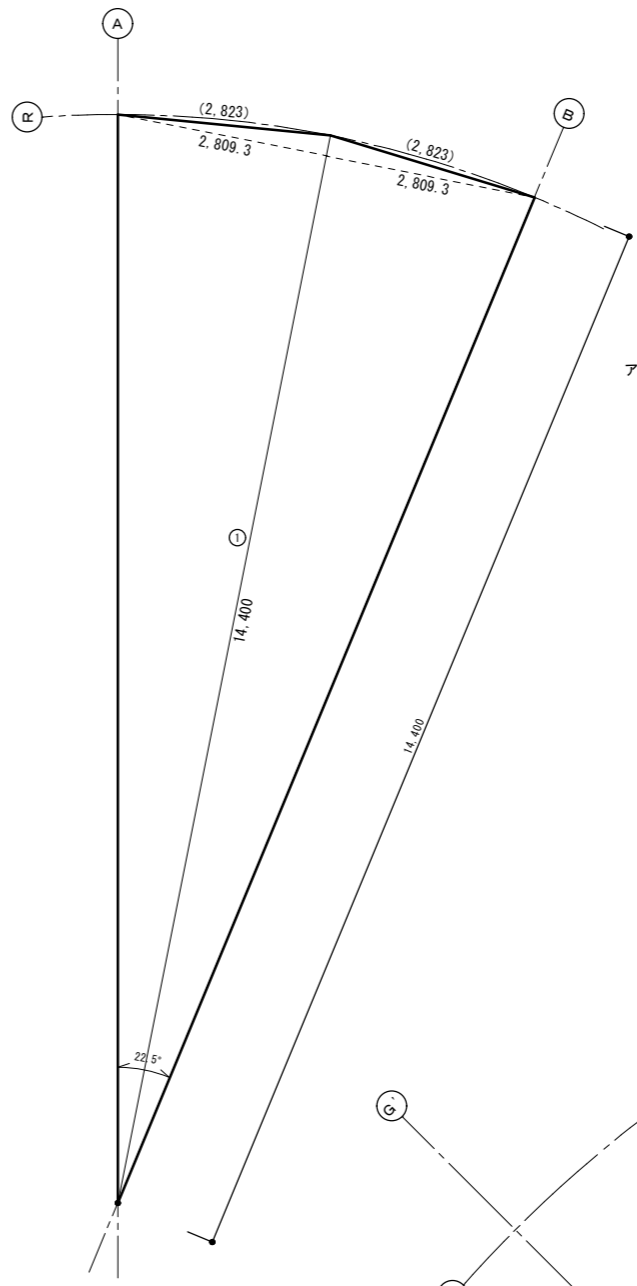
配置図 S=1/500

- 仮設工事（工事関係者駐車場）  
凡例
- 工事関係者敷地内動線
  - 仮囲い 万能鋼板 h2,000
  - 仮フェード w0,600×h2,000
  - 仮設鉄板敷き t22
  - 強化型プラスチック敷板 (1,220×2,440×12.7)
- ※仮設計画は施設管理者、監督員と協議の上施工を行うこと。  
※資材の搬入等、工事車両の進入時には状況に応じ適宜交通誘導員を配置する。  
※敷地内の車両の走行は最徐行とし細心の注意を要すること。  
※工事車両は仮囲い範囲内に駐車すること。  
※敷設板撤去後は地盤（芝生含む）及び構造物の復旧を行うこと。

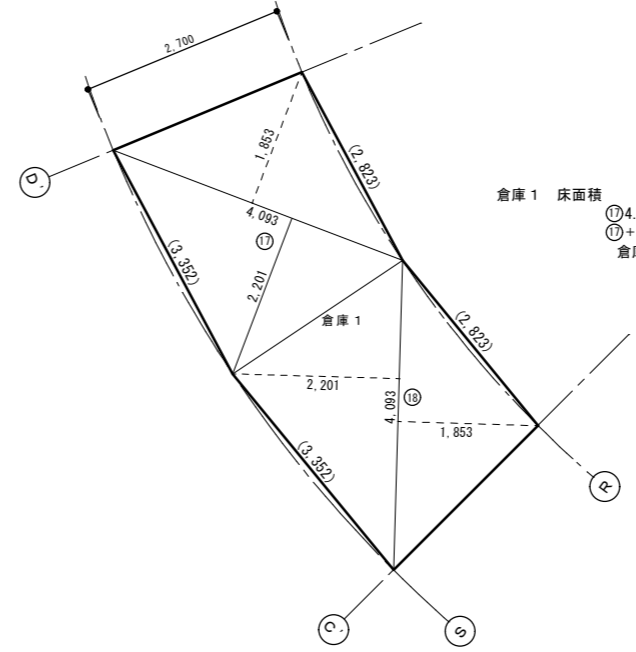


床面積求積図 S=1/100

面積表	
アリーナ(ステージ含む)	647.2627 m <sup>2</sup>
倉庫 1	16.5930 m <sup>2</sup>
男子トイレ	8.2965 m <sup>2</sup>
女子トイレ	8.2965 m <sup>2</sup>
倉庫 2	8.2965 m <sup>2</sup>
機材庫	8.2965 m <sup>2</sup>
計	697.0417 m <sup>2</sup>

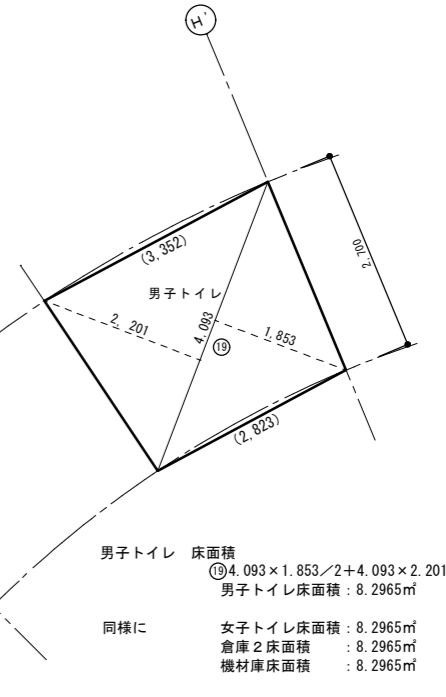


アリーナ 床面積 (ステージ含む)  
 ①  $(14.40 \times 2.8093 / 2) \times 2 = 40.45392$   
 ①~⑯  $40.45392 \times 16 = 647.26272$   
 アリーナ床面積 : 647.2627m<sup>2</sup>



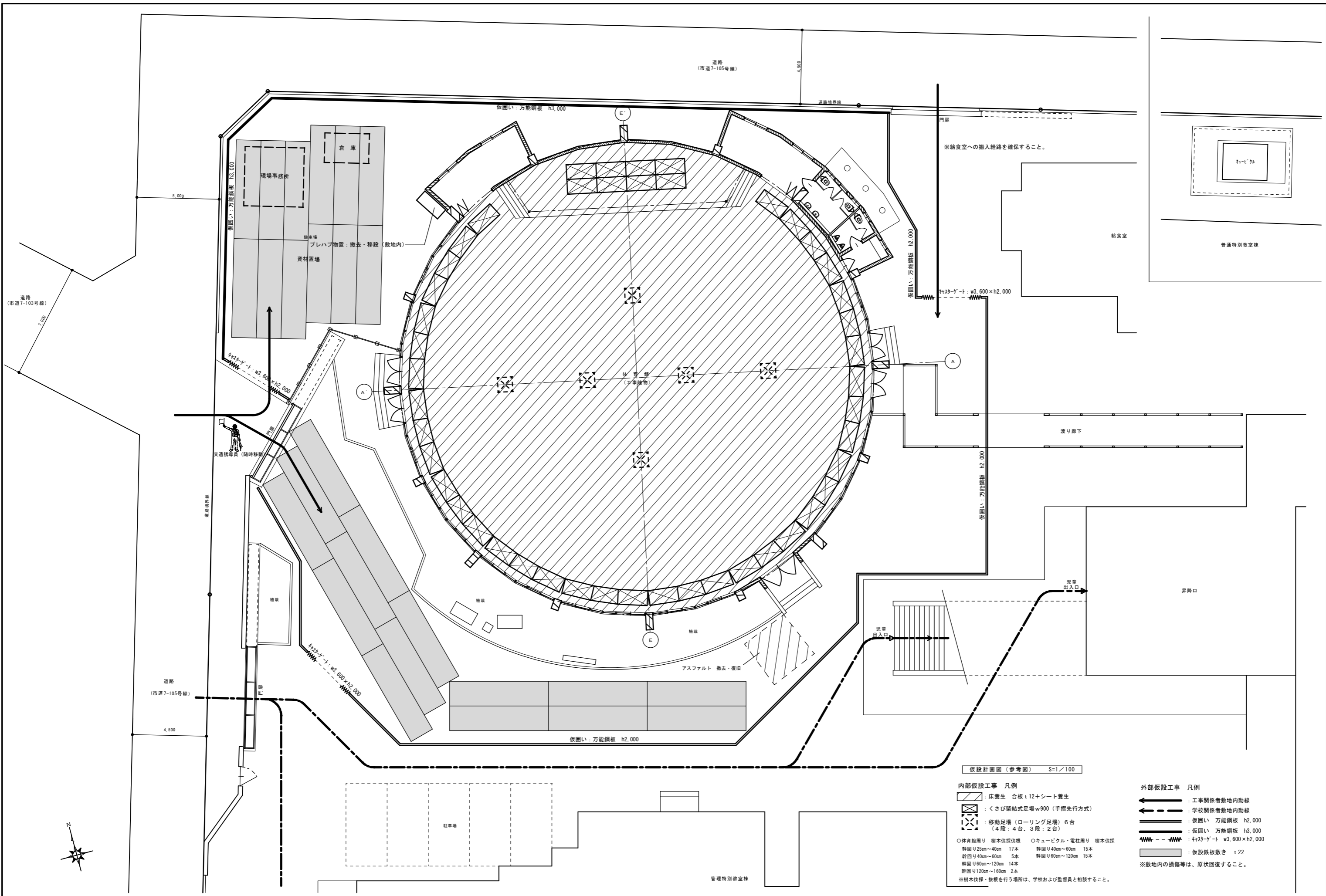
倉庫 1 床面積  
 ⑩  $4.093 \times 1.853 / 2 + 4.093 \times 2.201 / 2 = 8.296511$   
 ⑩+⑪  $8.296511 \times 2 = 16.593022$   
 倉庫 1 床面積 : 16.5930m<sup>2</sup>

床面積求積図 S=1/50



男子トイレ 床面積  
 ⑬  $4.093 \times 1.853 / 2 + 4.093 \times 2.201 / 2 = 8.296511$   
 男子トイレ床面積 : 8.2965m<sup>2</sup>  
 同様に  
 女子トイレ床面積 : 8.2965m<sup>2</sup>  
 倉庫 2 床面積 : 8.2965m<sup>2</sup>  
 機材庫床面積 : 8.2965m<sup>2</sup>





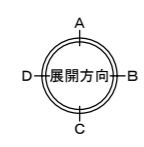
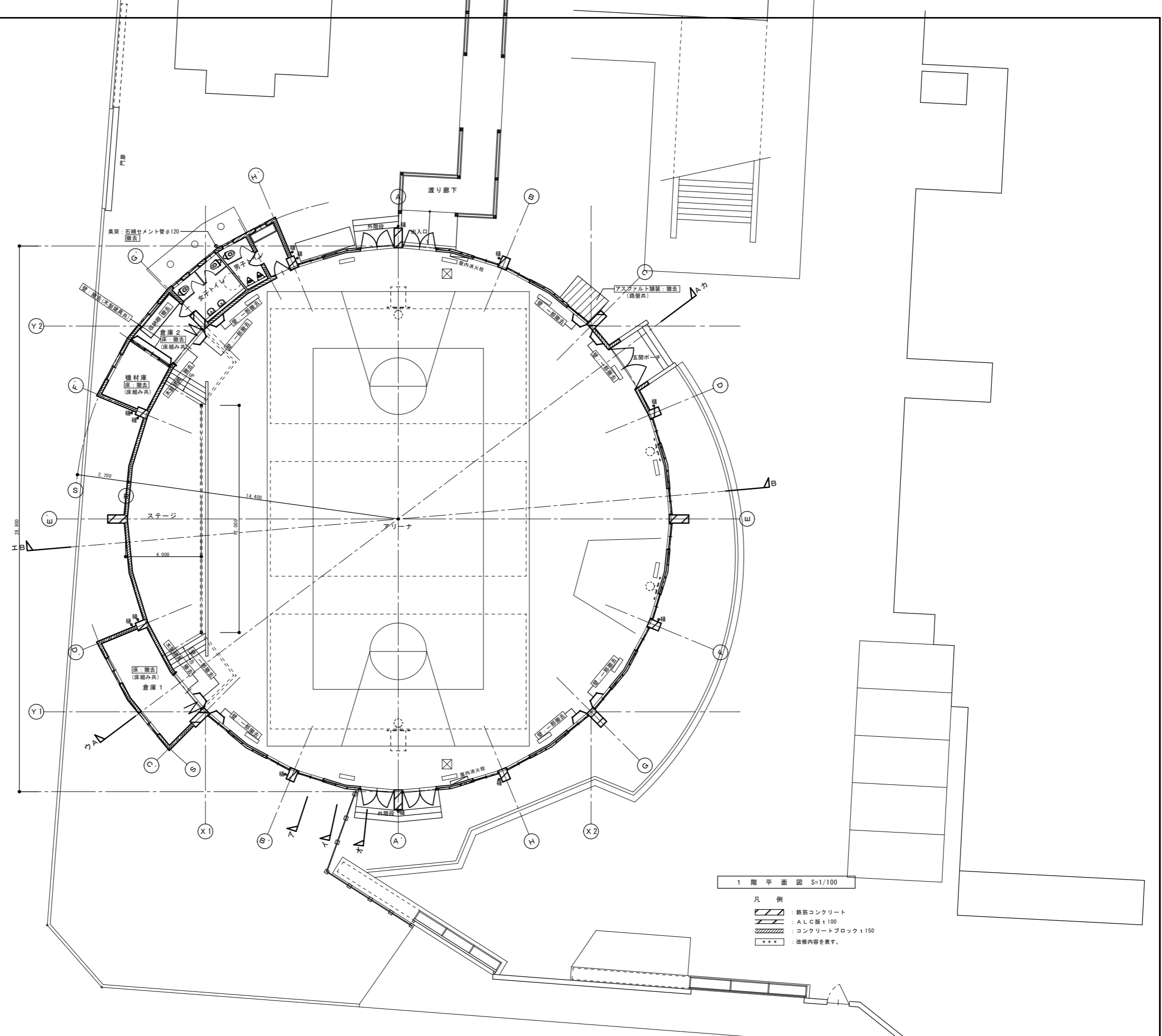
仮設計画図 (参考図) S=1/100

内部仮設工事 凡例

- 床養生 合板 t12+シート養生
  - くさび緊結式足場w900 (手摺先行方式)
  - 移動足場 (ローリング足場) 6台 (4段: 4台、3段: 2台)
  - 体育館周り 樹木伐採伐根
    - 幹回り25cm~40cm 17本
    - 幹回り40cm~60cm 5本
    - 幹回り60cm~120cm 14本
    - 幹回り120cm~160cm 2本
  - キュービクル・電柱周り 樹木伐採
    - 幹回り40cm~60cm 15本
    - 幹回り60cm~120cm 15本
- ※樹木伐採・抜根を行う場所は、学校および監督員と相談すること。

外部仮設工事 凡例

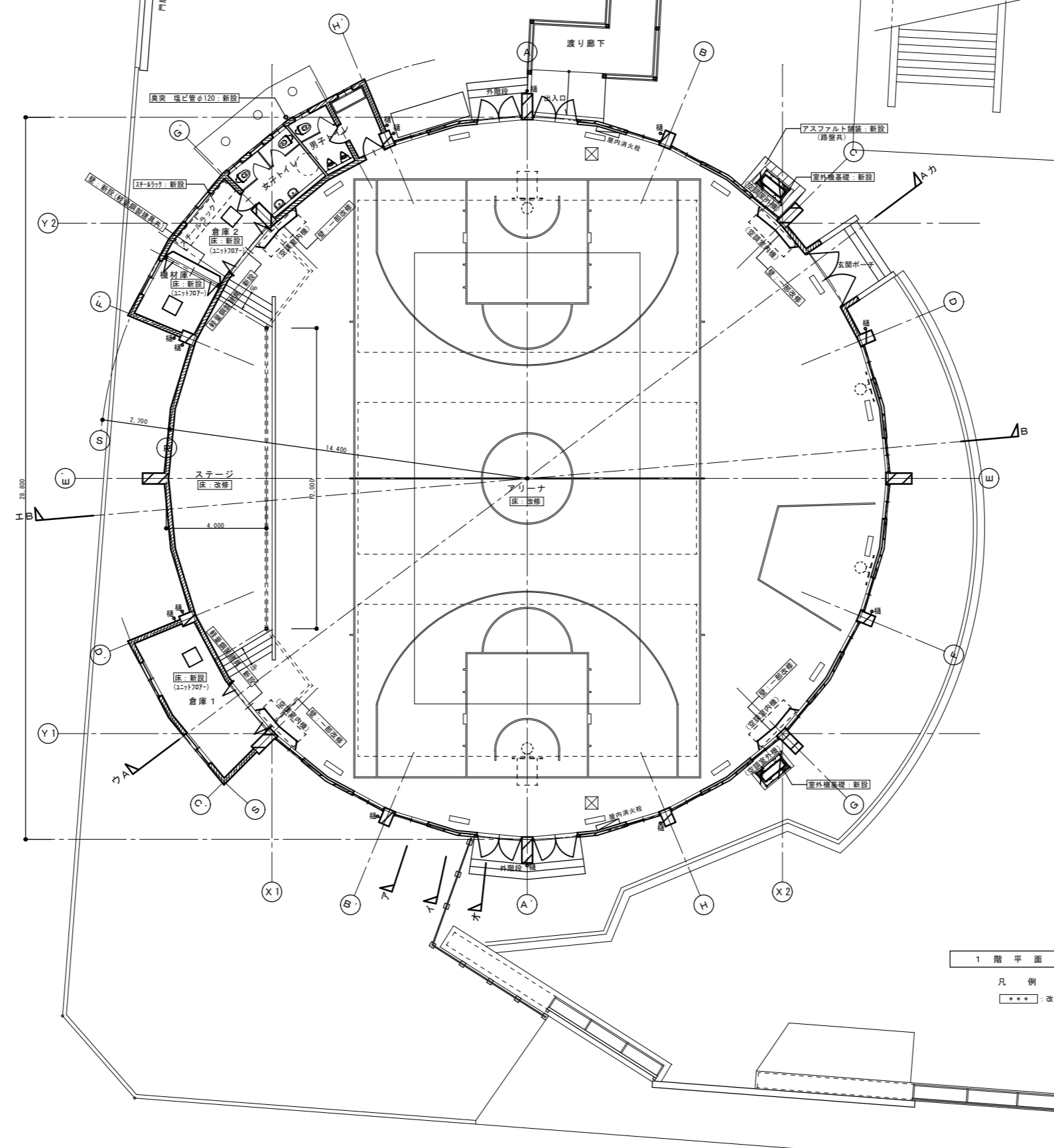
- 工事関係者敷地内動線
  - 学校関係者敷地内動線
  - 仮囲い 万能鋼板 h2,000
  - 仮囲い 万能鋼板 h3,000
  - 仮x29-ゲート w3,600×h2,000
  - 仮設鉄板敷き t22
- ※敷地内の損傷等は、原状回復すること。



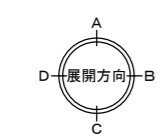
1 階平面図 S=1/100

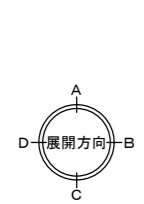
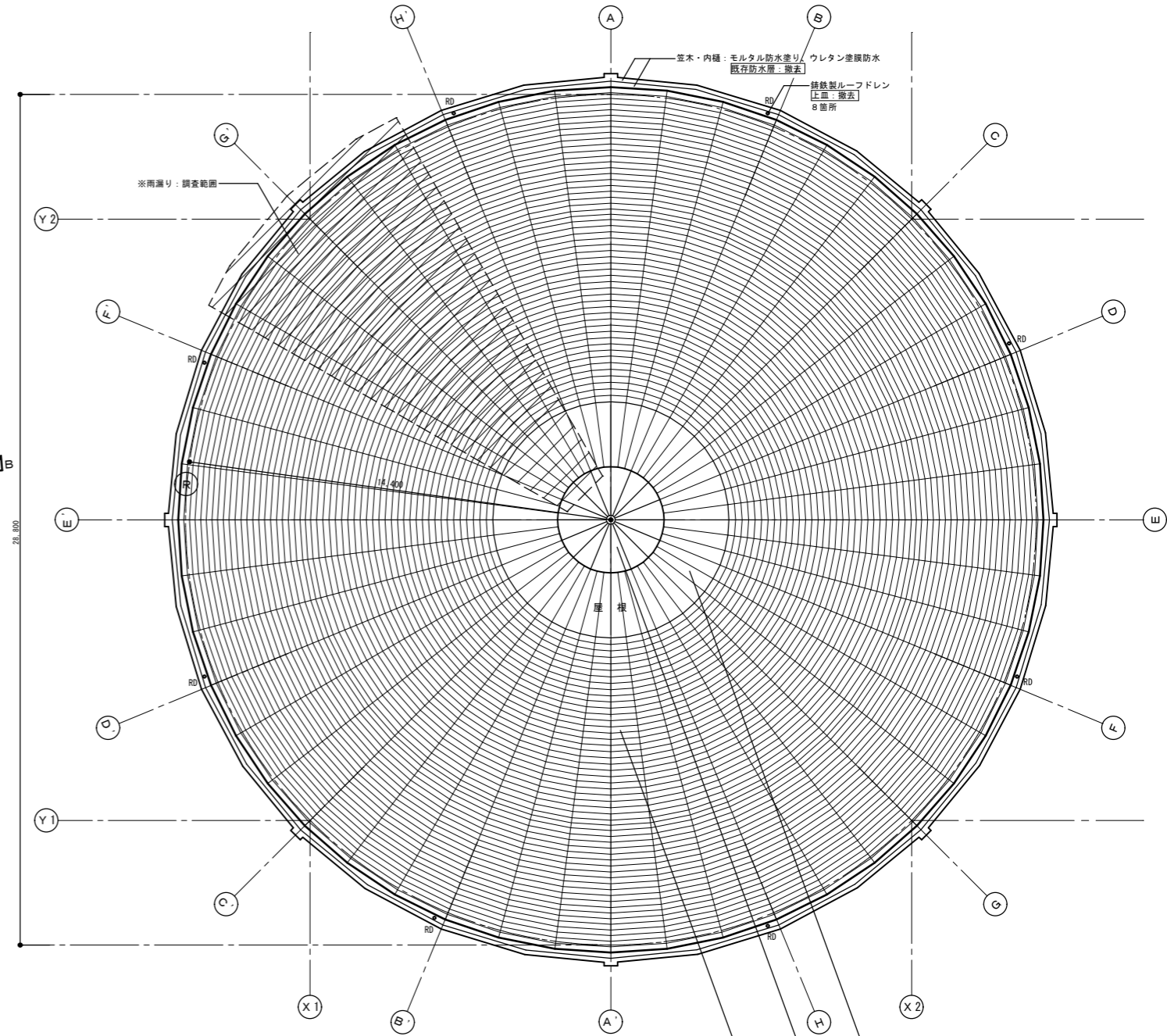
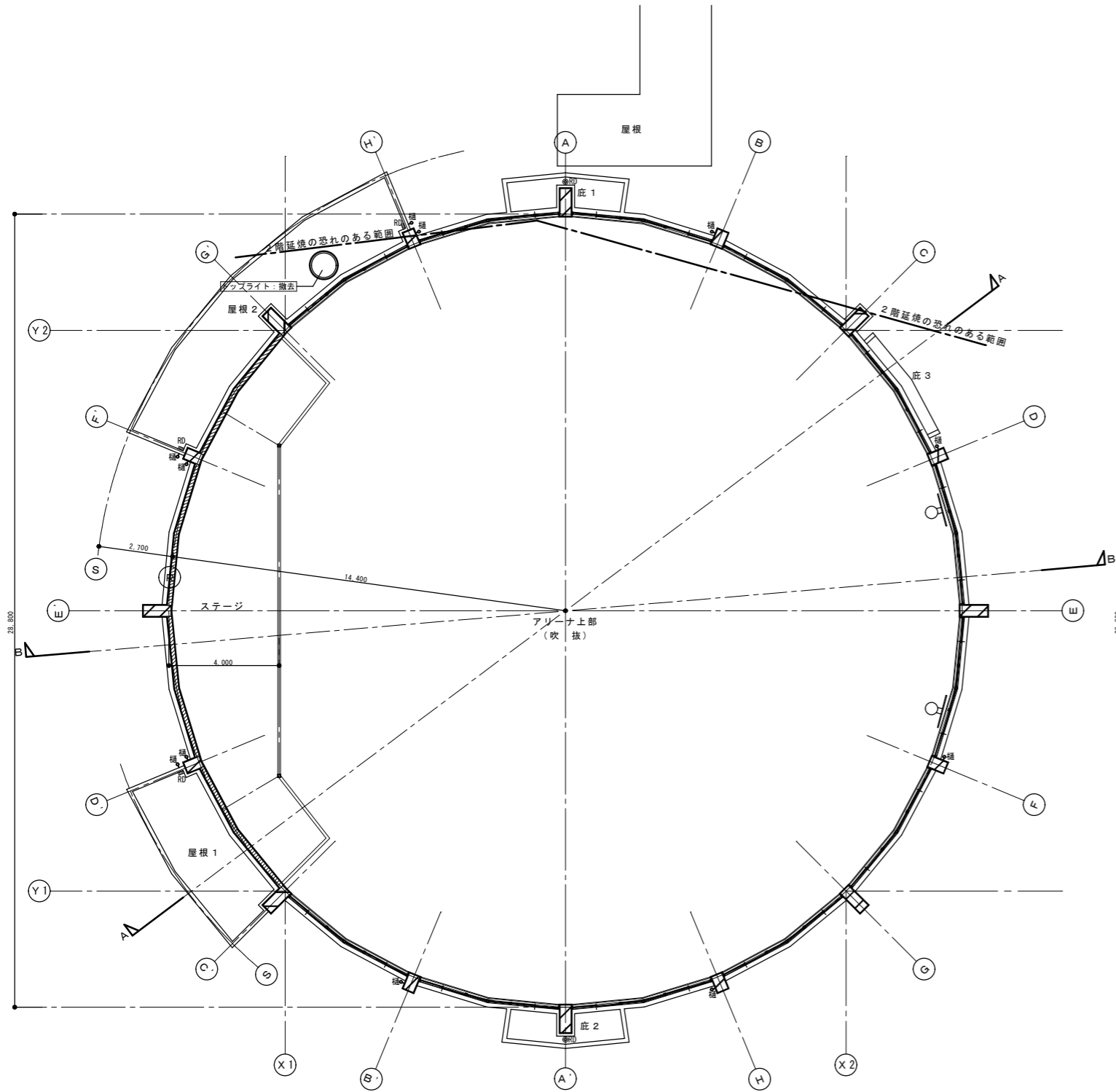
凡例

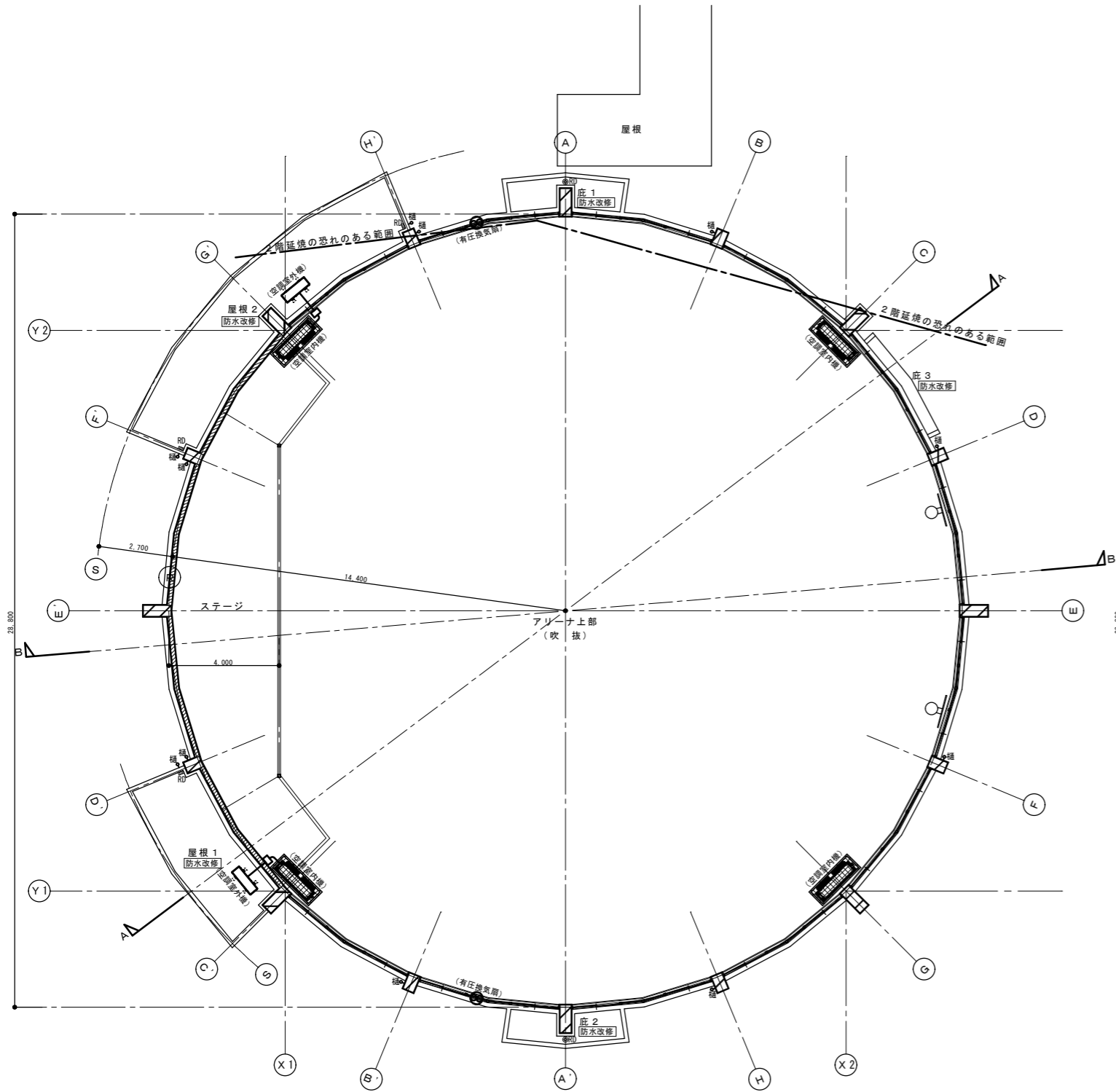
- : 鉄筋コンクリート
- : A L C 版 t 100
- : コンクリートブロック t 150
- : 改修内容を表す。



1 階平面図 S=1/100  
凡例  
\*\*\*: 改修内容を表す。

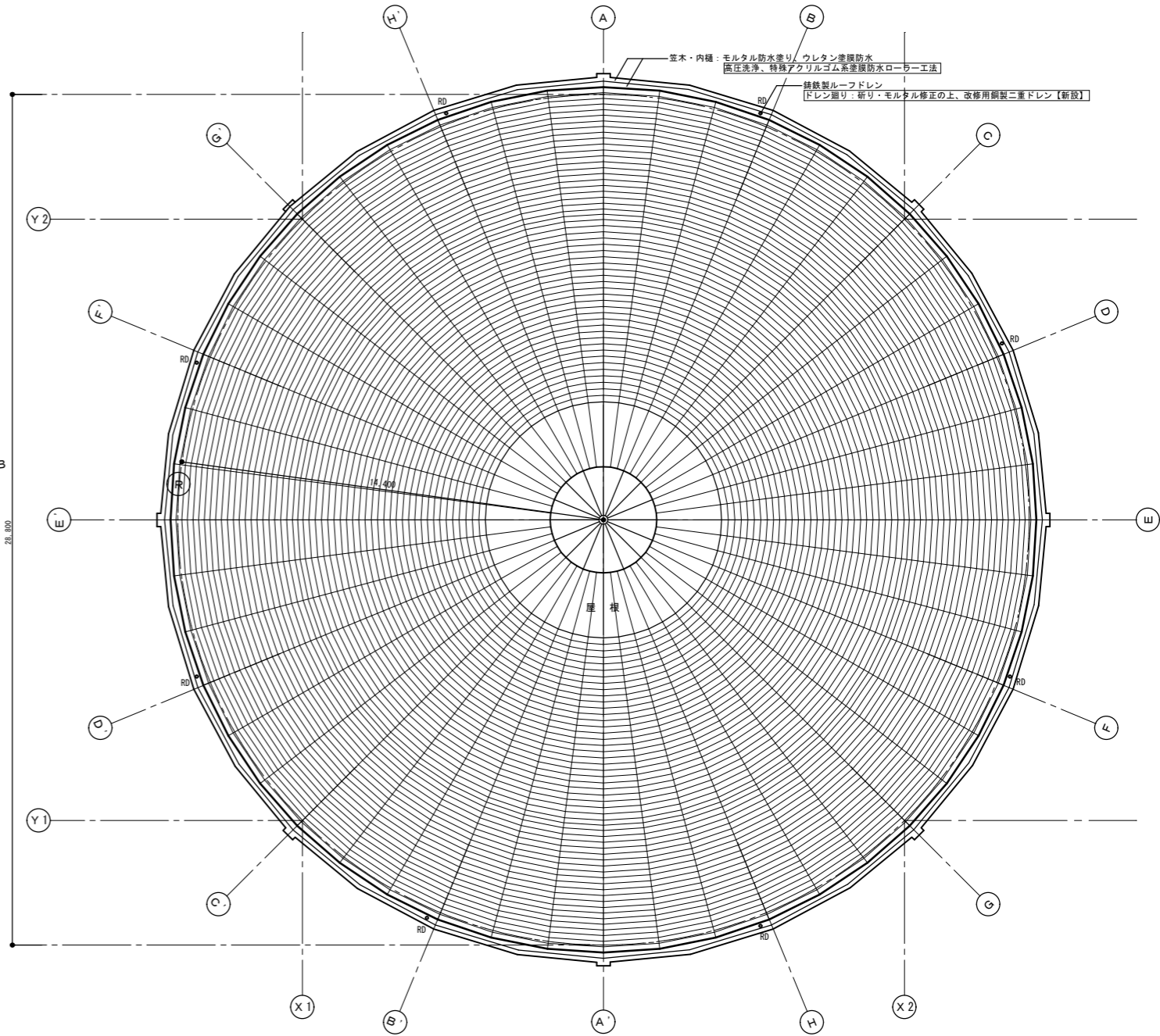
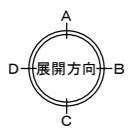






1階(上部)平面図 S=1/100

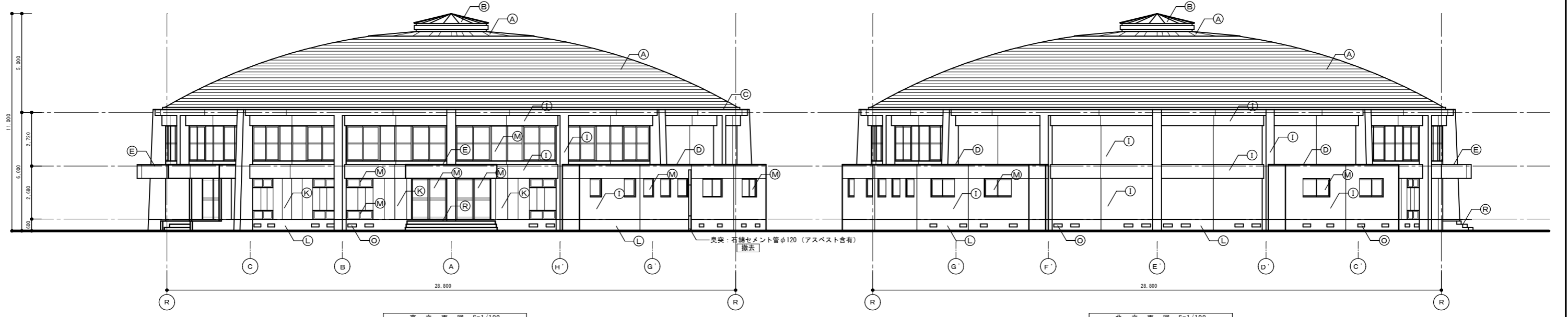
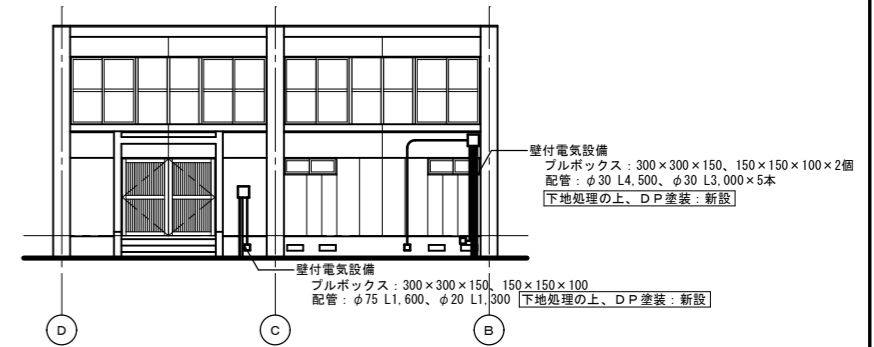
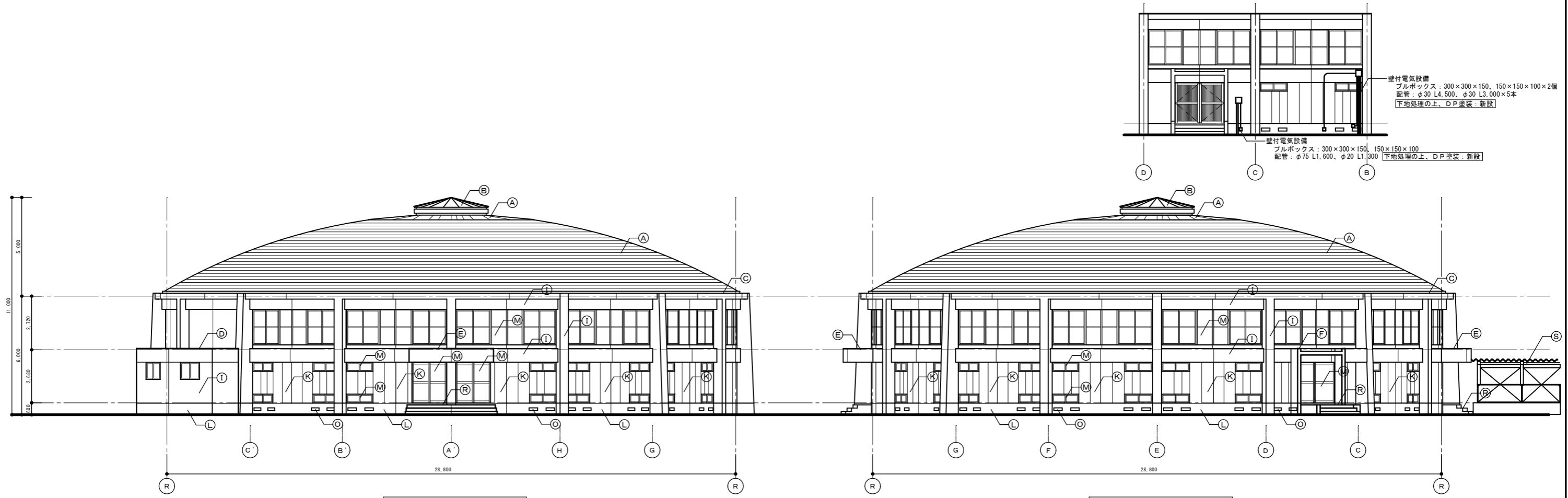
凡例  
 [ ] : 改修内容を表す。  
 ※下屋・庇の防水改修は、別図参照。



屋根伏図 S=1/100

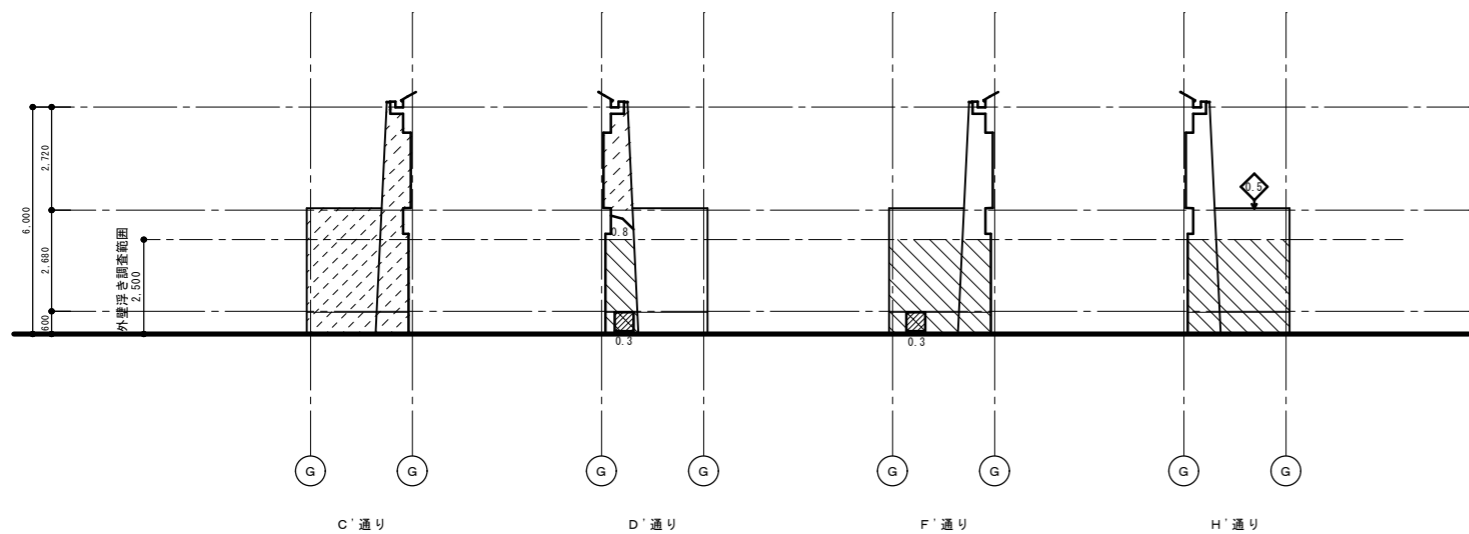
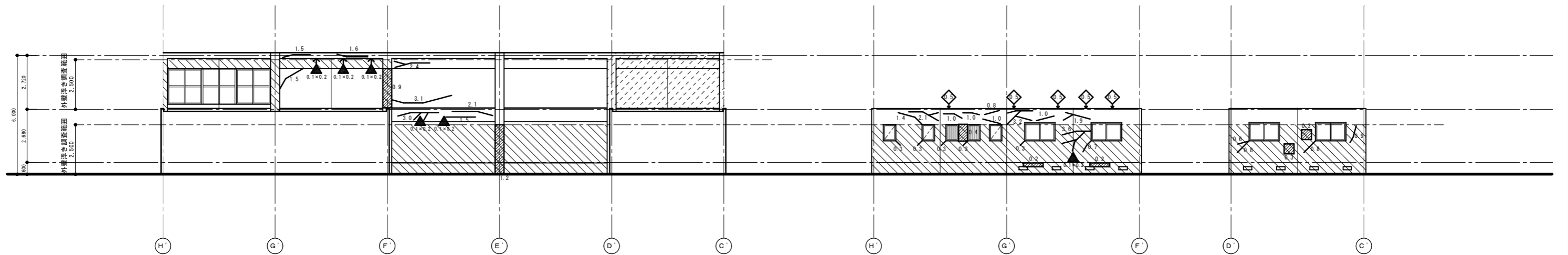
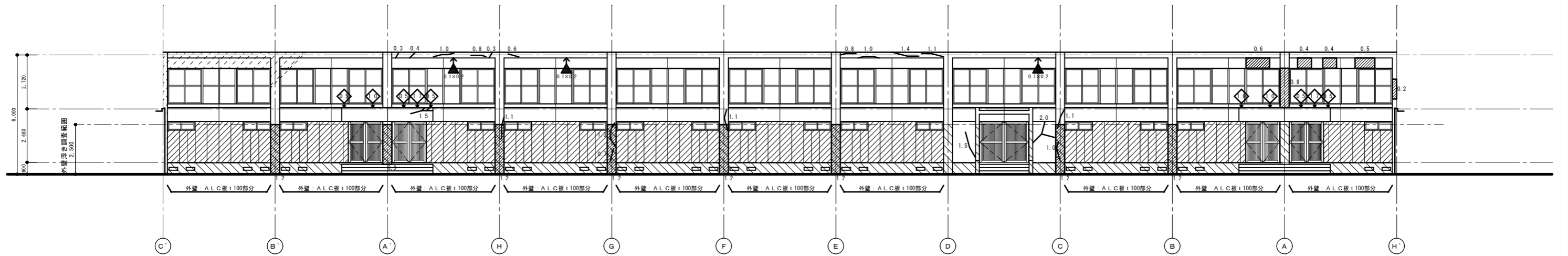
凡例  
 [ ] : 改修内容を表す。

屋根改修(天窓含む) 共通  
 両面洗浄(15Mpa)、段差箇所・鋼板継ぎ目: シーリング材処理  
 特殊アクリルゴム系塗膜防水ローラー工法



凡例  
 (★) : 仕上符号を表す。(仕上表参照)



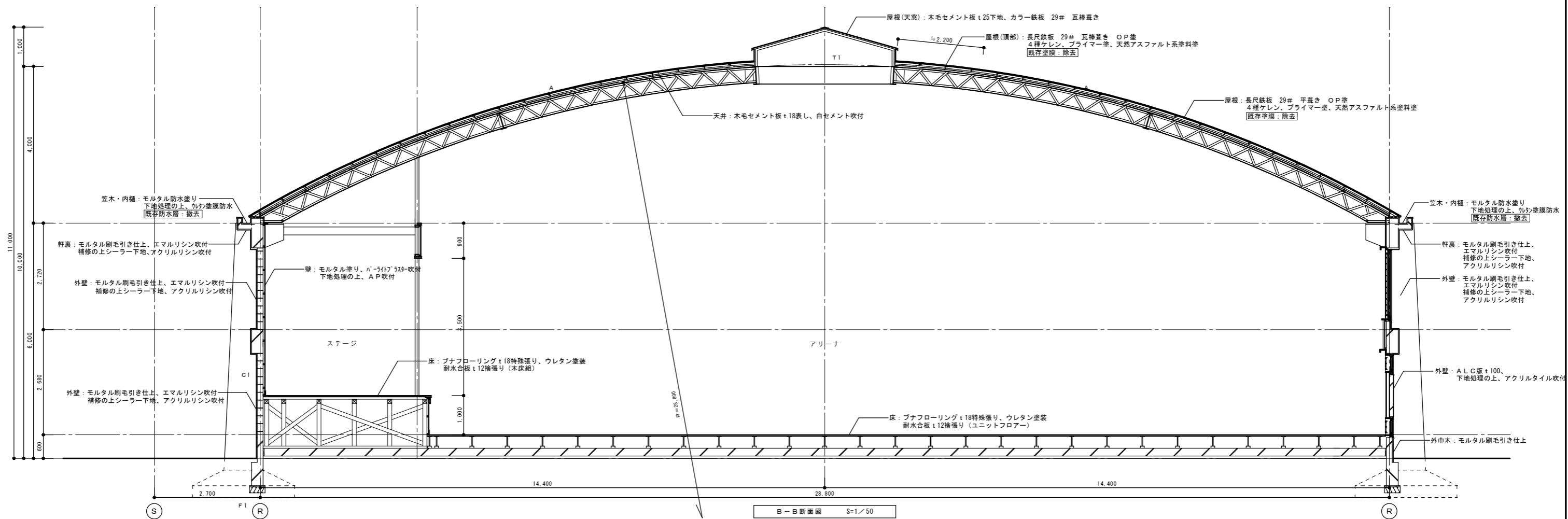
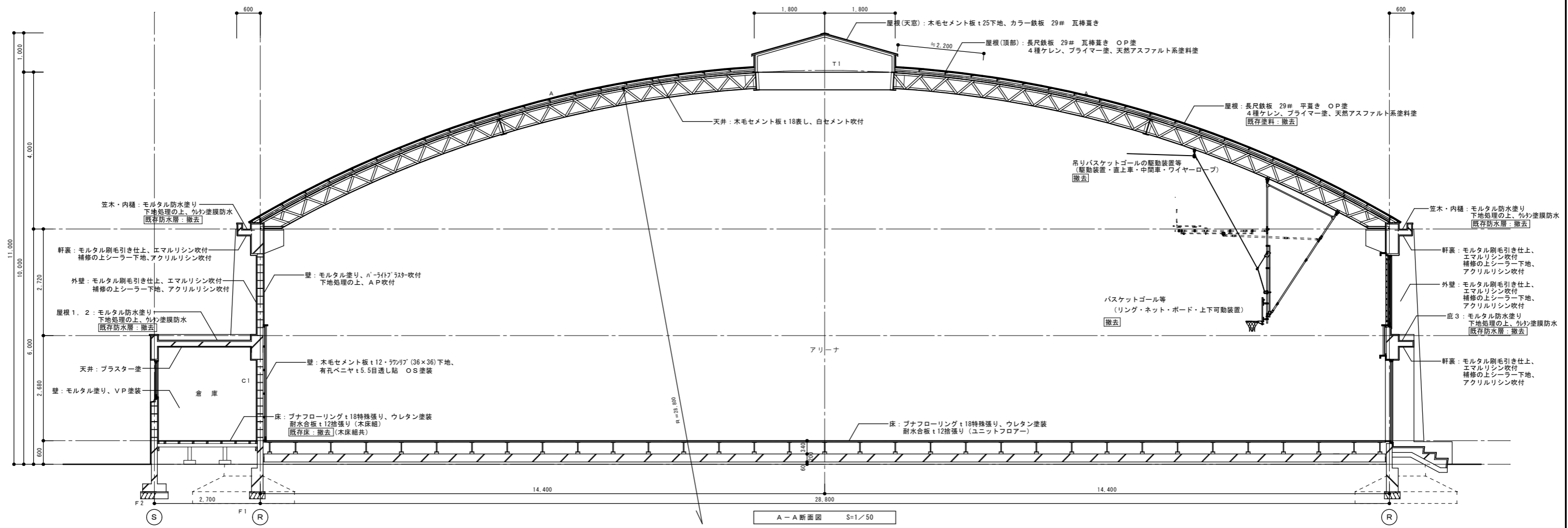


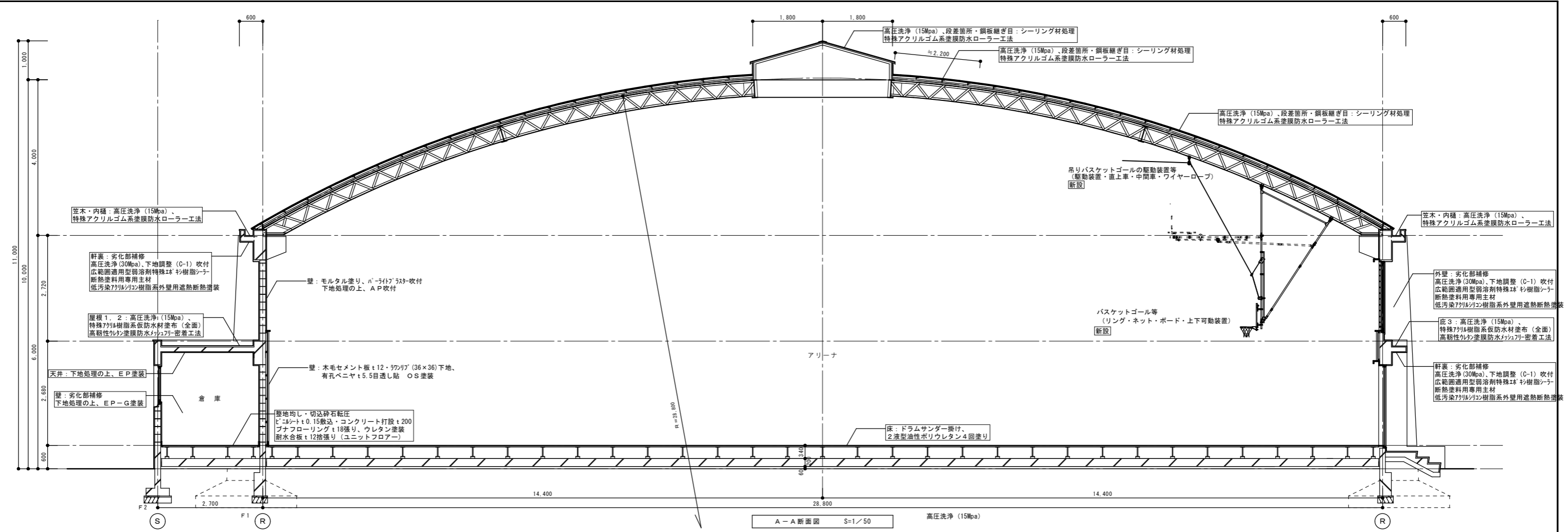
凡例		劣化部 凡例	
	外壁浮き調査範囲を表す。(打診調査)		外壁浮き部分を表す。(数値は浮き面積 (㎡))
	外壁 ALC板 t100部分を表す。		外壁浮き部分 (狭巾部W200以下) を表す。(数値は浮き長さ (m))
	外壁 植物繁茂部分を表す。(植物: 撤去)		クラックを表す。(数値はクラック長さ (m)) (破線は壁の裏側を示す)
			縮裂箇所を表す。(数値は寸法 (m))
			それぞれの軒裏面・外壁側面を表す。

外壁劣化部調査 集計表

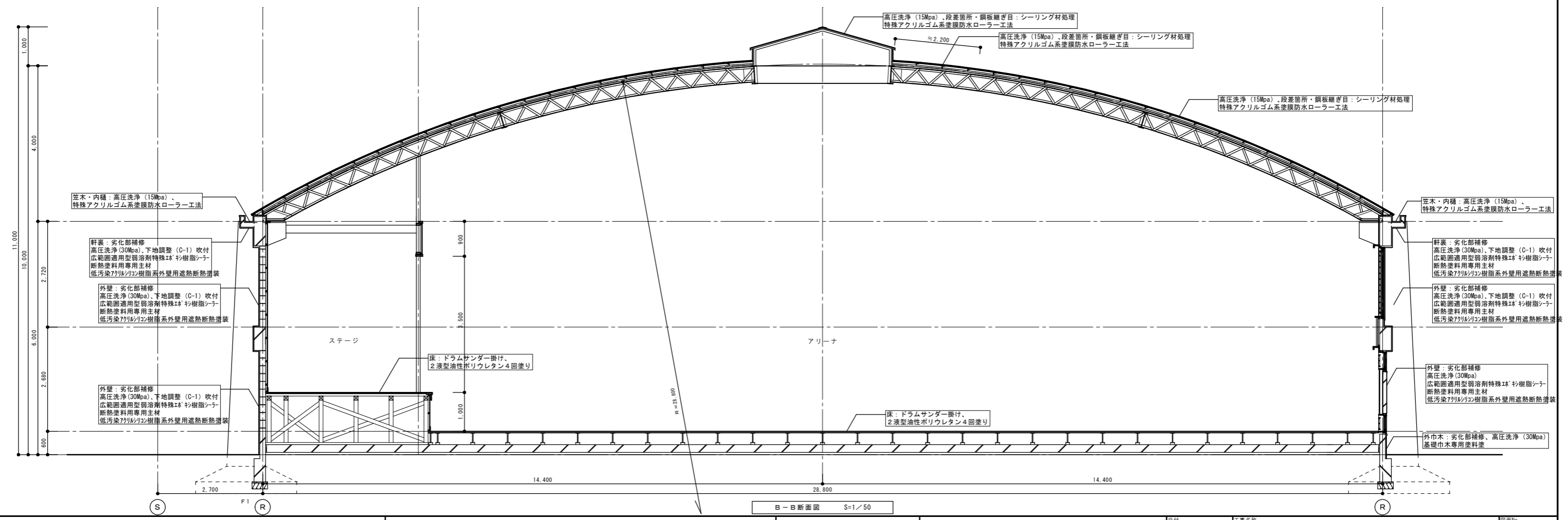
項目	調査数量	計算式	設計数量	劣化部 改修仕様
クラック	55.7	$55.7 \times 1.5 = 83.6$	84 m	Uカットシーリング材充填工法
爆裂 (0.1×0.5)	9.0	$9.0 \times 1.5 = 13.5$	14箇所	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (露出鉄筋ハリ、ケレン、防錆材塗布含む)
モルタル塗り浮き	16.4	$16.4 \times 3.0 \times 1.5 = 73.8$	74 ㎡	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
モルタル塗り浮き (狭幅部)	11.9	$11.9 \times 3.0 \times 2.0 = 71.4$	71 m	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

外壁調査比率 (A)  
 $A = (\text{外壁総面積}) / (\text{外壁打診調査面積}) = 526 / 176 = 3.0$   
 (外壁総面積にALC板部分は、除外。)



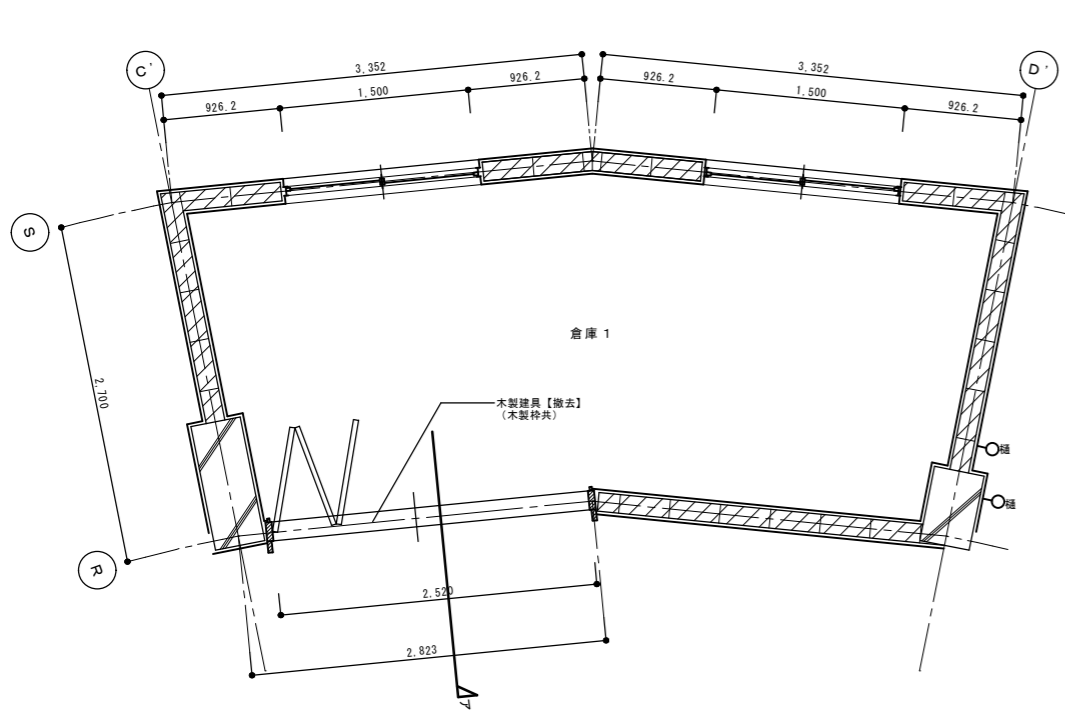


A-A断面図 S=1/50



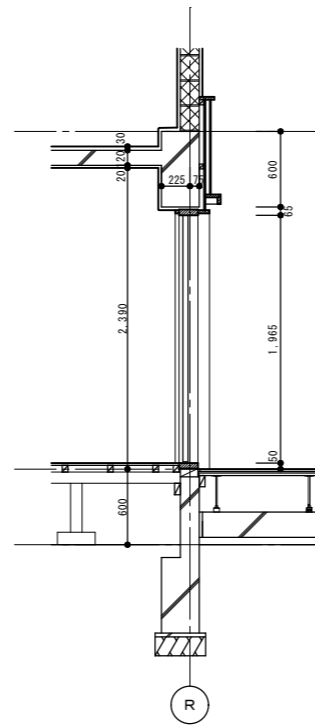
B-B断面図 S=1/50

倉庫 1



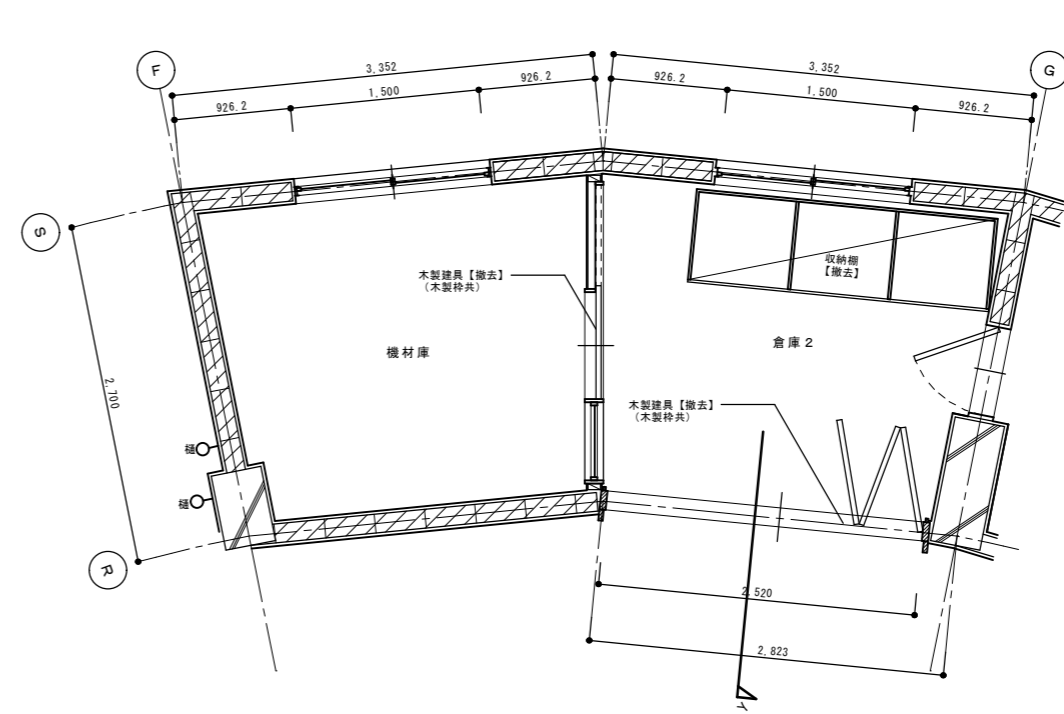
倉庫 1 平面詳細図 (改修前) S=1/30

凡 例  
 [Hatched pattern] : 鉄筋コンクリート  
 [Diagonal hatched pattern] : コンクリートブロック t150



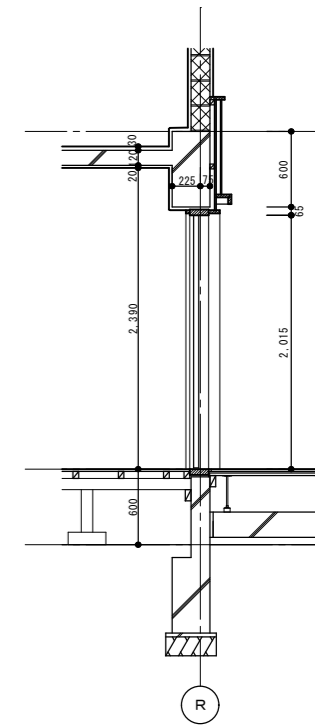
ア断面詳細図 (改修前) S=1/30

倉庫 2・機材庫

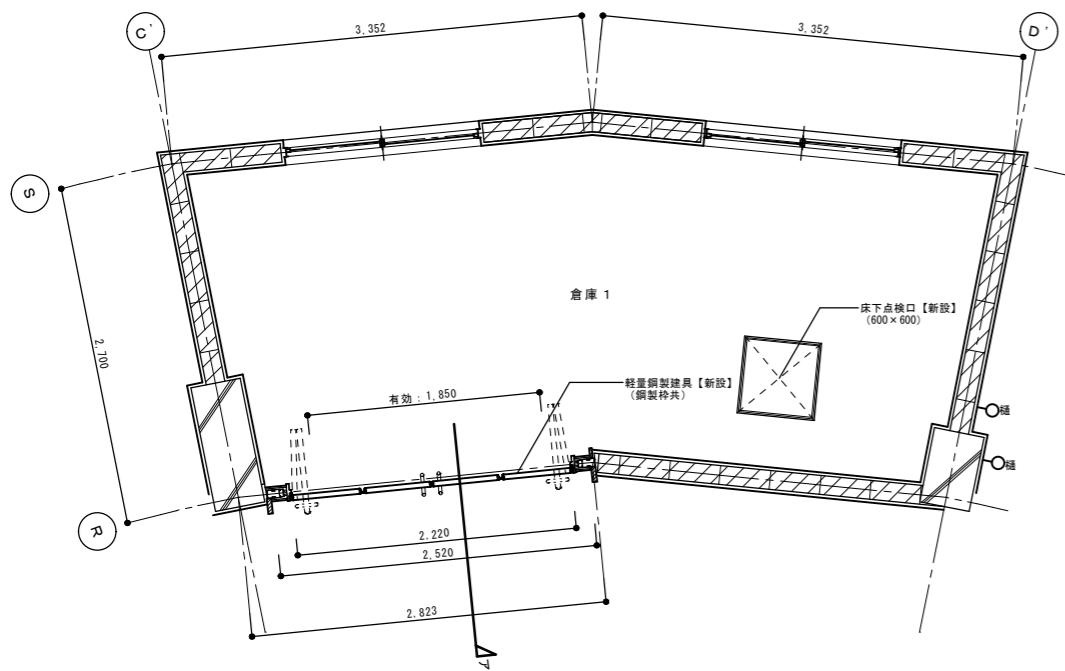


倉庫 2・機材庫平面詳細図 (改修前) S=1/30

凡 例  
 [Hatched pattern] : 鉄筋コンクリート  
 [Diagonal hatched pattern] : コンクリートブロック t150

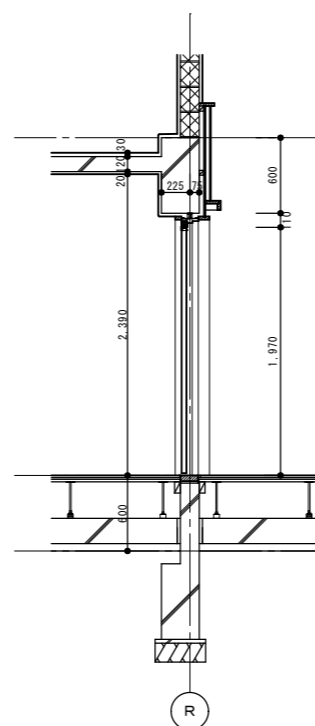


イ断面詳細図 (改修前) S=1/30

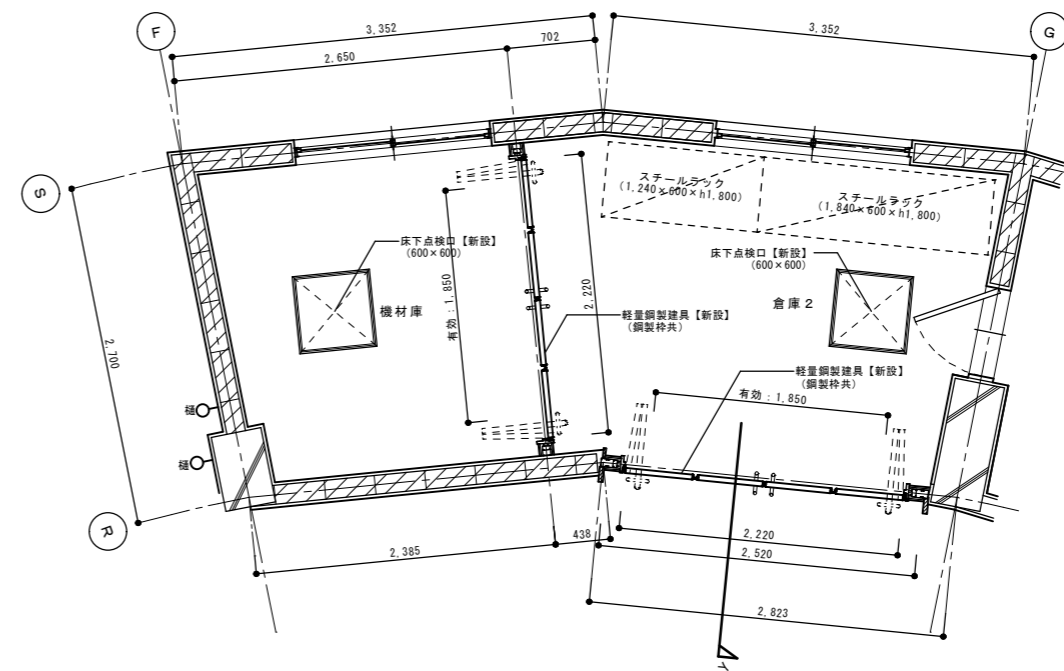


倉庫 1 平面詳細図 (改修後) S=1/30

凡 例  
 [Hatched pattern] : 鉄筋コンクリート  
 [Diagonal hatched pattern] : コンクリートブロック t150

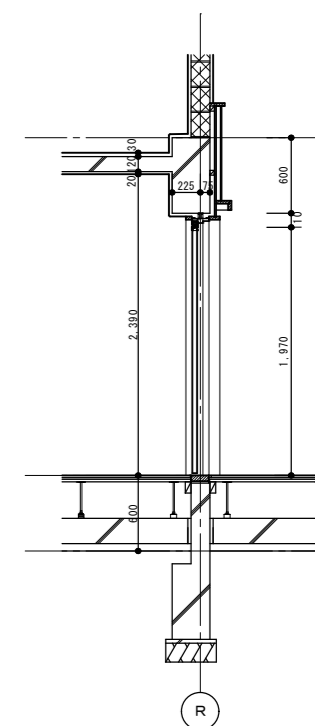


ア断面詳細図 (改修後) S=1/30

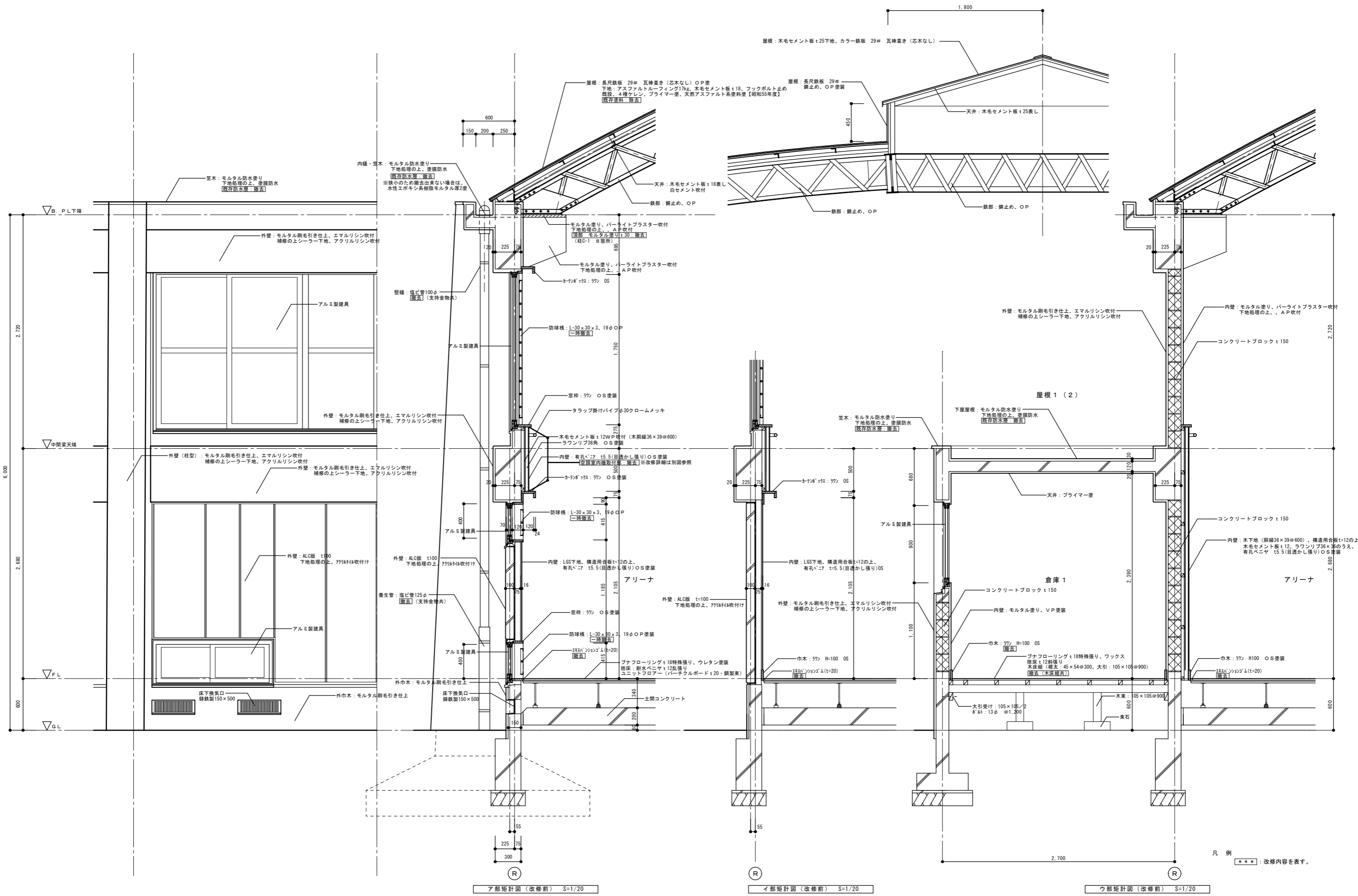


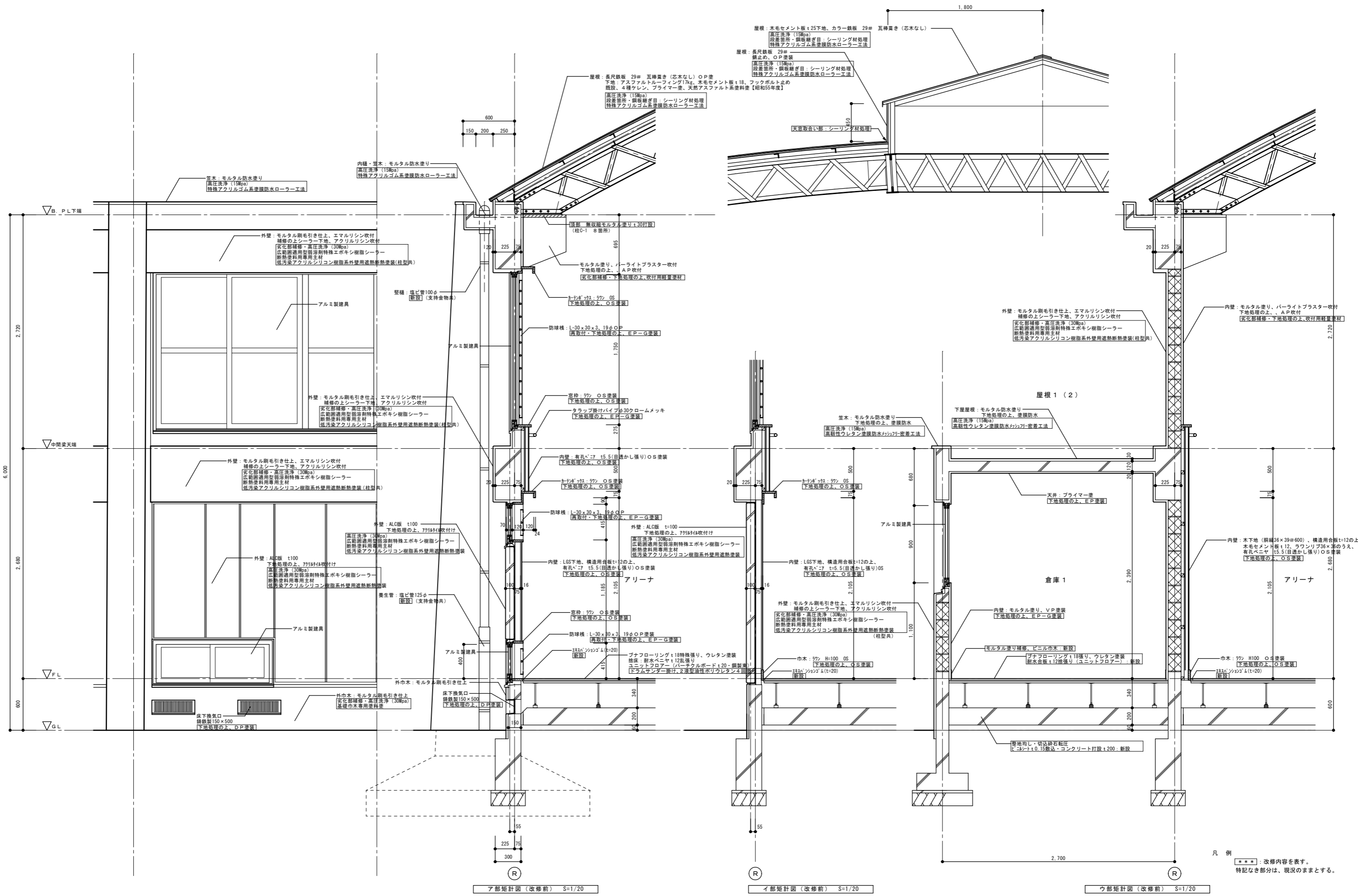
倉庫 2・機材庫平面詳細図 (改修後) S=1/30

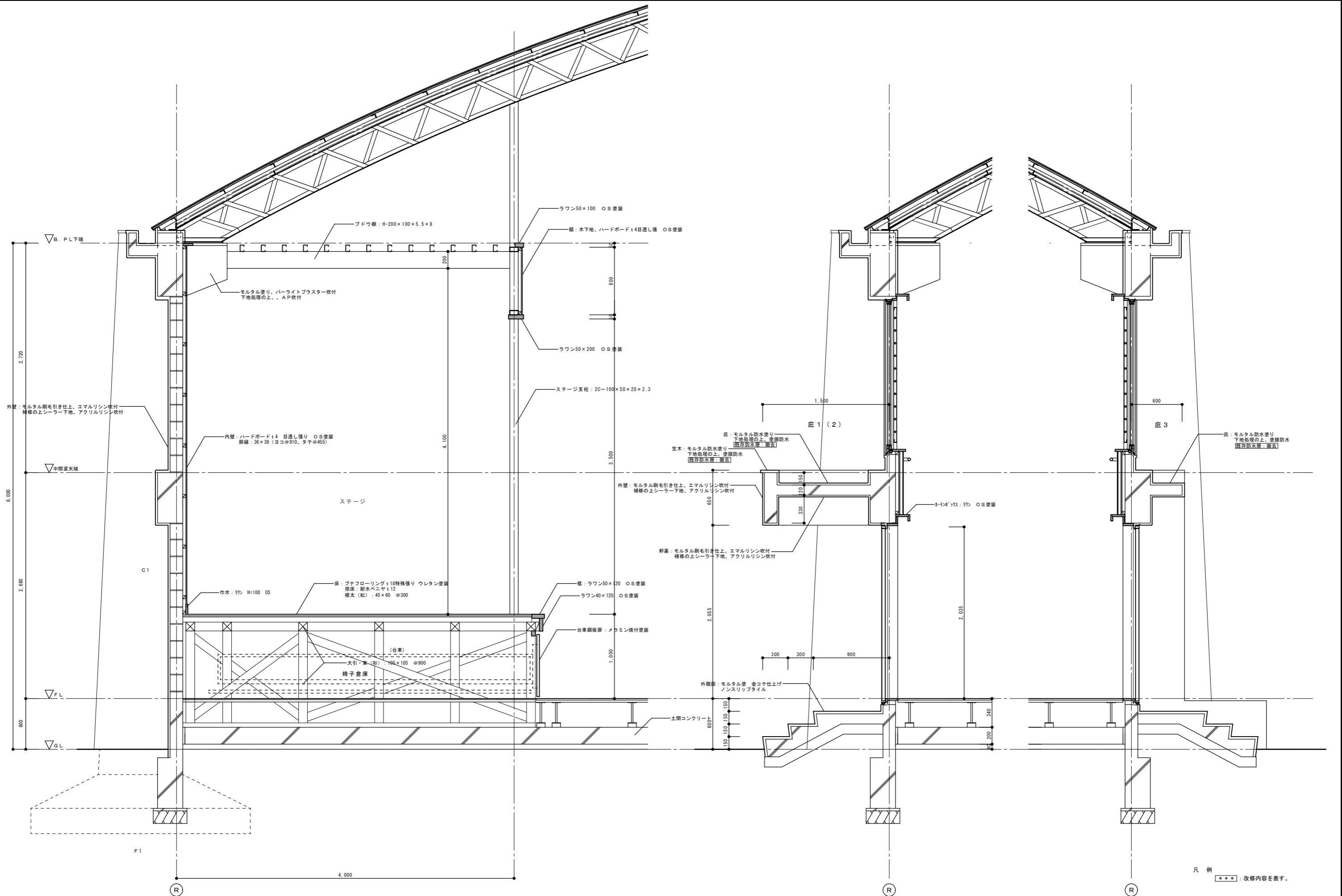
凡 例  
 [Hatched pattern] : 鉄筋コンクリート  
 [Diagonal hatched pattern] : コンクリートブロック t150



イ断面詳細図 (改修前) S=1/30







工部矩計図（改修前） S=1/20

才部矩計図（改修前） S=1/20

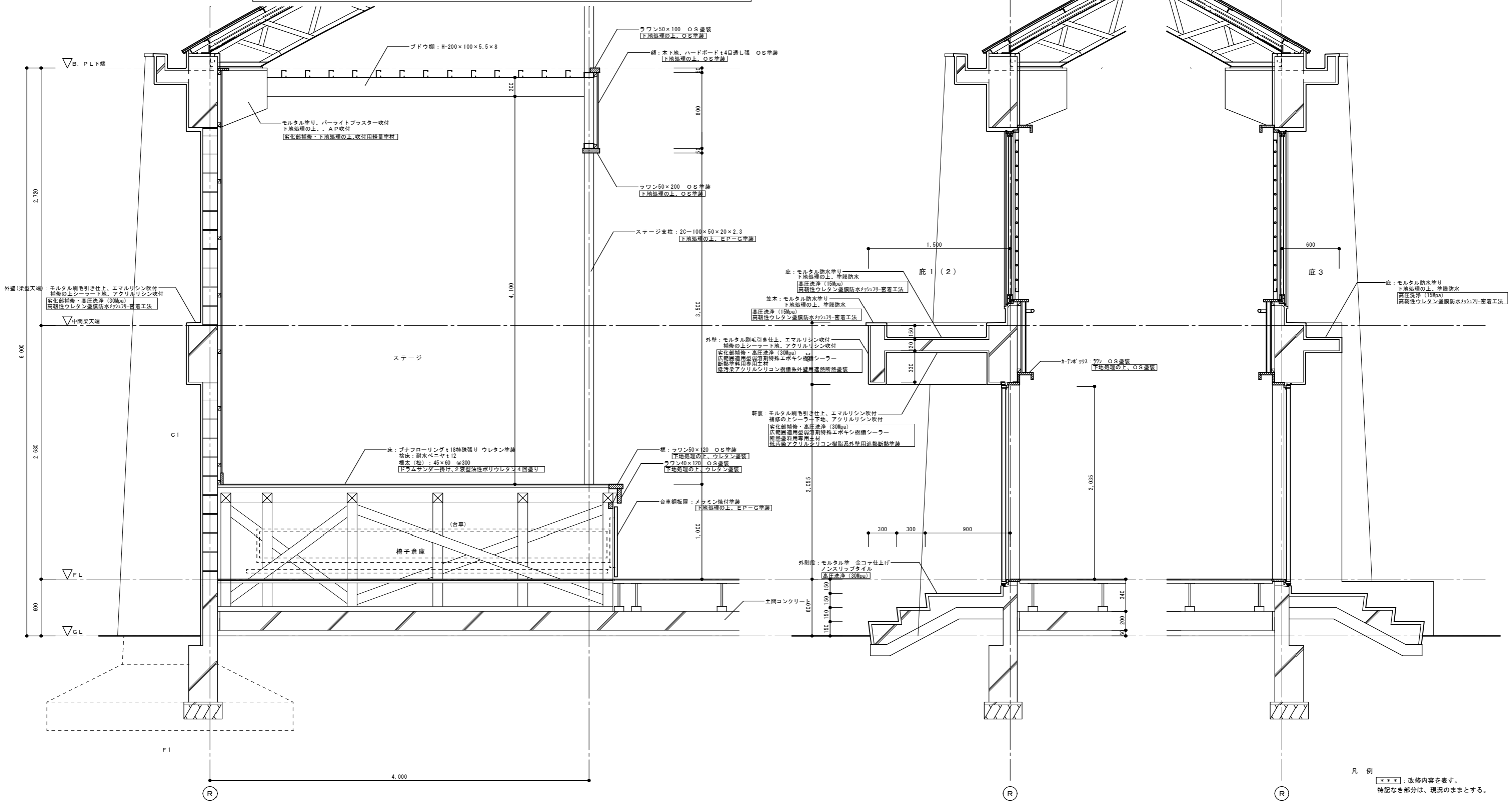
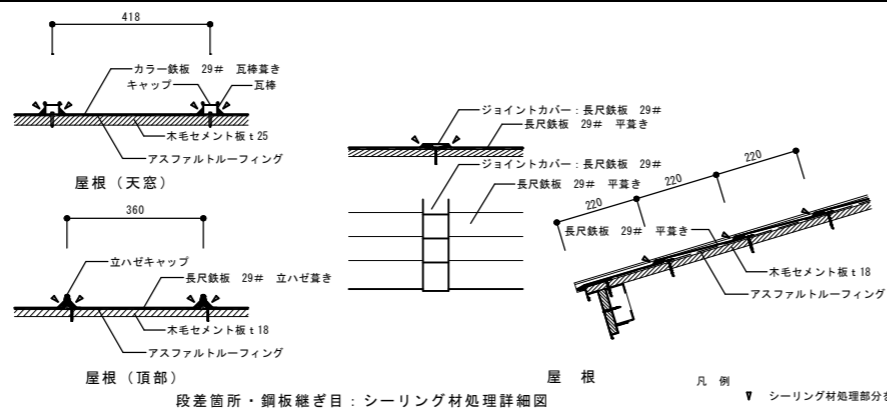
カ部矩計図（改修前） S=1/20

凡例  
 \*\*\*: 改修内容を表す。

春日部市  
 学校教育課  
 教育施設課

日付  
 工事名称 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事  
 縮尺 A1: 1/20  
 A3: 1/40  
 図面名称 矩計図-2 (改修前)

図面No.  
 A-22

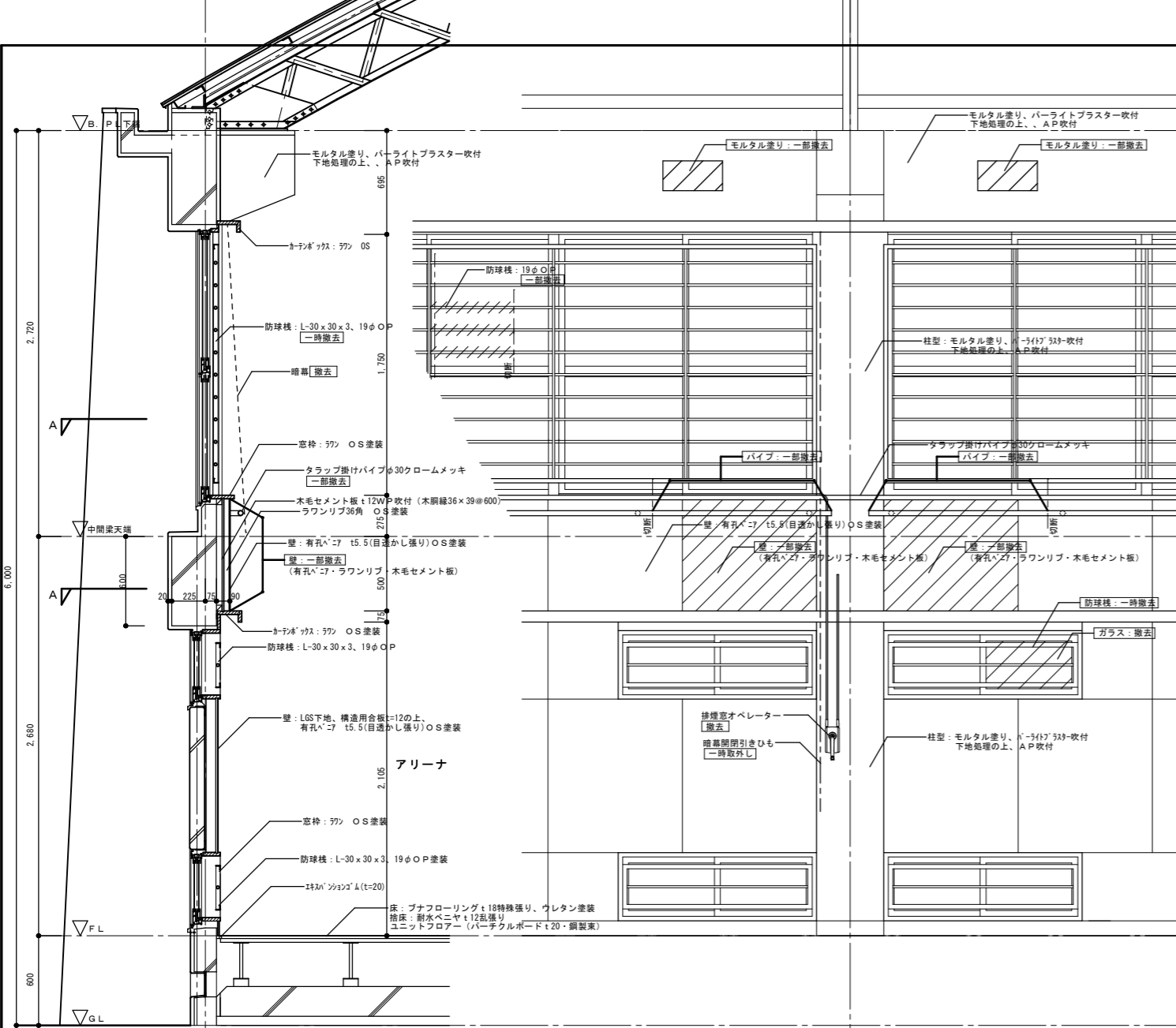


工部矩計図 (改修前) S=1/20

才部矩計図 (改修前) S=1/20

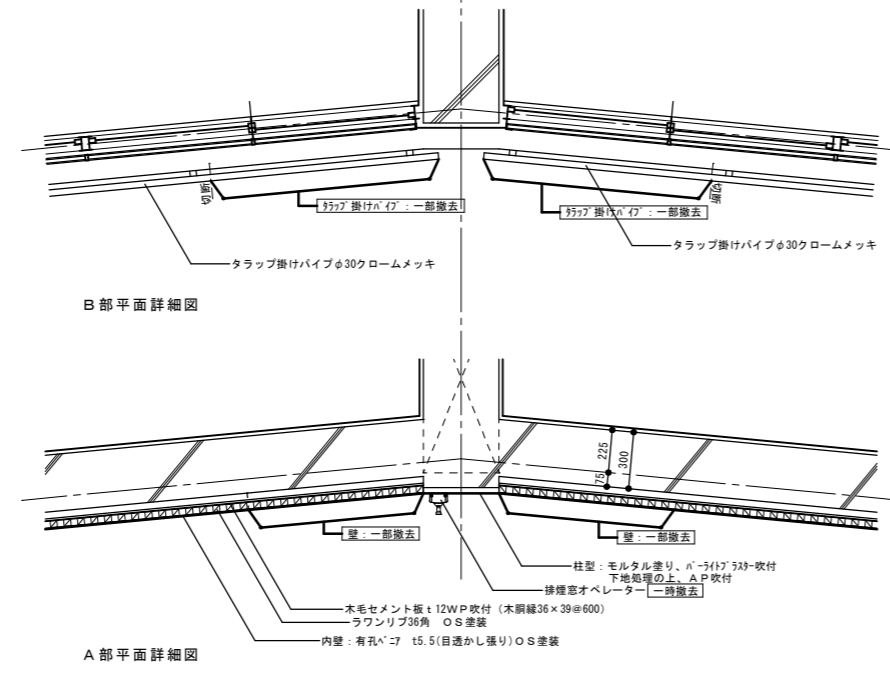
カ部矩計図 (改修前) S=1/20





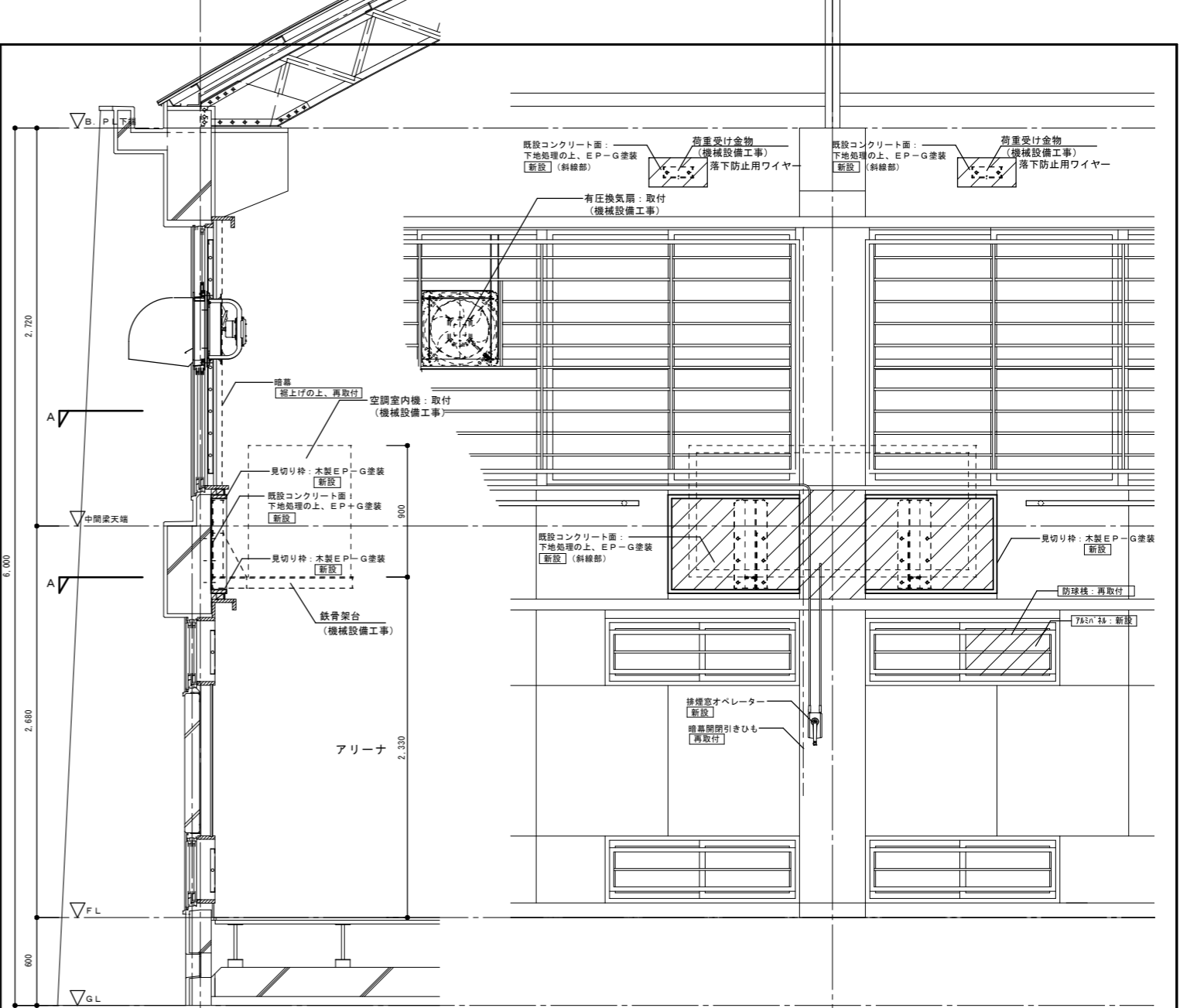
矩計図 S = 1 / 20

展開図 S = 1 / 20



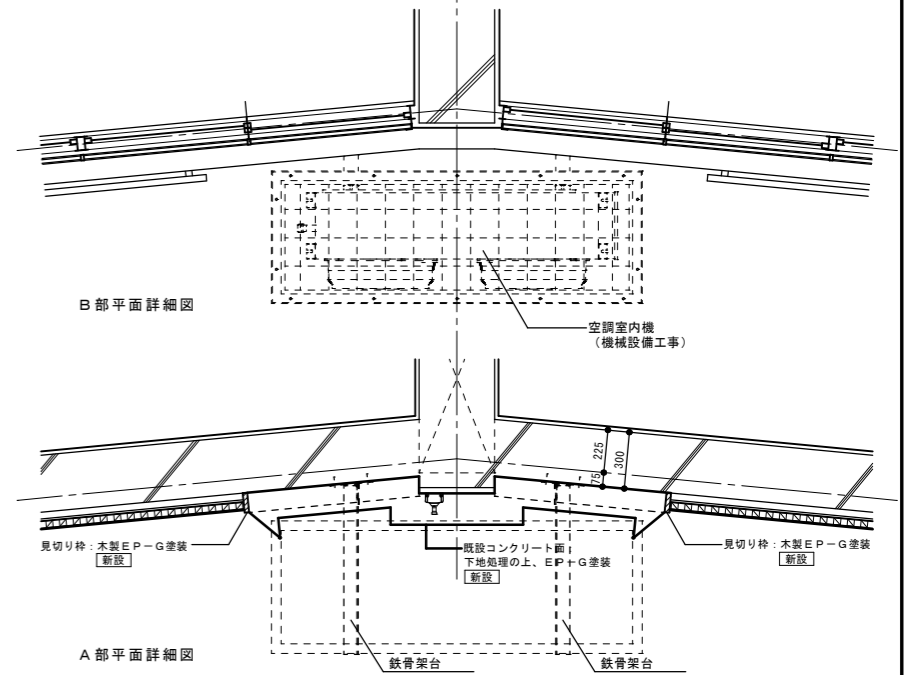
平面詳細図 S = 1 / 20

改修前



矩計図 S = 1 / 20

展開図 S = 1 / 20

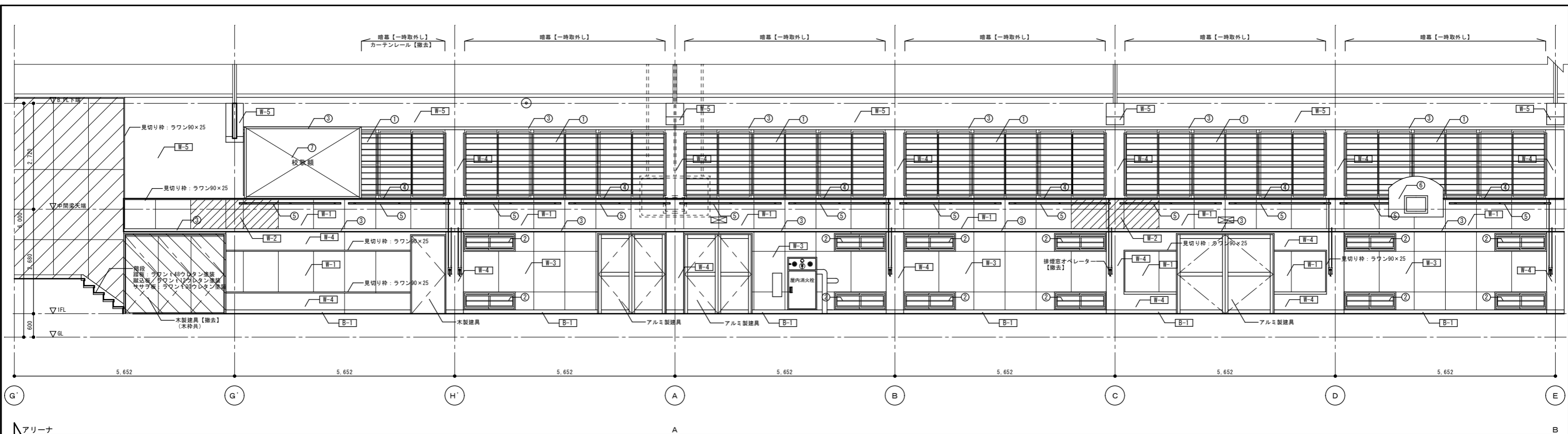


平面詳細図 S = 1 / 20

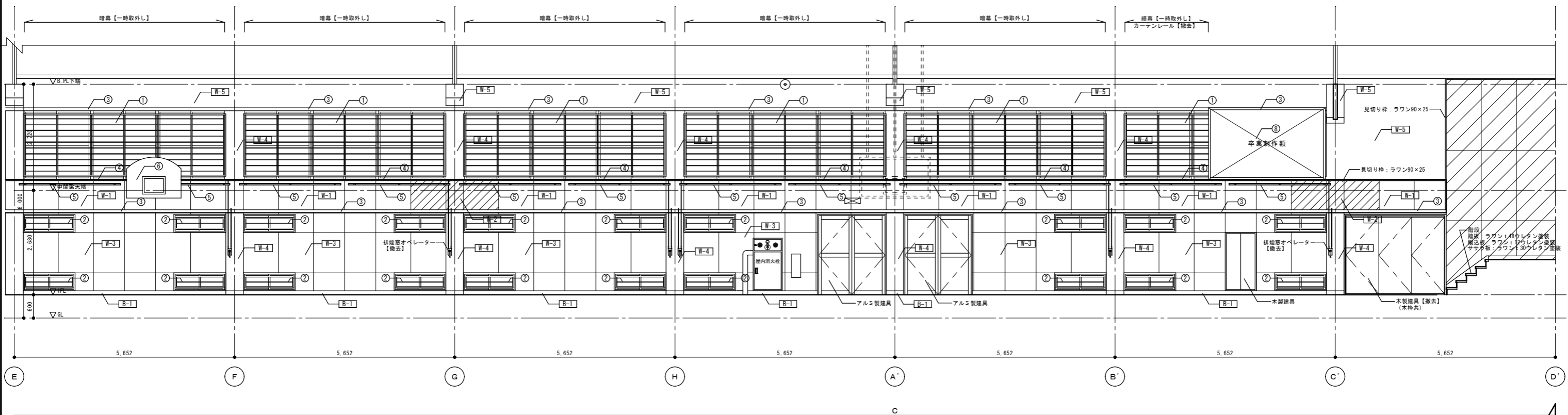
改修後

春日部市  
学校教育課  
教育施設課

日付  
工事名称 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事  
図面名称 空調室内機取付部詳細図  
縮尺 A1: 1/20  
A3: 1/40  
図面No. A-24

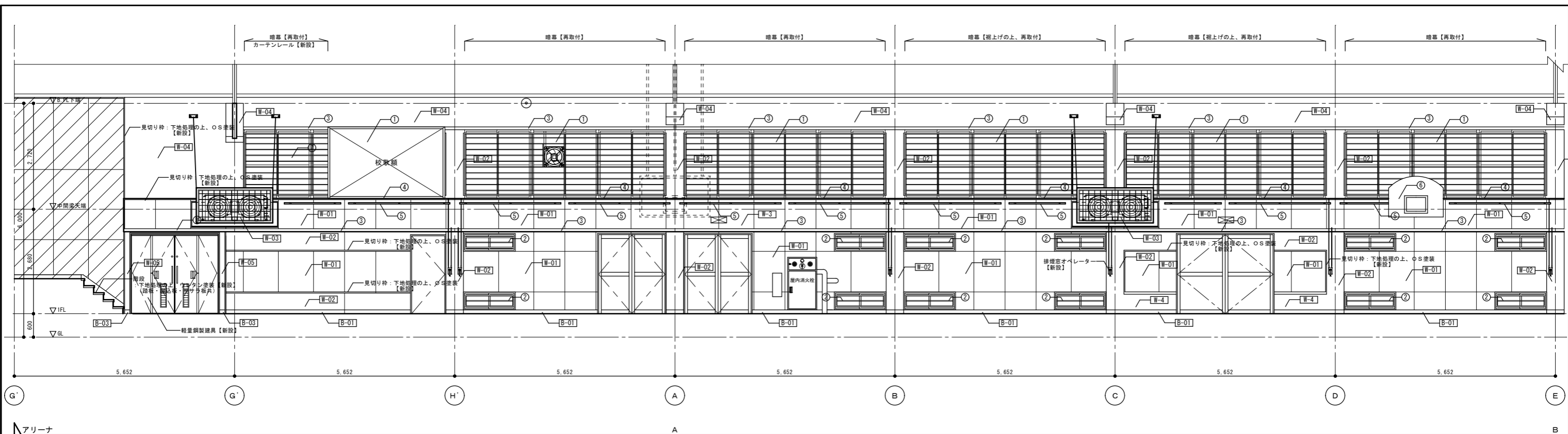


アリーナ

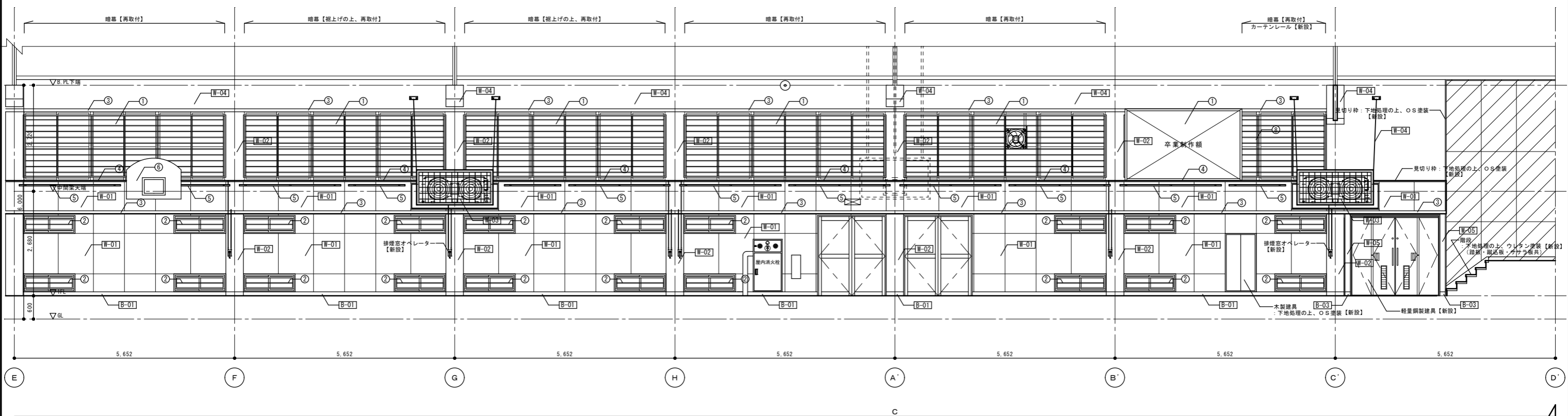


アリーナ仕上表 (改修前)		改修内容		仕上		改修内容		仕上		改修内容	
部位	符号	仕上	改修内容	部位	符号	仕上	改修内容	部位	符号	仕上	改修内容
巾木	B-1	ラワン OS		壁	W-1	木毛セメント板 t12・57217 (36×36) 下地、有孔ベニヤ t5.5目透し貼 OS塗装	OS塗装	その他	①	アリーナ上部防球種 (5,140×1,600)	一時取外し
	B-2	ラワン OS : 撤去	撤去		W-2	木毛セメント板 t12・57217 (36×36) 下地、有孔ベニヤ t5.5目透し貼 OS塗装	撤去		②	アリーナ防球種 (1,730×300)	一時取外し
					W-3	LGS-65・構造用合板 t12下地、有孔ベニヤ t5.5目透し貼 OS塗装			③	カーテンボックス	
					W-4	モルタル塗り、h-7417 533-吹付、下地処理の上、AP吹付			④	窓台	
					W-5	モルタル塗り、h-7417 533-吹付			⑤	タラップ掛け	一部撤去
					W-6	ハードボード t4 目透し、OS塗装			⑥	バスケットボールゴール板 (壁付け)	
					W-7	モルタル塗り、VP塗装			⑦	校歌額	一時取外し
					W-8	木下地・合板 t4、SOP塗装			⑧	卒業制作額	一時取外し

凡例  
 : 内装改修対象外部分を表す。  
 : 木製建具撤去部分を表す。  
 : 壁仕上撤去部分を表す。

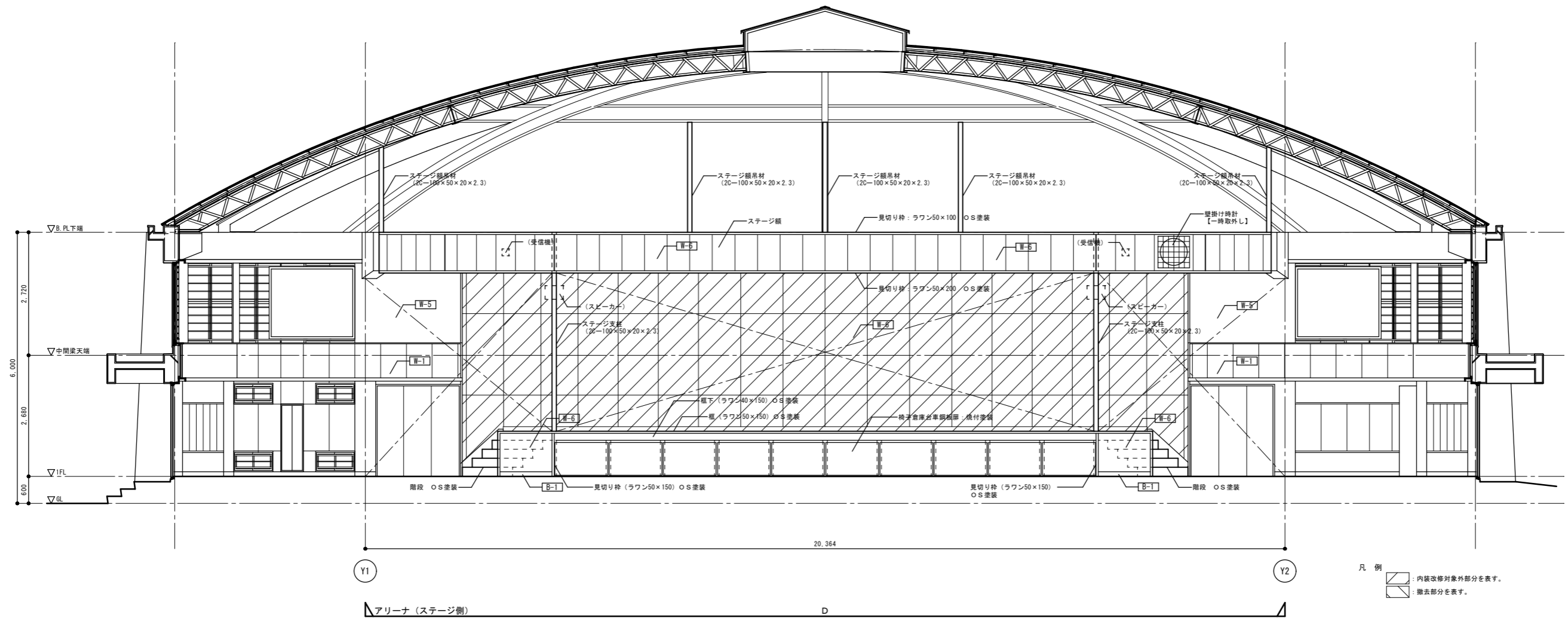


アリーナ



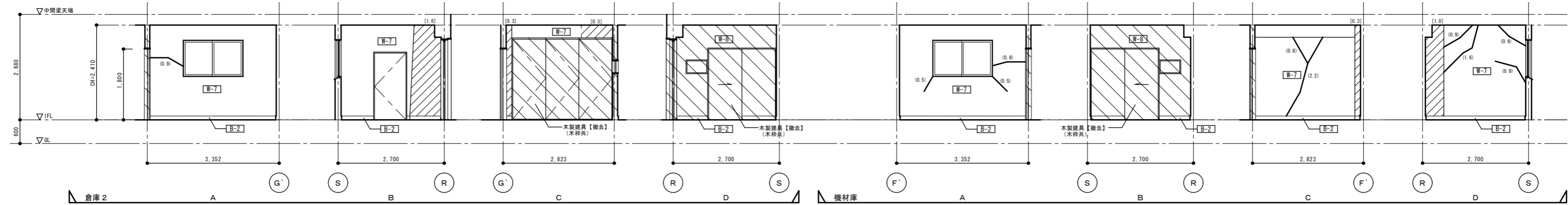
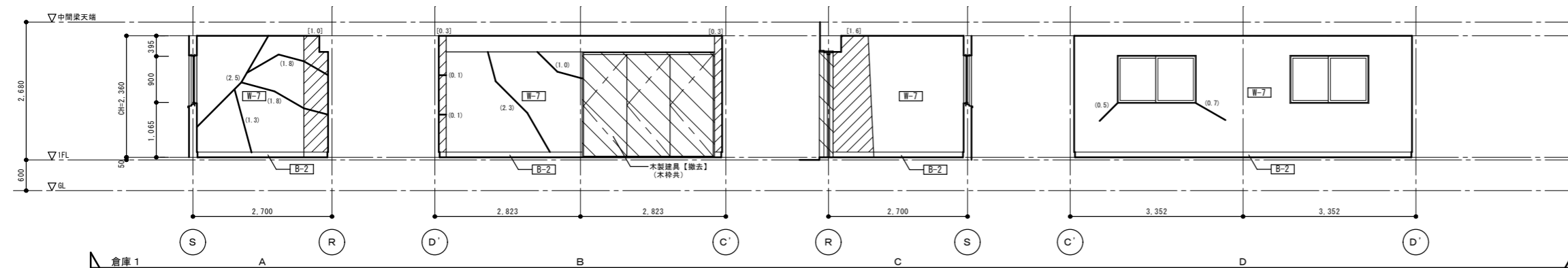
アリーナ仕上表 (改修後)			
部位	符号	仕上	改修内容
巾木	B-01	既存巾木：下地処理の上、OS塗装	新設
	B-02	モルタル塗り補修、ビニル巾木：新設	新設
	B-03	ビニル巾木	新設
	壁	既存木部壁：下地処理の上、OS塗装	新設
	W-02	既存モルタル壁(柱型)：下地処理の上、EP-G塗装	新設
	W-03	壁仕上げ撤去部：下地処理の上、EP-G塗装	新設
	W-04	劣化部補修・下地処理(C-1)の上、吹付用軽鋼製材	新設
	W-05	劣化部補修(モルタル浮き)：アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	新設
	W-06	LGS-65・ラワン合板t12下地、シナ合板t5.5貼 OS塗装	新設
	W-07	LGS-65・ラワン合板t12下地、シナ合板t5.5貼 EP-G塗装	新設
	その他	アリーナ上部防球柵(5,140×1,600)	新設
	①	アリーナ防球柵(1,730×300)	新設
	②	カーテンボックス	新設
	③	窓台	新設
	④	タラップ掛け	新設
	⑤	バスケットボールゴール板(壁付け)	新設
	⑥	校歌額	再取付(落下防止対策共)
	⑦	卒業制作額	再取付(落下防止対策共)

凡例 □：内装改修対象外部分を表す。



凡例  

 : 内装改修対象外部分を表す。  
 : 撤去部分を表す。

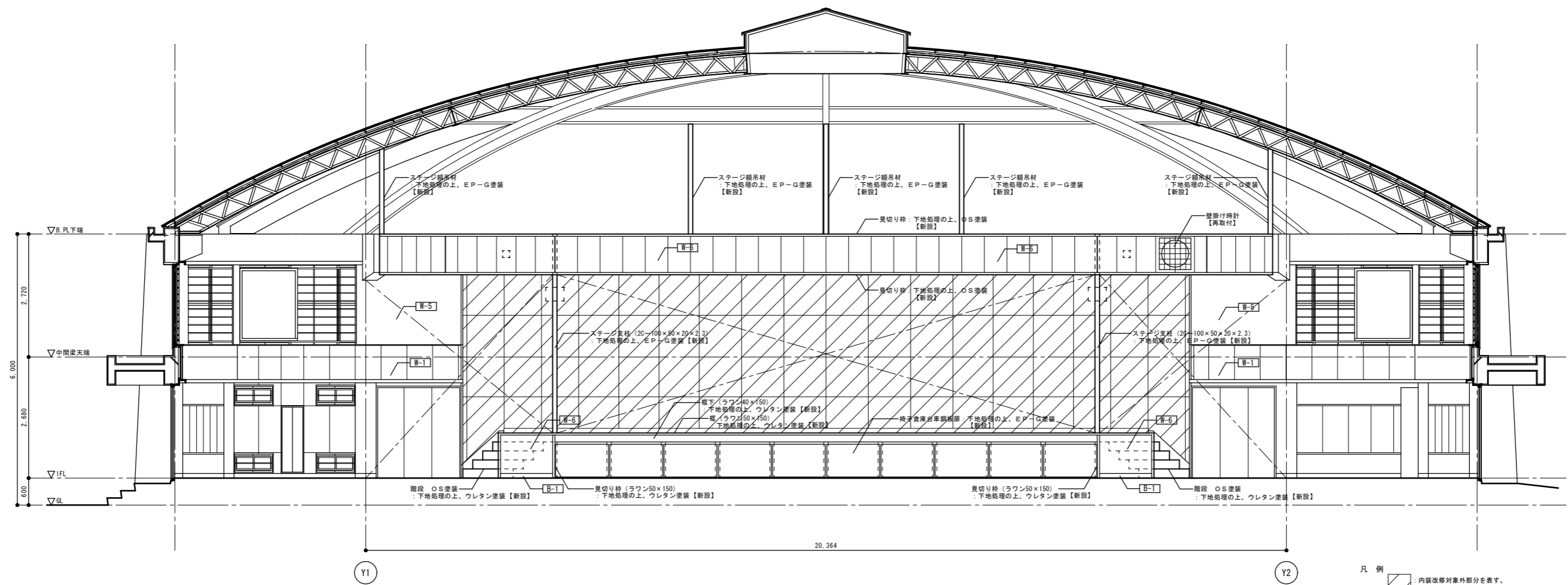


劣化部 凡例  
 (1.1) : ひび割れ部を表す。( )内数字は、長さを表す。(m)  

 : モルタル浮き部を表す。[ ]内数字は、面積を表す。(㎡)

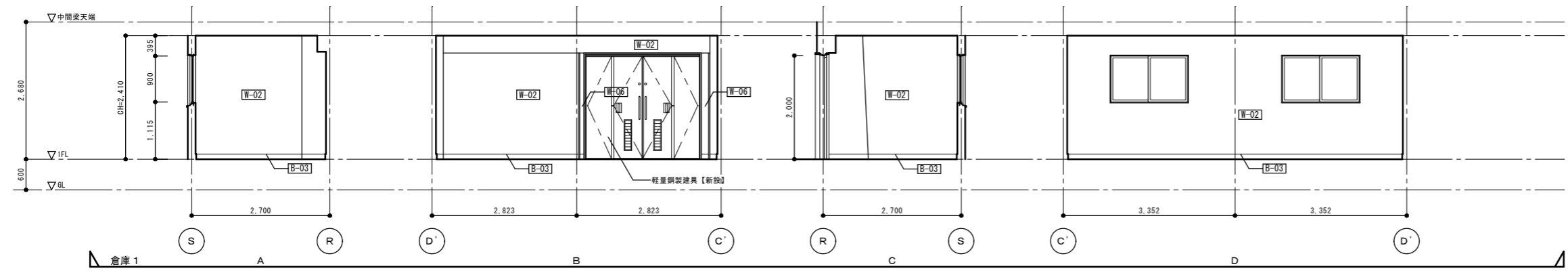
劣化部	倉庫1	倉庫2	機材庫	合計	計算式	設計数量
ひび割れ	13.2	0.9	9.1	23.2	23.2 × 1.2 = 27.84	27.8 m
モルタル浮き	3.2	2.2	1.3	6.7	6.7 × 1.2 = 8.04	8.0 m <sup>2</sup>

ひび割れ	Uカットシーリング材充填工法
モルタル浮き	既設モルタル撤去の上、モルタル金コテ仕上

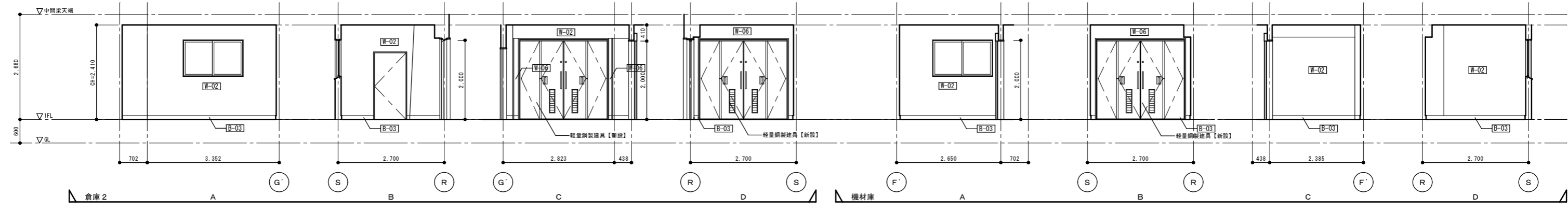


アリーナ (ステージ側) D

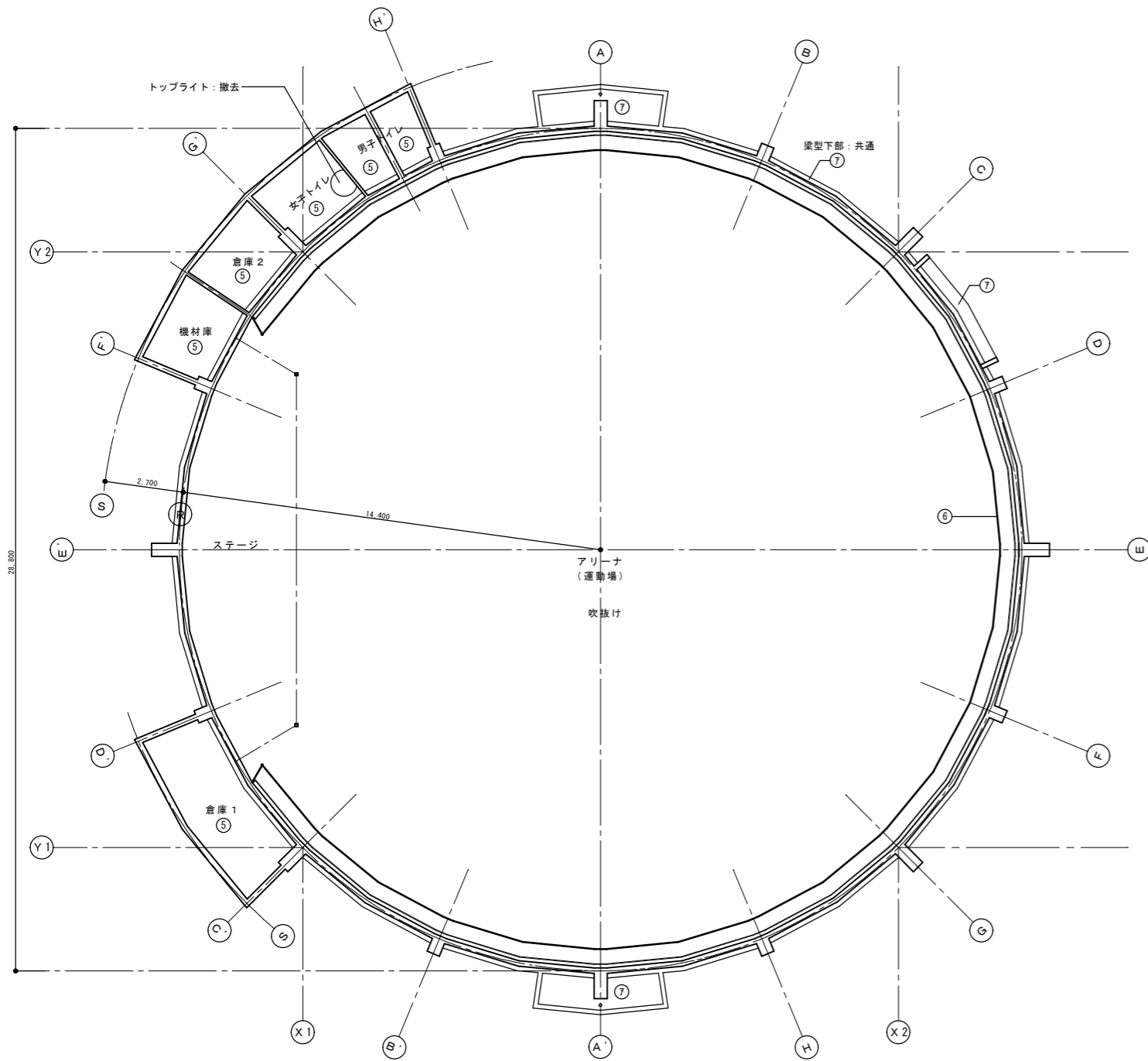
凡例 □ : 内装改修対象外部分を表す。



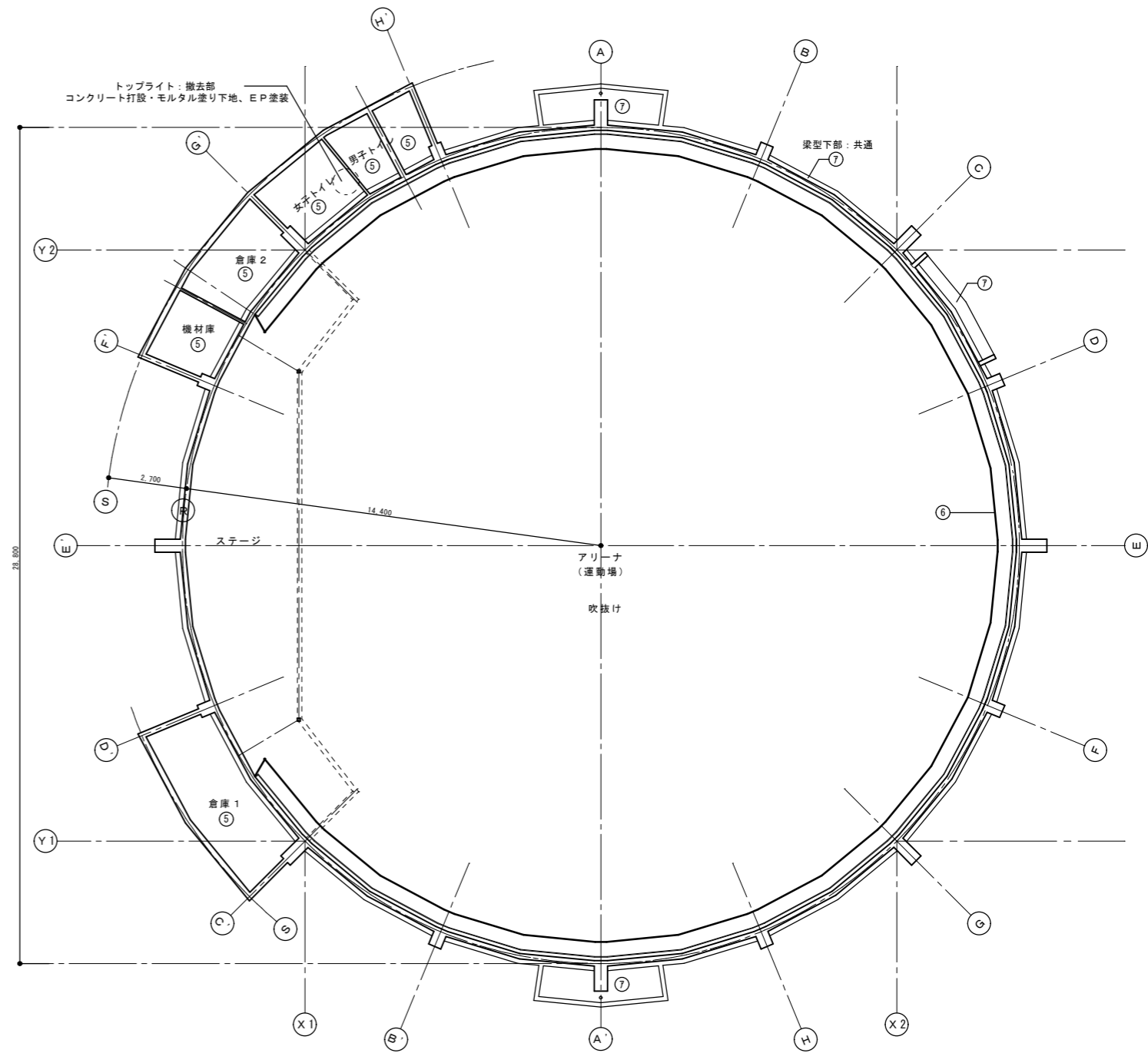
倉庫1 A B C D



倉庫2 A B C D 機材庫 A B C



1 階天井伏図 (改修前) S=1/100



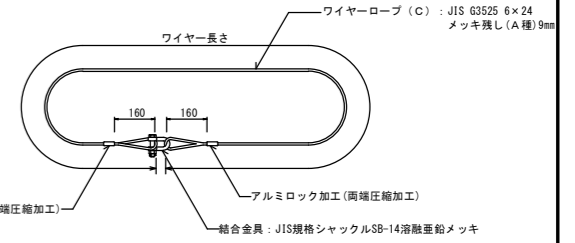
1 階天井伏図 (改修後) S=1/100

天井仕上げ	
符号	改修前
⑦	モルタル刷毛引き仕上、アクリルリシン吹付
①	木毛セメント板 t18 敷し、白セメント吹付
②	屋根鉄骨梁: 錆止め、OP 塗装
③	ブドウ棚 (鋼製): 錆止め、OP 塗装
④	モルタル塗り・下地処理の上、AP 吹付 (柱頭ブラケット)
⑤	プラスター塗り、EP 塗装
⑥	カーテンボックス: ラワン t24 (148×24) OS 塗装
⑦	ステージ下がり壁見切り枠: ラワン 50×200 OS 塗装
	改修後
	広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー・断熱塗料用専用主材、低汚染アクリルシリコン樹脂系外壁用遮熱塗装
	現況のまま
	現況のまま
	現況のまま
	劣化部補修・下地処理の上、吹付用軽量塗材
	下地処理の上、EP 塗装
	下地処理の上、OS 塗装
	下地処理の上、OS 塗装

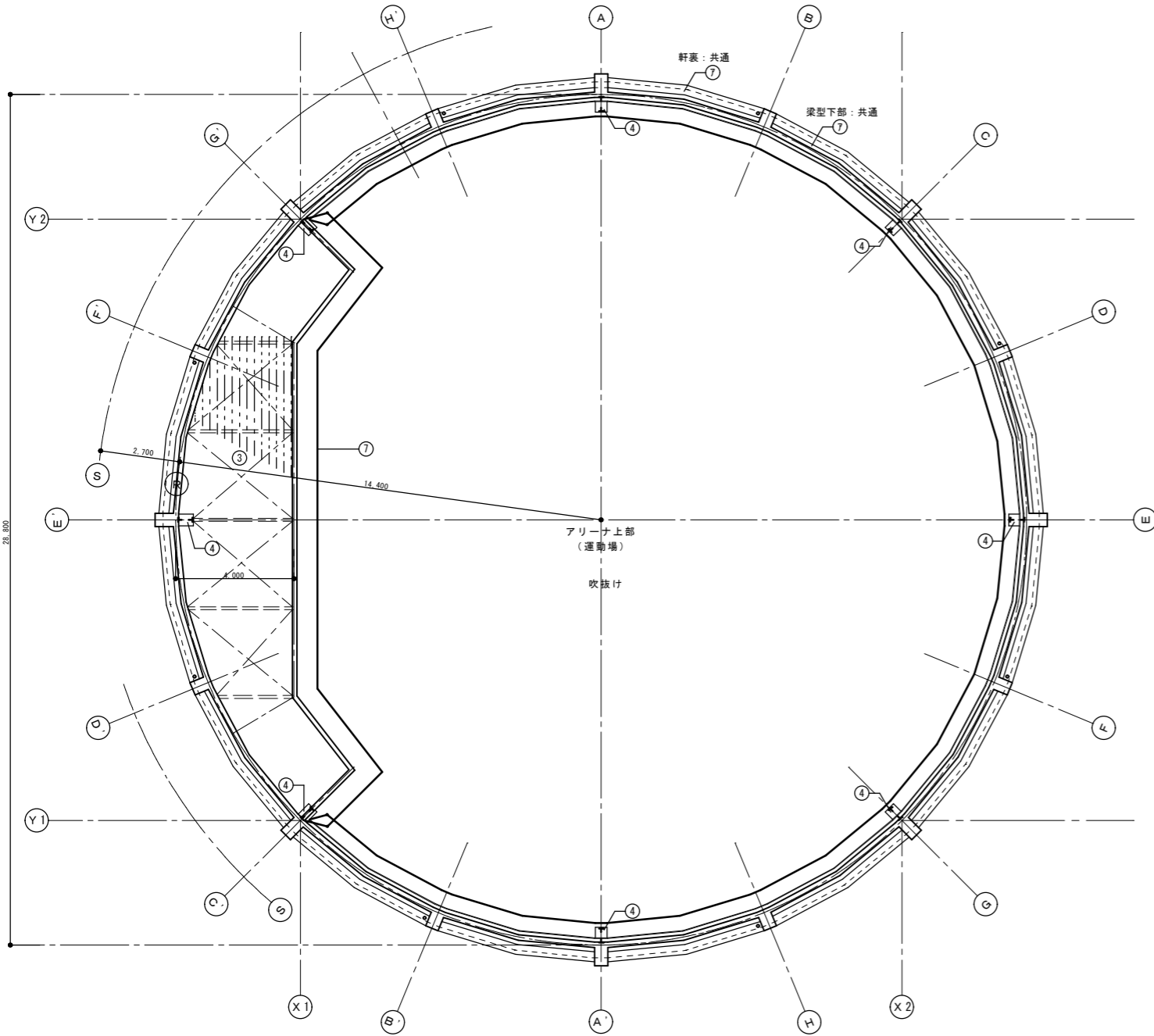
ワイヤーロープリスト (特記なき限り落下防止対策工事に使用するワイヤーロープは下記の同等品以上とする。)					
名称	材質	径	構成記号	JIS記号	破断荷重
ワイヤーロープ (C)	亜鉛メッキ鋼線	9φ	6×24 A種	JIS G3525	39.9KN
ワイヤーロープ (D)	亜鉛メッキ鋼線	6φ	6×19 B種	—	24.1KN

【特記事項】

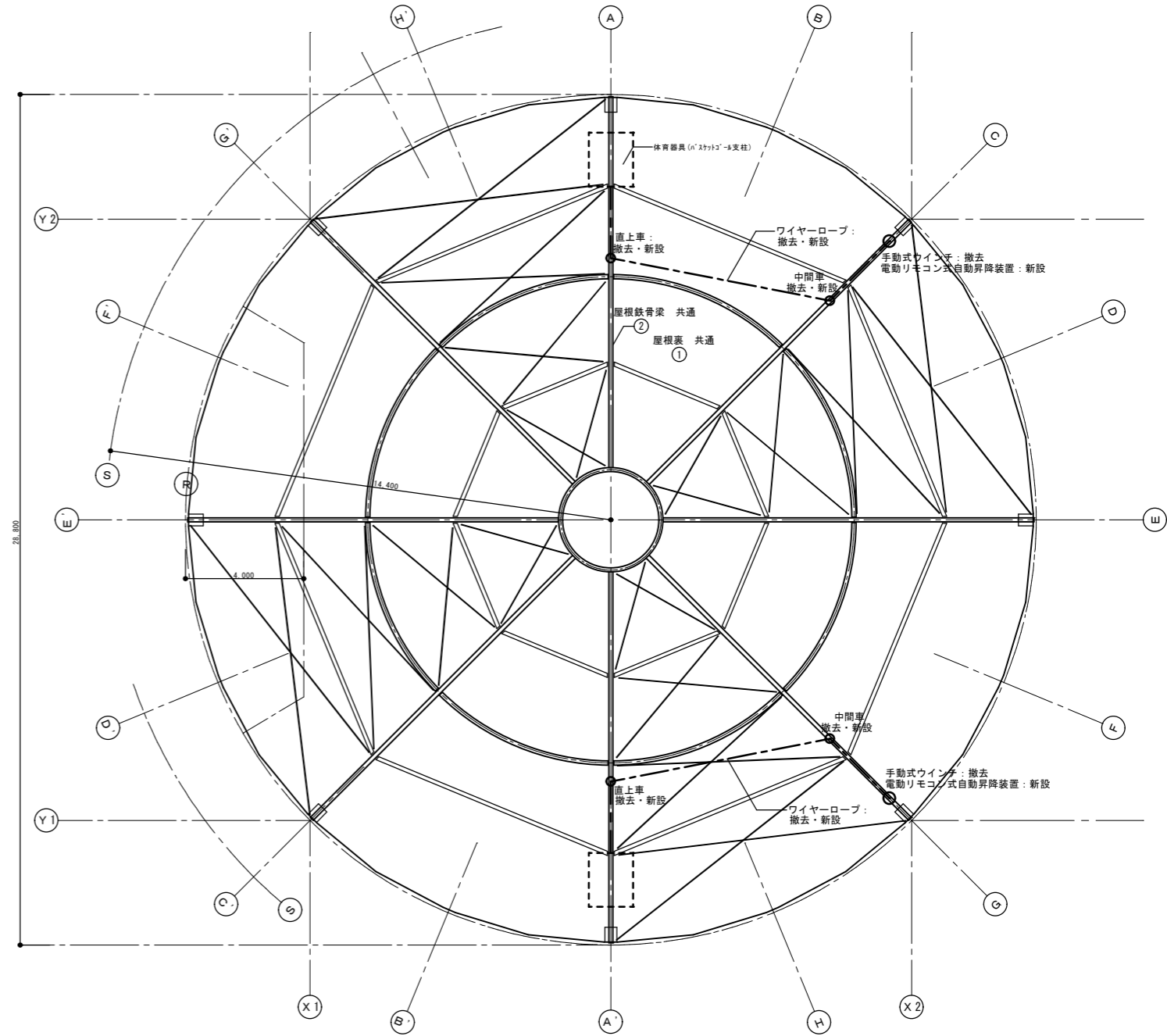
1. 落下防止ワイヤーについては、既存器具の寸法及び結合状態等を現地確認の上、配置・取付箇所を調整すること。
2. 既存機器及び器具の取付状況の確認を行い、ビス・ボルト等の締め直しを行うこと。又、ビス・ボルト等が欠落している場合は新規に取り付けること。
3. 新設するボルト・アンカー類はダブルナットとすること。
4. 吊りバスケットゴールの駆動装置等 (駆動装置・直上車・中間車・ワイヤーロープ) は交換とする。また、新設する駆動装置等は必ず落下防止措置をとることとする。



落下防止ワイヤー詳細図



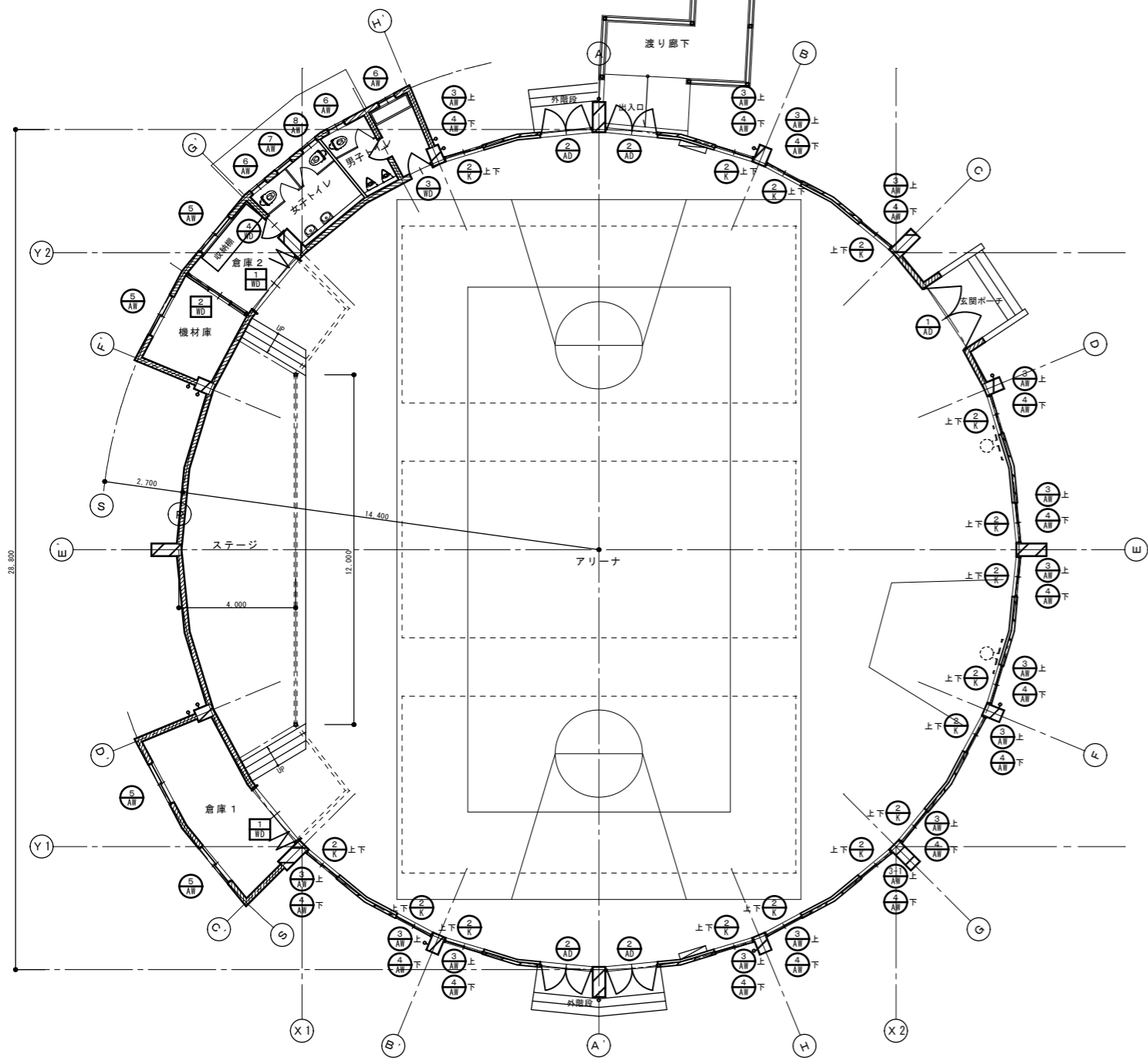
1階(上部)天井伏図 S=1/100 (軒梁レベル)



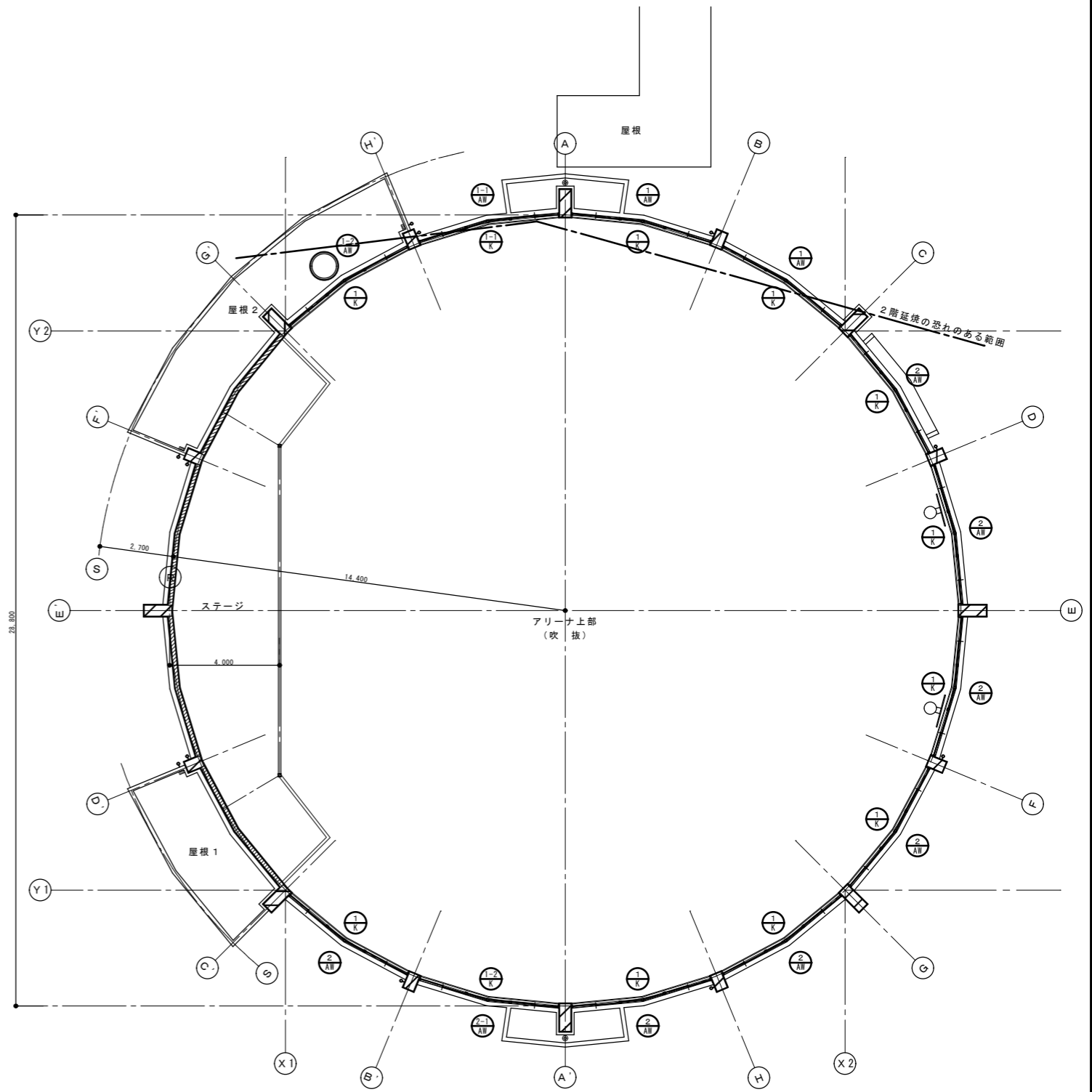
1階(上部)天井伏図 S=1/100

符号	改修前	改修後
⑦	モルタル刷毛引き仕上、アクリルリシン吹付	広範囲適用型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー・断熱塗料用専用主材、低汚染アクリルシリコン樹脂系外壁用遮熱塗装
①	木毛セメント板 t18敷し、白セメント吹付	現況のまま
②	屋根鉄骨梁：錆止め、OP塗装	現況のまま
③	ブドウ棚 (鋼製)：錆止め、OP塗装	現況のまま
④	モルタル塗り・下地処理の上、AP吹付 (柱頭ブラケット)	劣化部補修・下地処理の上、吹付用軽量塗材
⑤	プラスター塗り、EP塗装	下地処理の上、EP塗装
⑥	カーテンボックス：ラワン t24 (148×24) OS塗装	下地処理の上、OS塗装
⑦	ステージ下がり壁見切り枠：ラワン50×200 OS塗装	下地処理の上、OS塗装







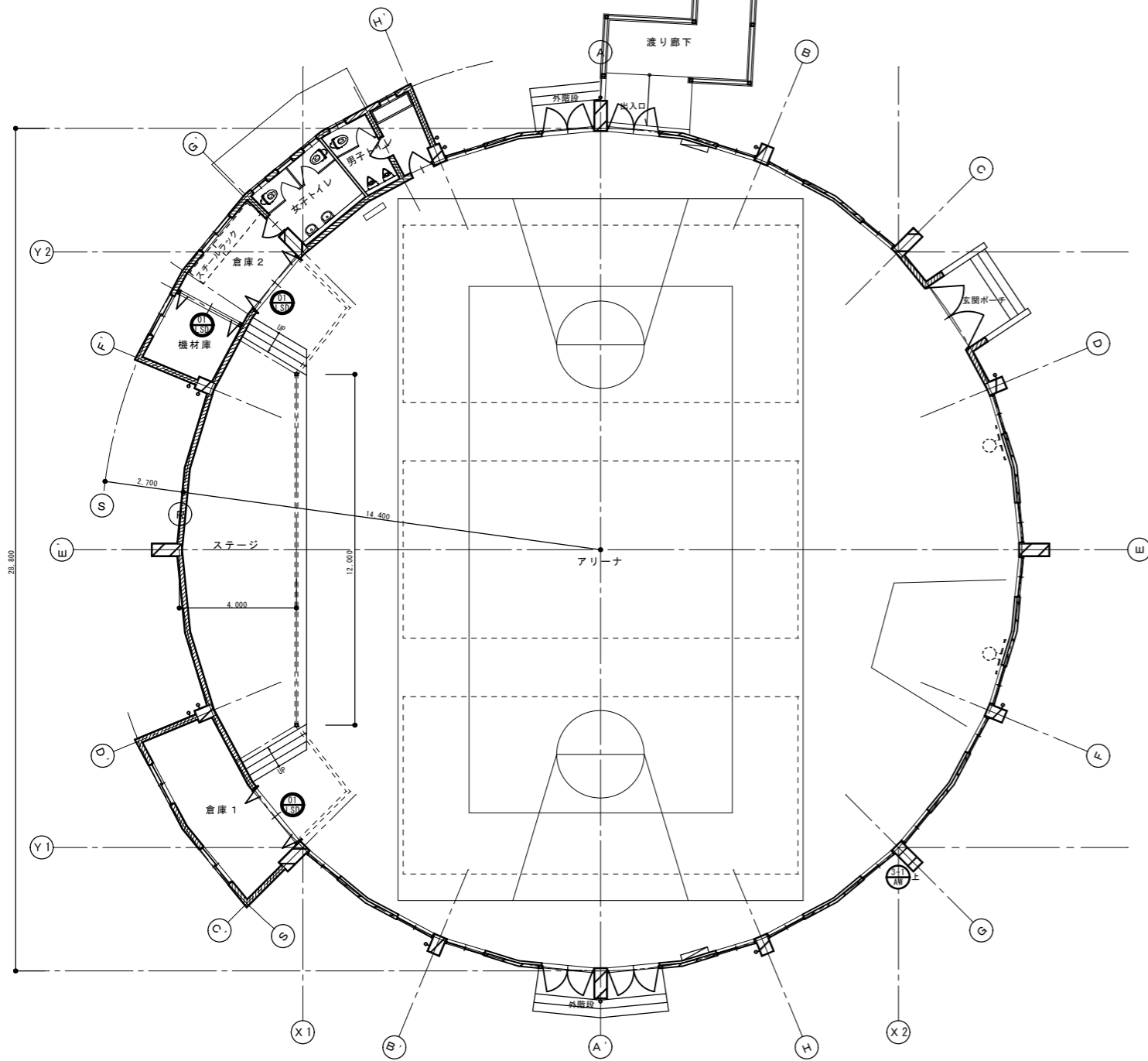
1階建具キープラン S=1/100



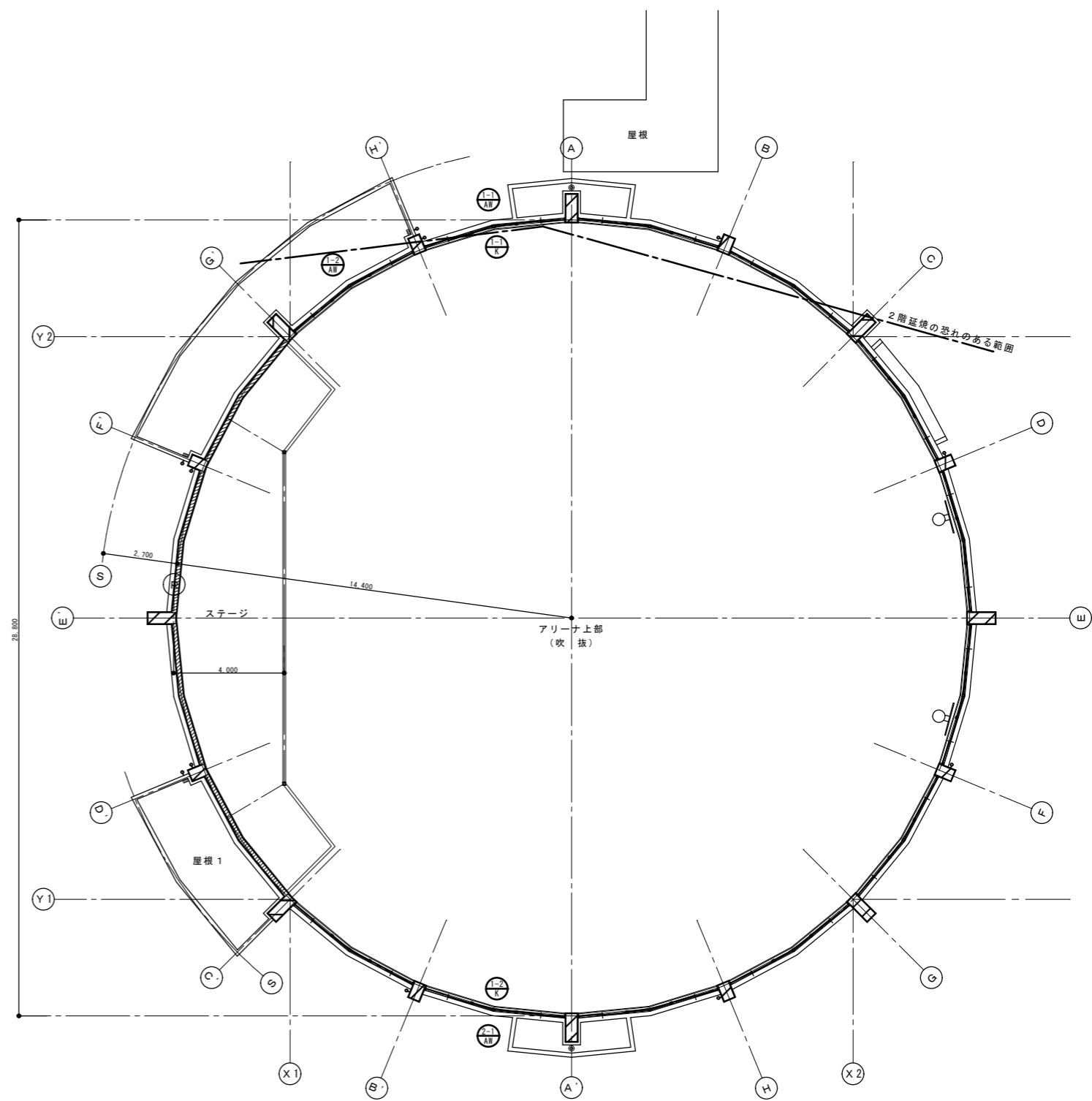
1階(上部)建具キープラン S=1/100

凡例  
 改修建具符号を表す。  
 撤去建具符号を表す。





1階建具キープラン S=1/100



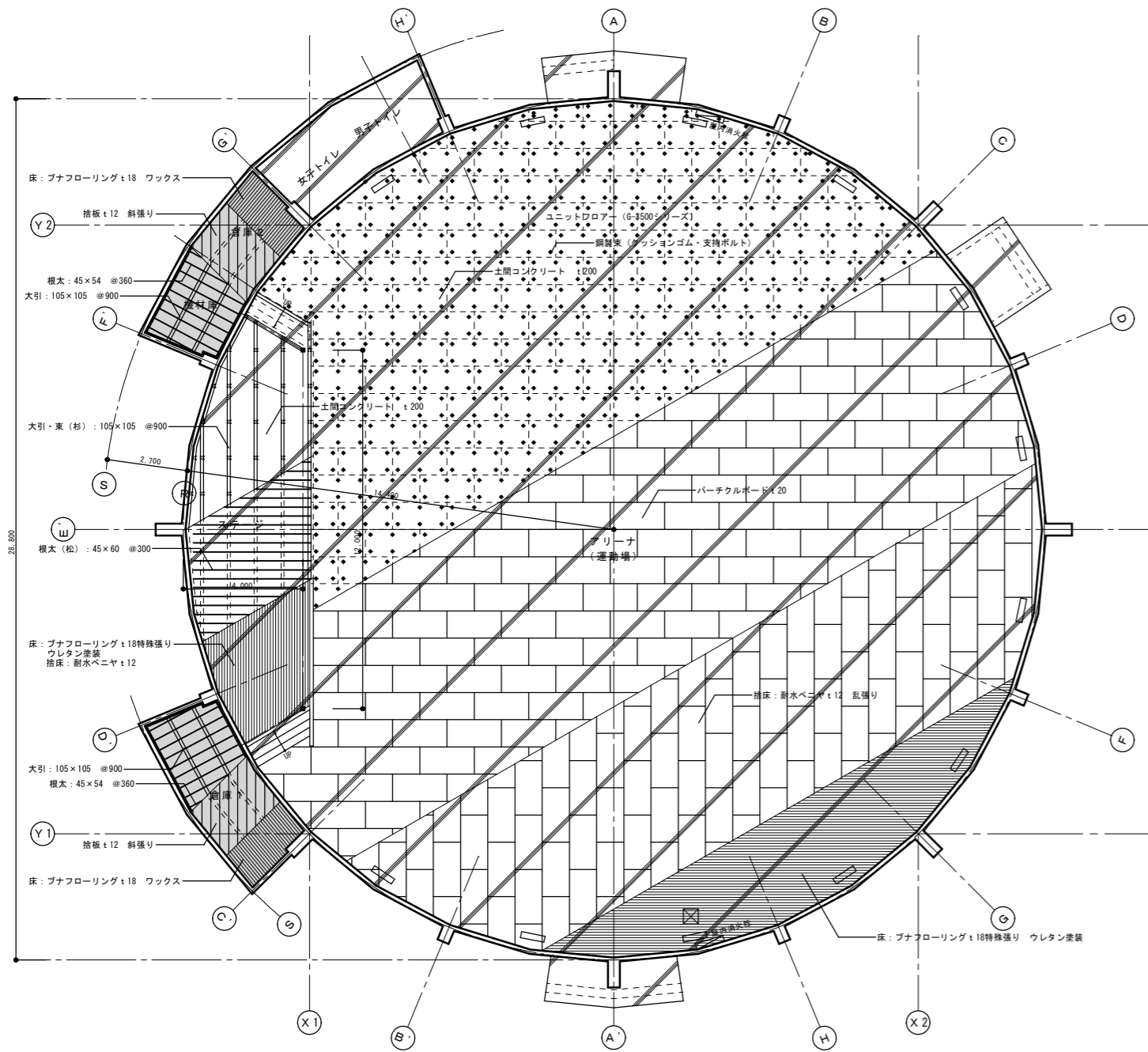
1階(上部)建具キープラン S=1/100



凡例  
 (Symbol with cross) : 新設建具符号を表す。  
 (Symbol with dot) : 改修建具符号を表す。

<p>符号 (1) AW</p> <p>形状</p>	<p>符号 (1-1) AW</p> <p>改修前</p>	<p>符号 (1-2) AW</p> <p>改修後</p>	<p>符号 (2) AW</p> <p>改修前</p>	<p>符号 (2-1) AW</p> <p>改修後</p>	
<p>場所・数量 アリーナ（上部） 2</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 一部ガラス：撤去</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8 一部：新設</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 無目・方立：新設、ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 一部ガラス：撤去</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	
<p>符号 (2) AW</p> <p>形状</p>	<p>符号 (2-1) AW</p> <p>改修前</p>	<p>符号 (2-2) AW</p> <p>改修後</p>	<p>符号 (3) AW</p>	<p>符号 (3-1) AW</p>	
<p>場所・数量 アリーナ（上部） 7</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 透明ガラス t3</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：既設撤去、強化透明ガラス t4に交換、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 透明ガラス t3</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 一部ガラス：撤去</p>	<p>場所・数量 アリーナ（上部） 1</p> <p>形式 嵌め殺し2連付片引き窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 強化透明ガラス t4</p> <p>金 物 戸車・水切・オペレーター・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 無目・方立：新設、ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 アリーナ 1.5</p> <p>形式 引違い窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・カラー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 クレット・戸車・水切・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 アリーナ 1</p> <p>形式 引違い窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・カラー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り透明ガラス t6.8</p> <p>金 物 クレット・戸車・水切・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、ガラス面：遮熱フィルム貼</p>	
<p>符号 (4) AW</p> <p>形状</p>	<p>符号 (5) AW</p>	<p>符号 (6) AW</p>	<p>符号 (7) AW</p>	<p>符号 (8) AW</p>	
<p>場所・数量 アリーナ（地窓） 1.6</p> <p>形式 引違い窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・カラー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 網入り型板ガラス t6.8</p> <p>金 物 クレット・戸車・水切・その他付属金物一式、防球枠付</p> <p>改修の内容 ガラス：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 倉庫1・2、機材庫 4</p> <p>形式 引違い窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 透明ガラス t3</p> <p>金 物 クレット・戸車・水切・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容 ガラス：既設撤去、強化透明ガラス t4に交換、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 男子・女子トイレ 3</p> <p>形式 引違い窓</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 透明ガラス t3</p> <p>金 物 クレット・水切・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容 ガラス：既設撤去、強化透明ガラス t4に交換、点検調整、外部シーリング：撤去・新設、遮熱フィルム貼</p>	<p>場所・数量 女子トイレ 1</p> <p>形式 引違い窓（開閉固定、室内：石膏ボードにて塞ぎ）</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 7&amp;8寸 t3</p> <p>金 物 クレット・水切・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容 パネル：清掃（外）、外部シーリング：撤去・新設</p>	<p>場所・数量 女子トイレ 1</p> <p>形式 引違い窓（開閉固定）</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・シルバー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 7&amp;8寸 t3</p> <p>金 物 クレット・水切・その他付属金物一式、換気扇付</p> <p>改修の内容 パネル：清掃（内外）、外部シーリング：撤去・新設</p>	
<p>符号 (1) AD</p> <p>形状</p>	<p>符号 (2) AD</p>	<p>符号 (1) BD</p>	<p>符号 (2) BD</p>	<p>符号 (3) BD</p>	
<p>場所・数量 アリーナ 1</p> <p>形式 両開き戸</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・カラー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 7&amp;8寸 t3</p> <p>金 物 ドアサッシ、シリンドラ錠・7&amp;8寸落し・水切・その他付属金物一式、下枠：ステンレス製</p> <p>改修の内容 パネル：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設</p>	<p>場所・数量 アリーナ 4</p> <p>形式 両開き戸</p> <p>材質・仕上 アルミ製 ・カラー</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス 7&amp;8寸 t3</p> <p>金 物 ドアサッシ、シリンドラ錠・7&amp;8寸落し・水切・その他付属金物一式、下枠：ステンレス製</p> <p>改修の内容 パネル：清掃（内外）、点検調整、外部シーリング：撤去・新設</p>	<p>場所・数量 倉庫 2</p> <p>形式 3枚折りたたみ戸（ハンガー戸）</p> <p>材質・仕上 ラウン羽目板（両面） ・OS塗装</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス</p> <p>金 物 丁番・把手・鍵錠・戸釘・及び釘金物・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容 撤去（木枠共）</p>	<p>場所・数量 機材庫 1</p> <p>形式 片引き戸</p> <p>材質・仕上 ラウン羽目板（両面） ・OS塗装</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス</p> <p>金 物 引手・鍵錠・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容 撤去（木枠共）</p>	<p>場所・数量 男子トイレ 1</p> <p>形式 片引き戸</p> <p>材質・仕上 ポリ合板フラッシュ</p> <p>見 込 70</p> <p>ガラス</p> <p>金 物 丁番・シリンドラ錠・その他付属金物一式</p> <p>改修の内容</p>	
<p>春日部市 学校教育施設課</p>					<p>工事名称 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事</p> <p>図面名称 建具表-1</p> <p>図面No. A-33</p>

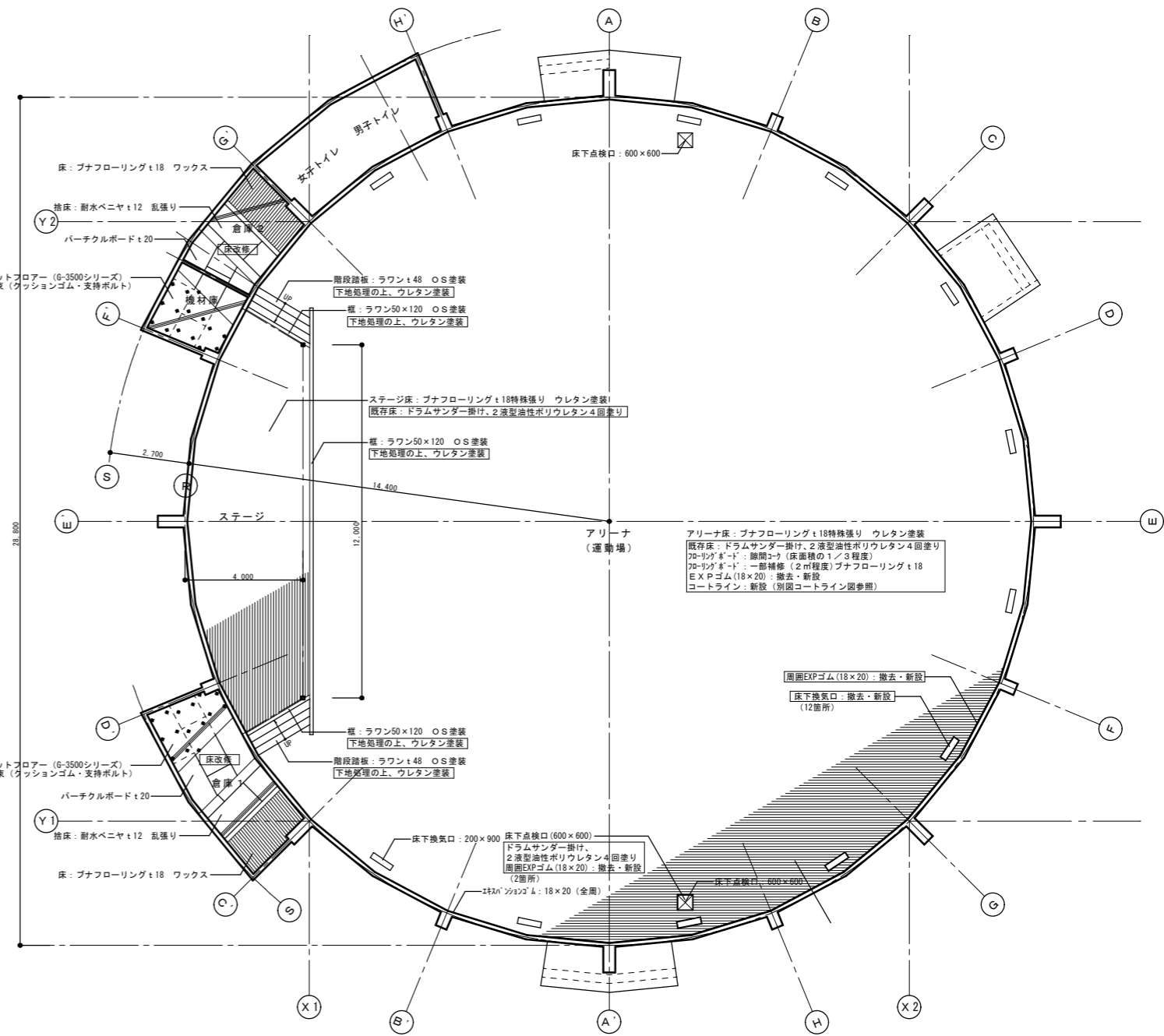
符 号	④	⑤	⑥	⑦	⑧
形 状					
場所・数量	女子トイレ 1	アリーナ(上部) 10	アリーナ(上部) 1	アリーナ(上部) 1	アリーナ 32
形 式	片開き戸	防球柵	防球柵	防球柵	防球柵
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ	スチール	スチール	スチール	スチール
見 込	70	30	30	30	30
ガラス					
金 物	丁番・シリンダー錠・その他付属金物一式				
改修の内容		一時取外し・再取付、下地処理の上、EP-G塗装	一時取外し・再取付、下地処理の上、EP-G塗装、有圧換気扇取付部、一部改修	一時取外し・再取付、下地処理の上、EP-G塗装、有圧換気扇取付部、一部改修	一時取外し・再取付、下地処理の上、EP-G塗装
符 号	① LS0				
形 状					
場所・数量	倉庫1・2、器具庫 3				
形 式	軽鋼製両開き折れ戸				
材質・仕上	枠: 亜鉛メッキ鋼板、扉: 亜鉛メッキ鋼板・A'-n'-37 焼付塗装				
見 込	100				
ガラス	(アルミ製ガラリ)				
金 物	吊り金物、ステン製ハンドル・取手、本錠錠、その他付属金物一式				
改修の内容	新設				
符 号					
形 状					
場所・数量					
形 式					
材質・仕上					
見 込					
ガラス					
金 物					
改修の内容					
符 号					
形 状					
場所・数量					
形 式					
材質・仕上					
見 込					
ガラス					
金 物					
改修の内容					
			春日部市 学校教育課	工事名称 幸松小学校体育館外壁等耐震対策工事	図面No A-34
				日付 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面名称 建具表-2



床伏図 (改修前) S=1/100

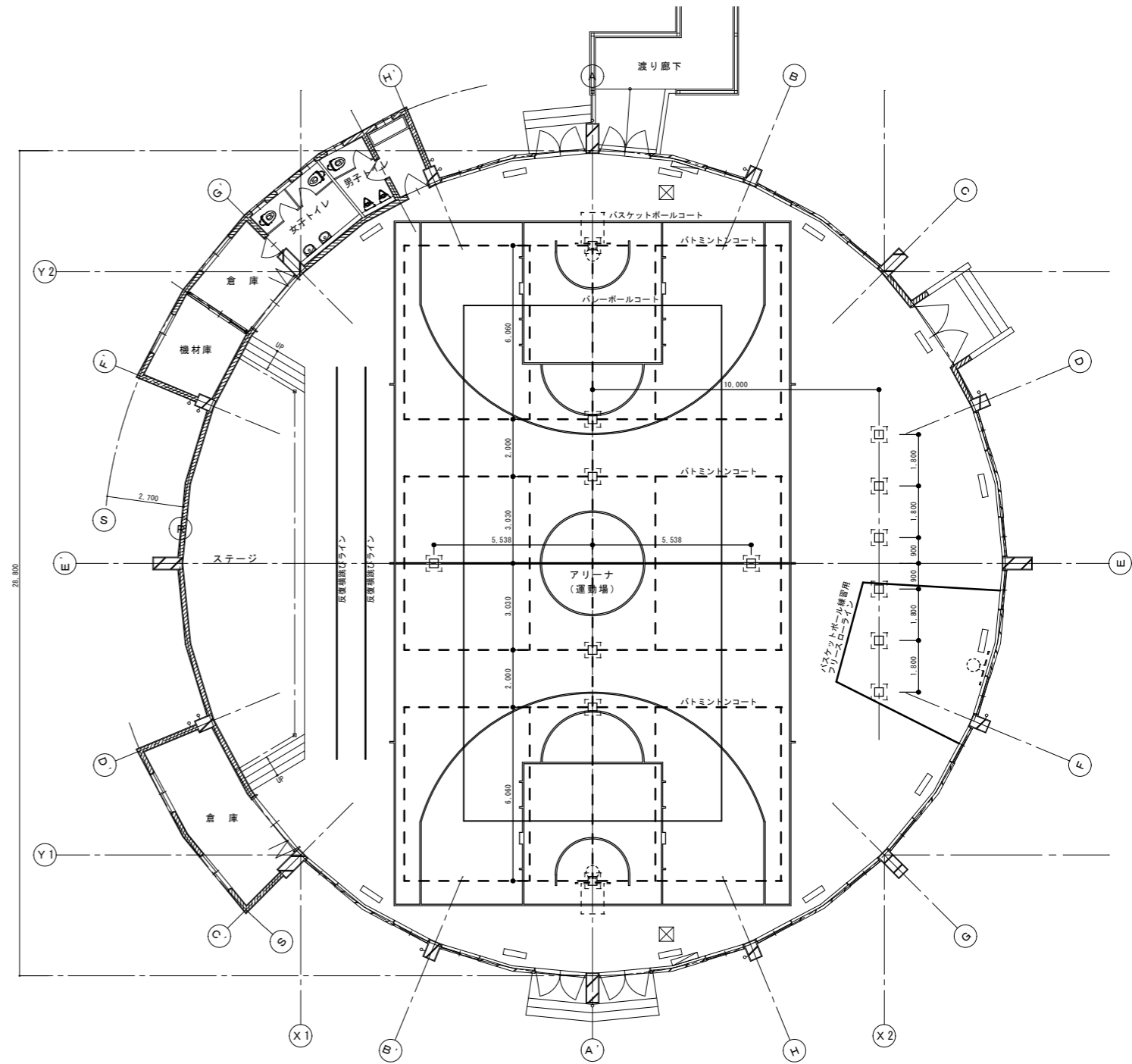


- 凡例
- : 土間コンクリート打設部分を表す。
  - : 床撤去部分を表す。(木床組み共)  
(倉庫1・2、機材庫)



床伏図 (改修後) S=1/100

- 凡例
- : 土間コンクリート打設部分を表す。
  - : 床撤去部分を表す。
  - : 改修内容を表す。
  - : 特記なき部分は、現況のままとする。



コートライン

- バスケットボールコート (1面) 23.9m × 13.8m
- バレーボールコート (1面) 18m × 9m
- バドミントンコート (3面) 13.1m × 6.1m

※コートラインは、現行基準に準ずること。  
 コートの大きさ等は、監督員・施設管理者と協議すること。

コートライン・器具配置図 S=1/100

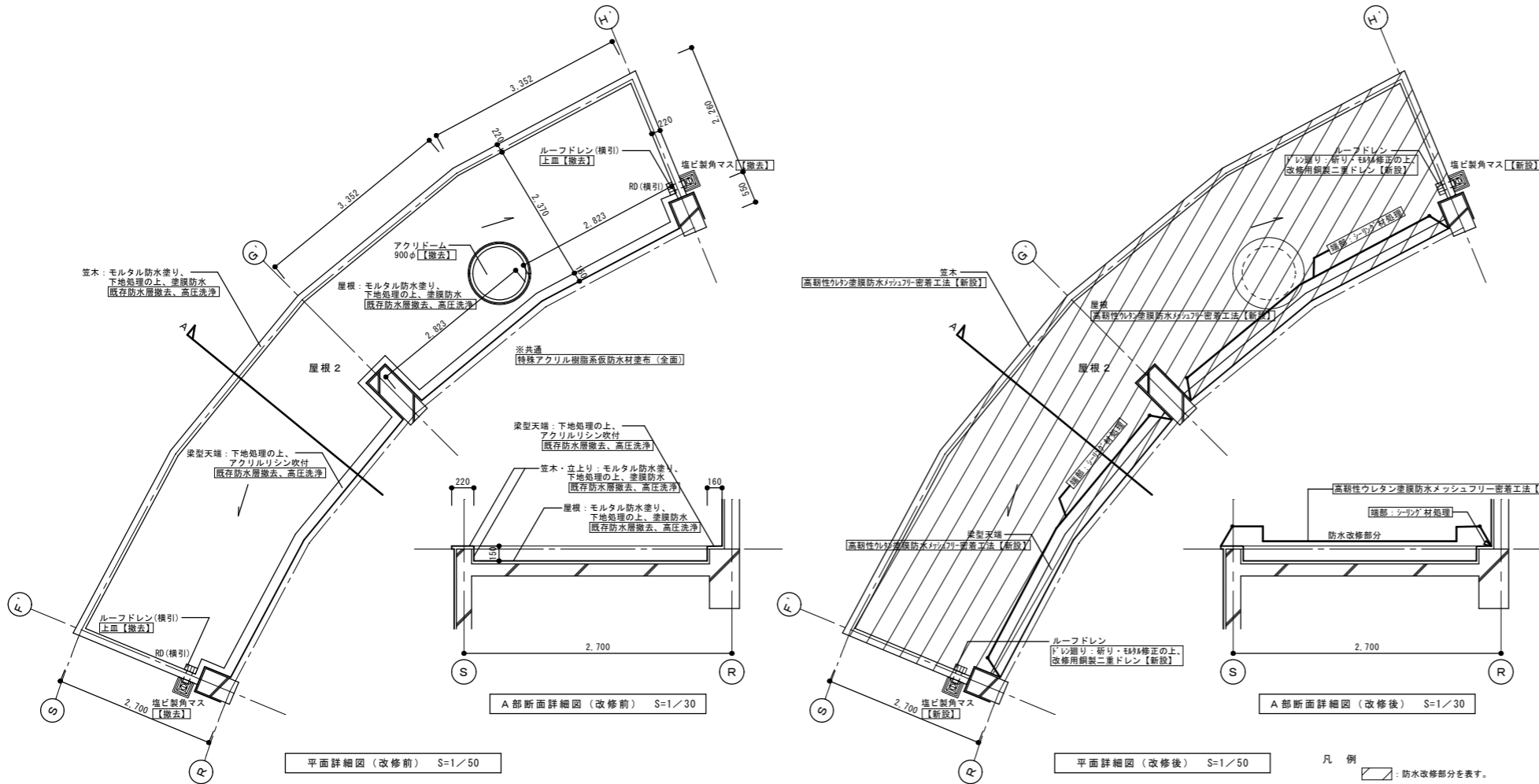


凡例

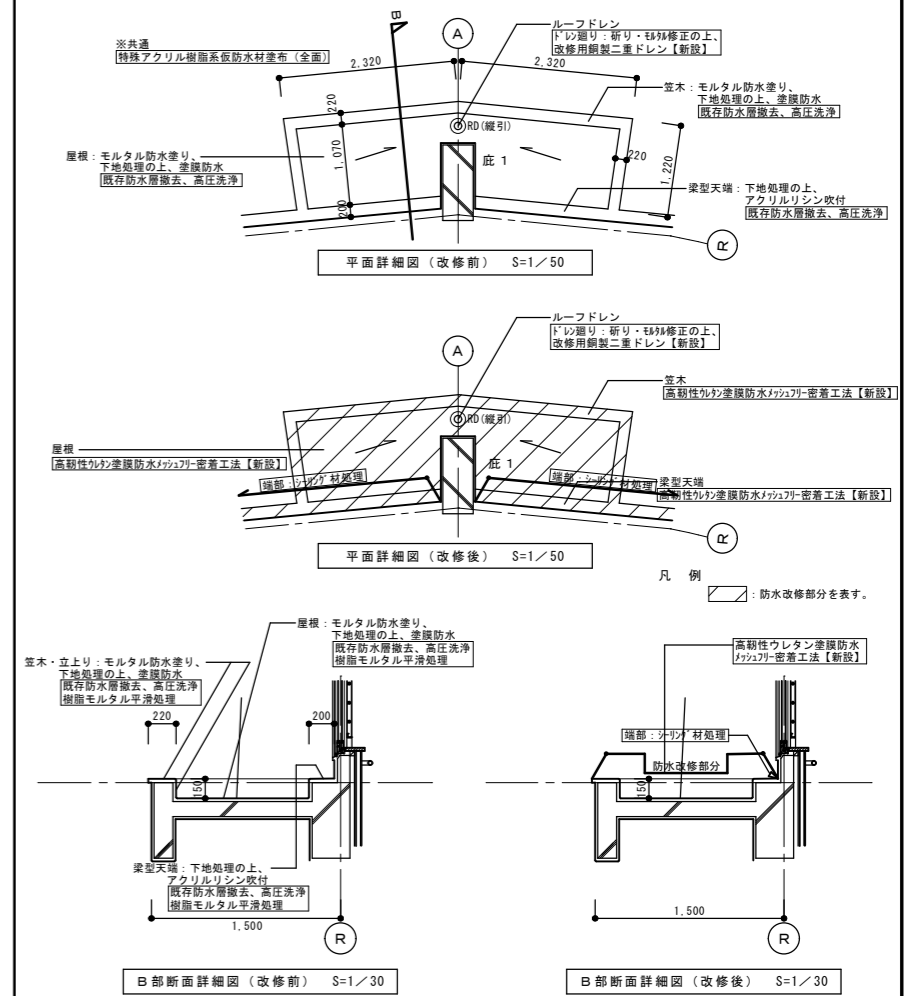
- : 体育器具基礎を表す。
- A: バレーボール用基礎 2箇所
- B: バドミントン用基礎 6箇所
- C: 低鉄棒用基礎 6箇所

※現状のまま (点検・清掃)

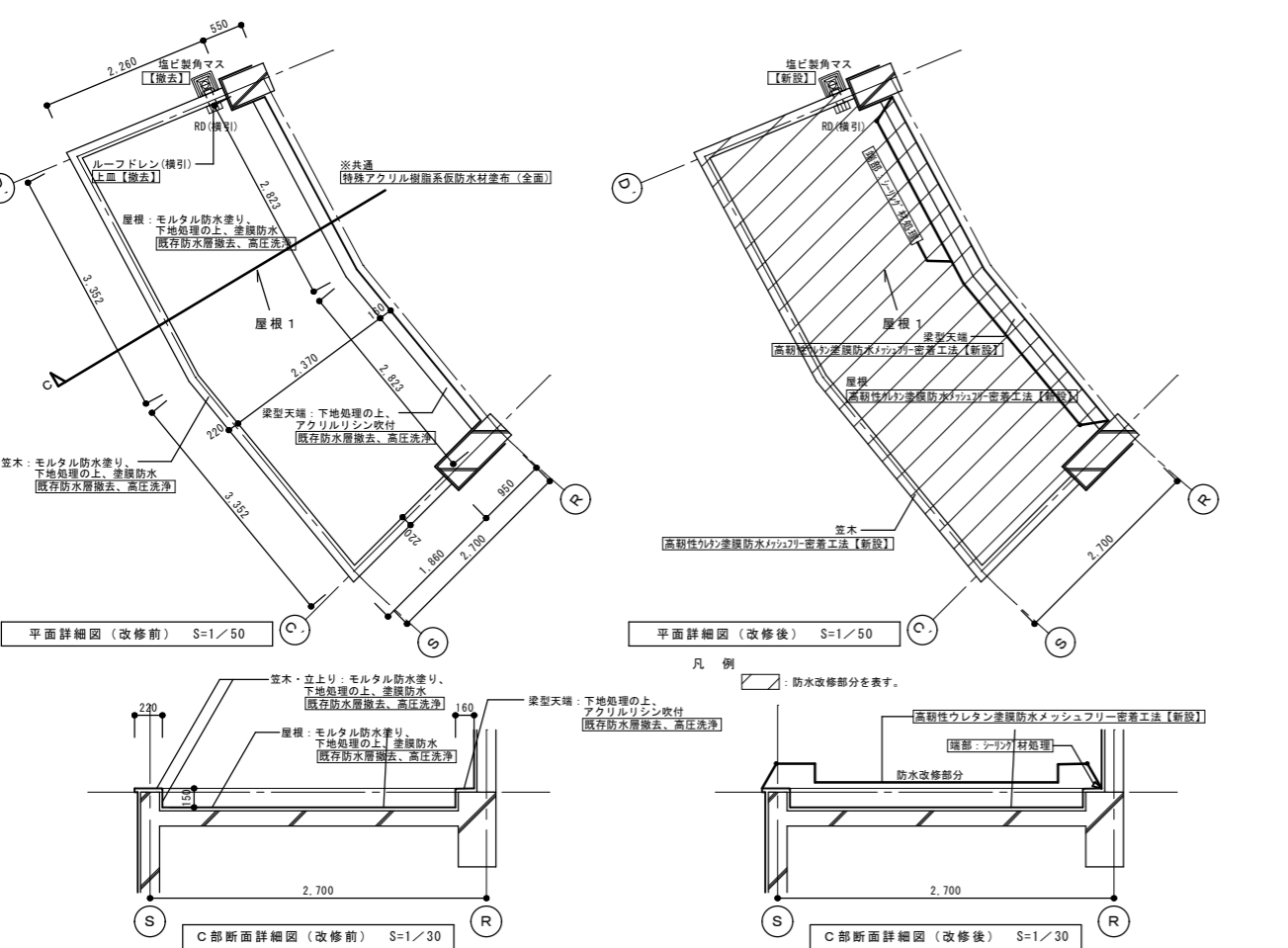
屋根 2 : 改修前・改修後



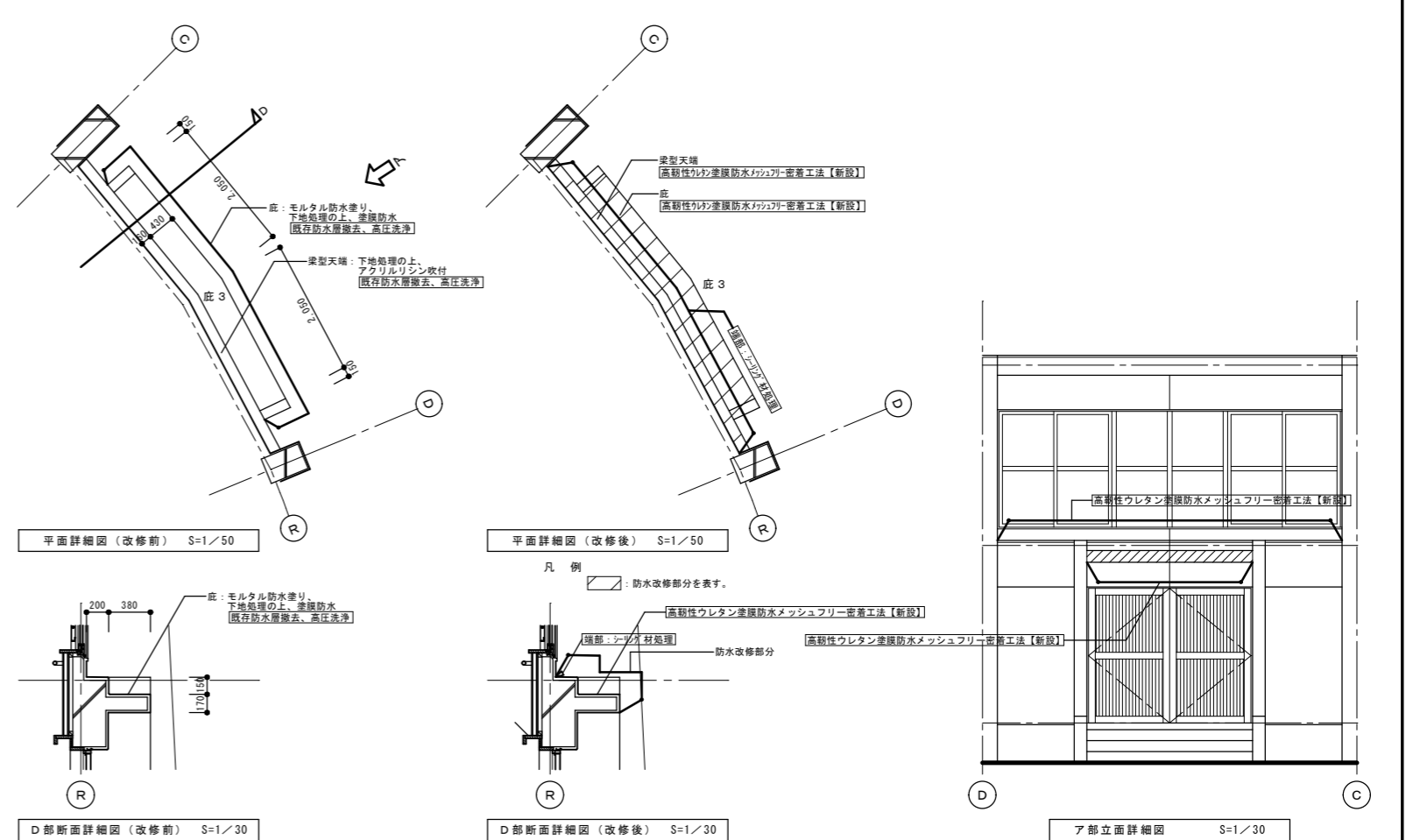
庇 1 : 改修前・改修後 (庇 2 は、反転とする。)

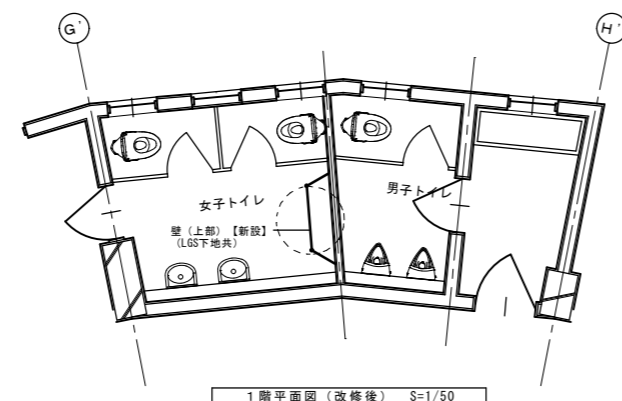
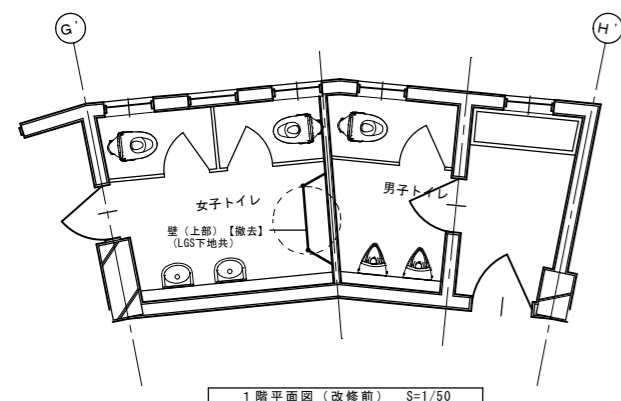
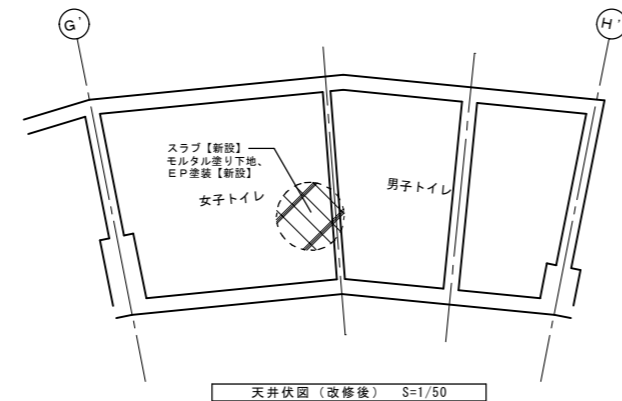
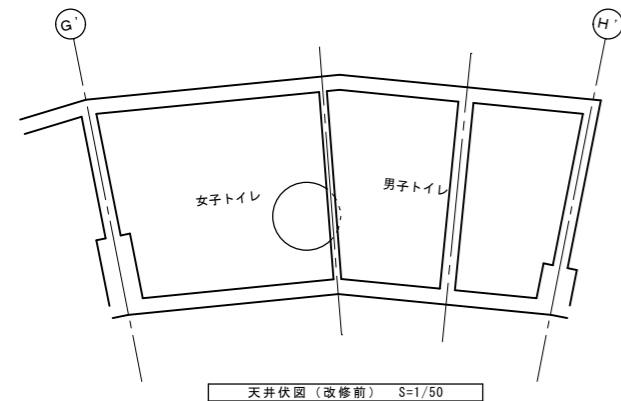
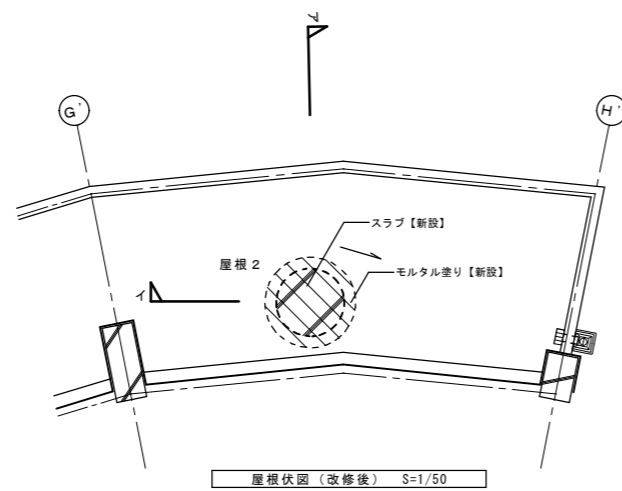
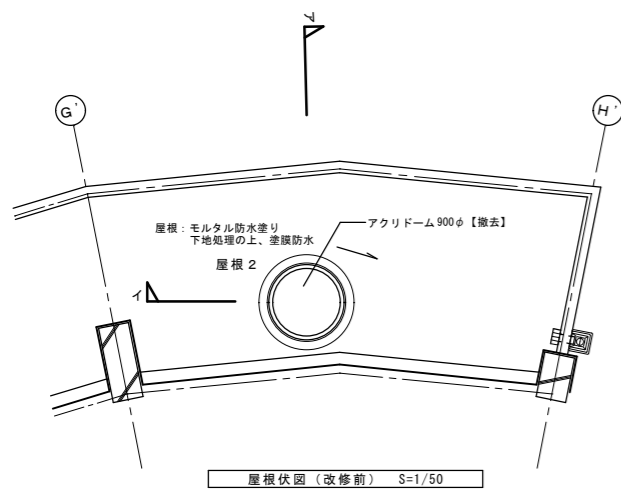


屋根 1 : 改修前・改修後

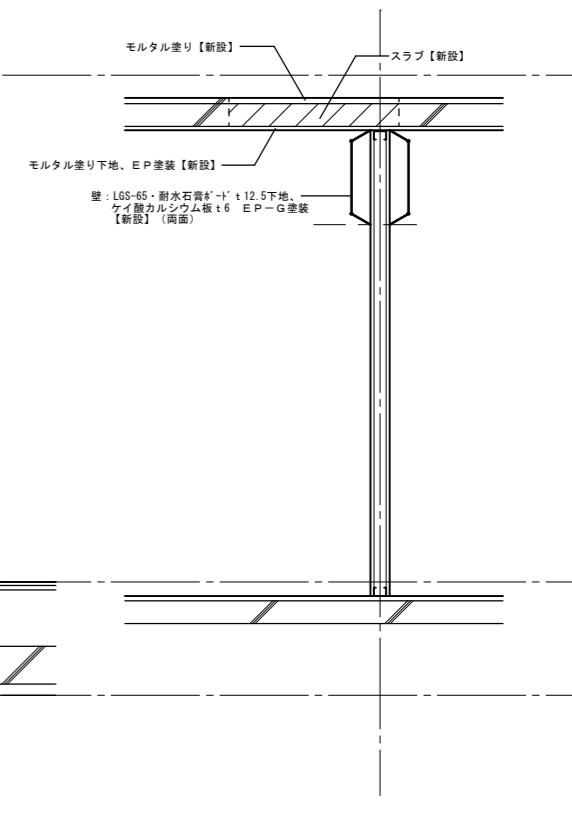
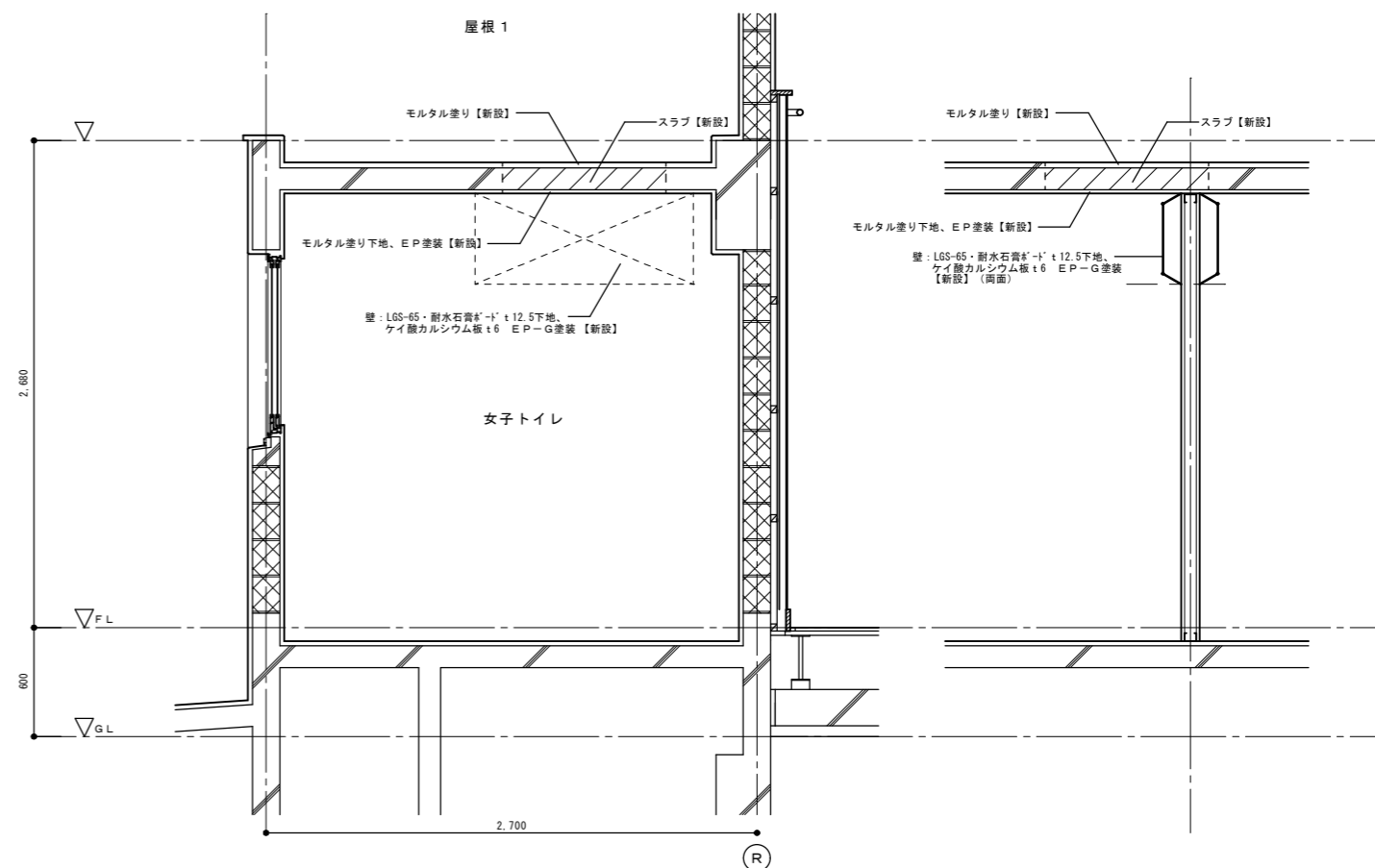
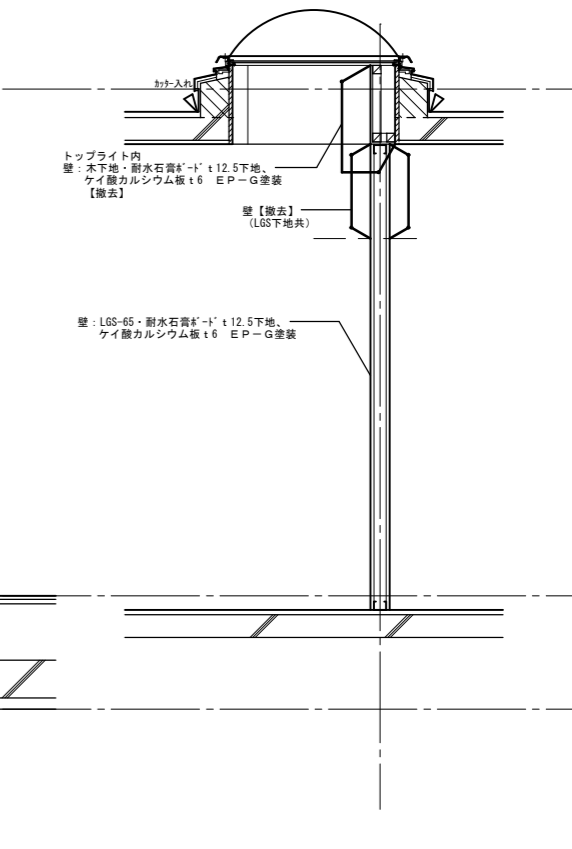
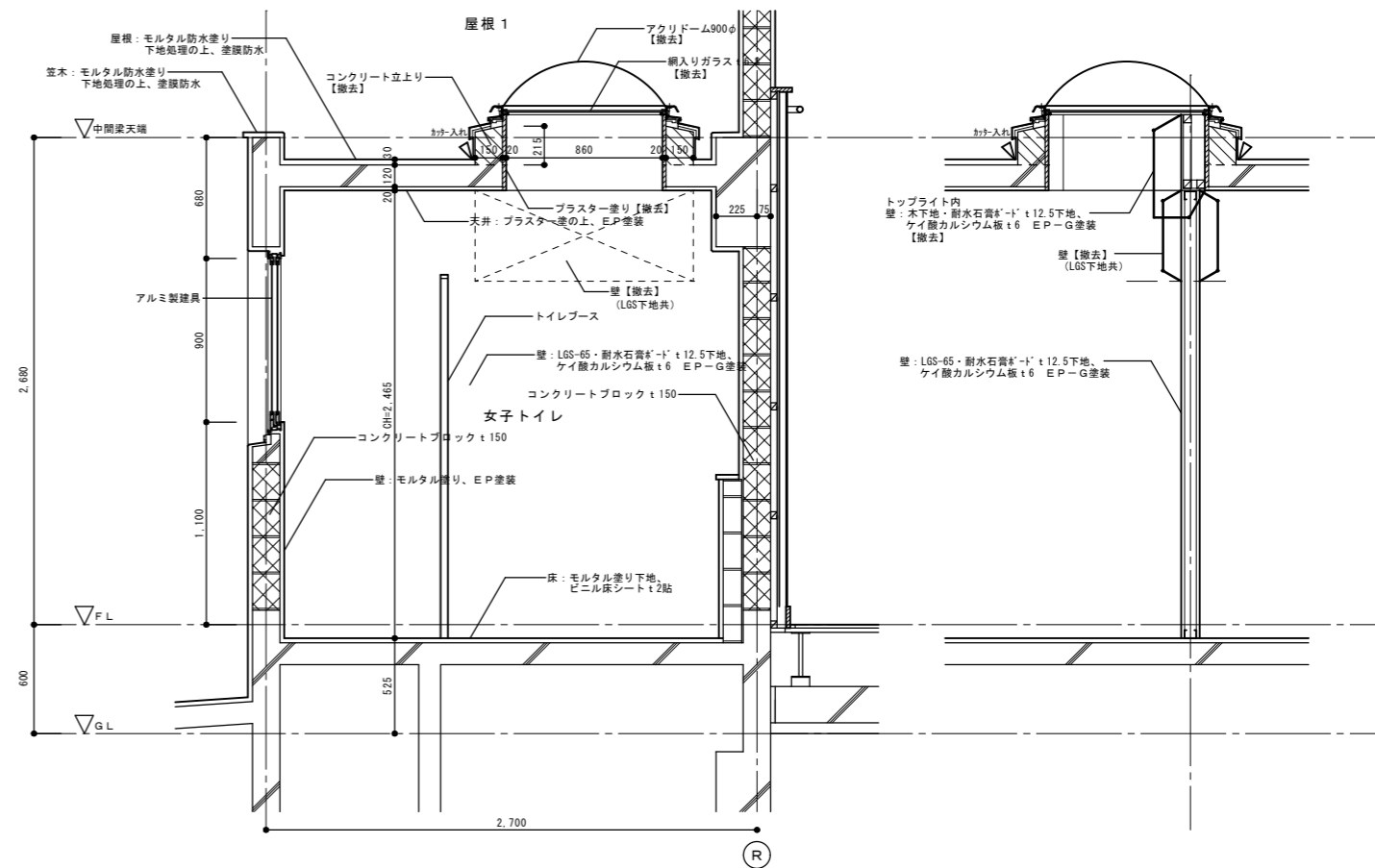
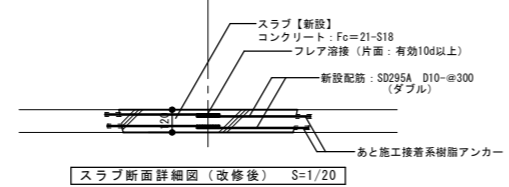
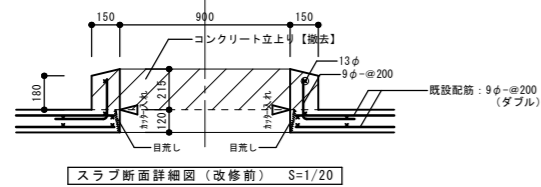
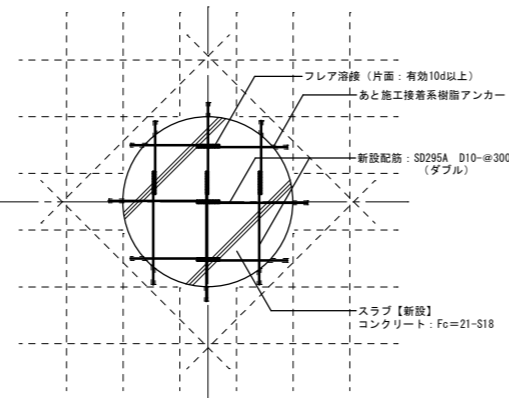
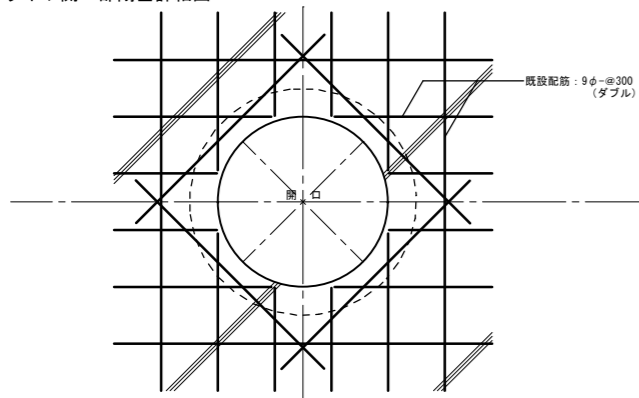


庇 3 : 改修前・改修後





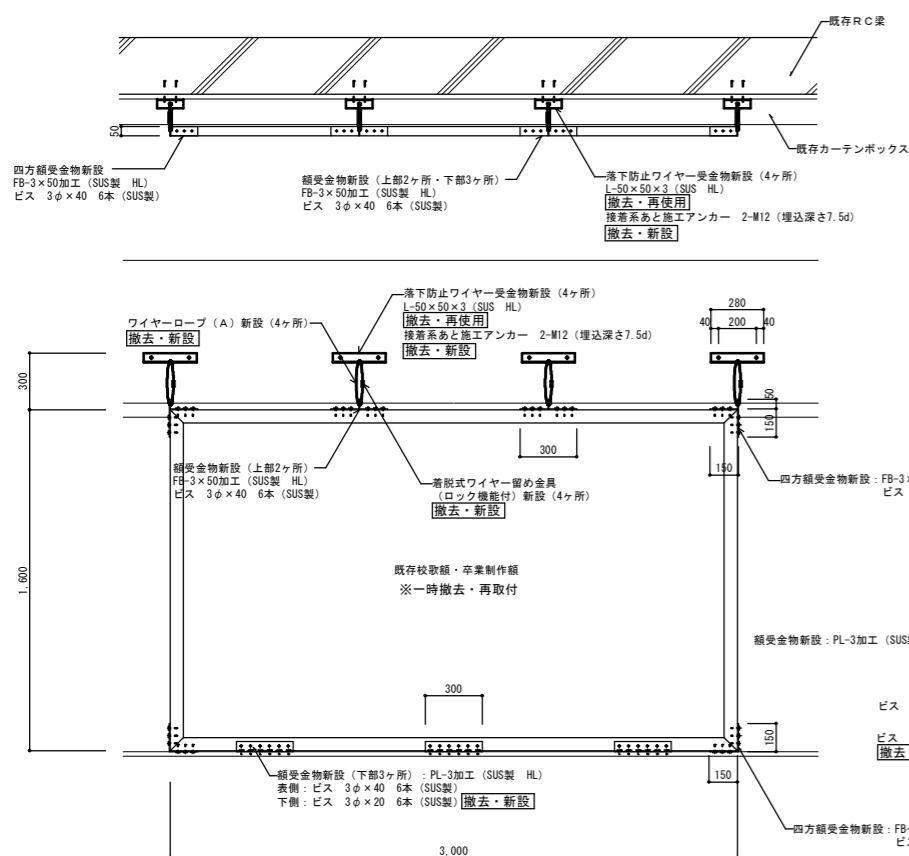
トップライト開口部閉塞詳細図



額 (校歌額・卒業制作額) 取付詳細図

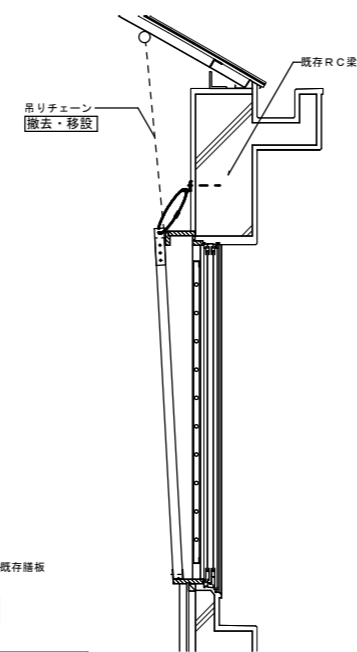
S=1/20、S=1/5

※既存校歌額・卒業制作額：一時撤去・再取付



ワイヤーロープリスト  
(特記なき限り落下防止対策工事に使用するワイヤーロープは下記の同等品以上とする。)

名称	材質	径	構成記号	JIS記号	破断荷重
ワイヤーロープ (A)	亜鉛メッキ鋼線	3φ	1×7 1種	JIS G3537	6.19KN

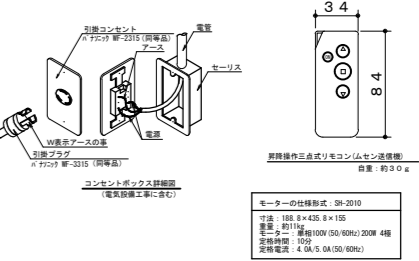
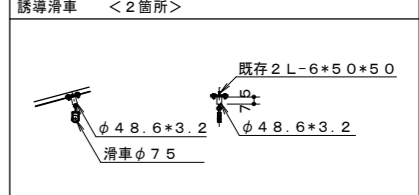
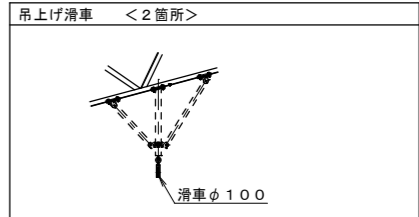
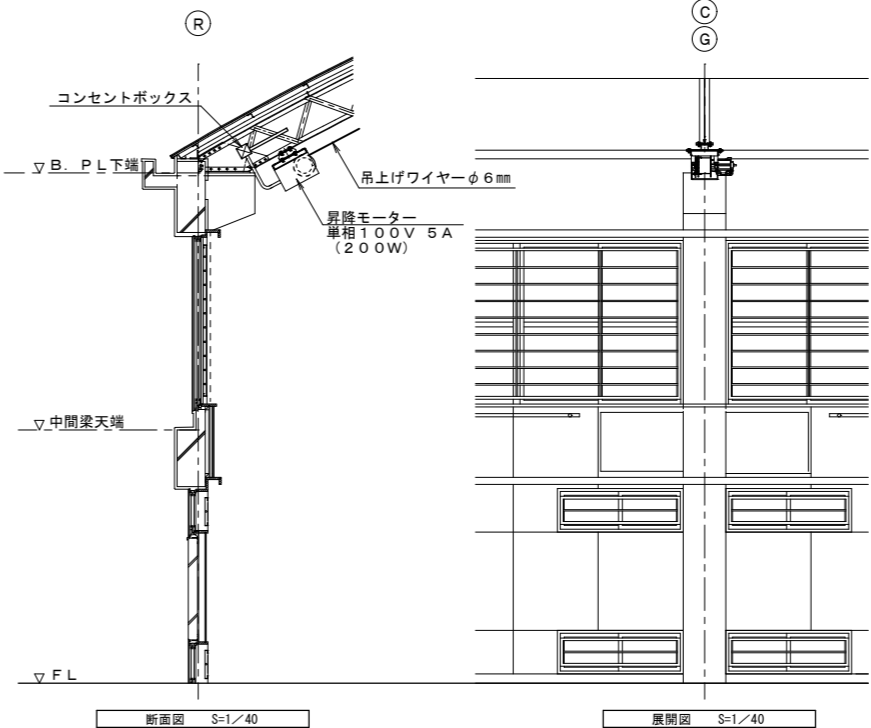


種類	既存額寸法		
	W	H	D
校歌額	3,000	1,600	60
卒業制作額	3,000	1,600	60

【特記】  
・アンカー打ちの際は、事前に鉄筋探査を行うこと。

吊上げ式バスケット昇降装置詳細図

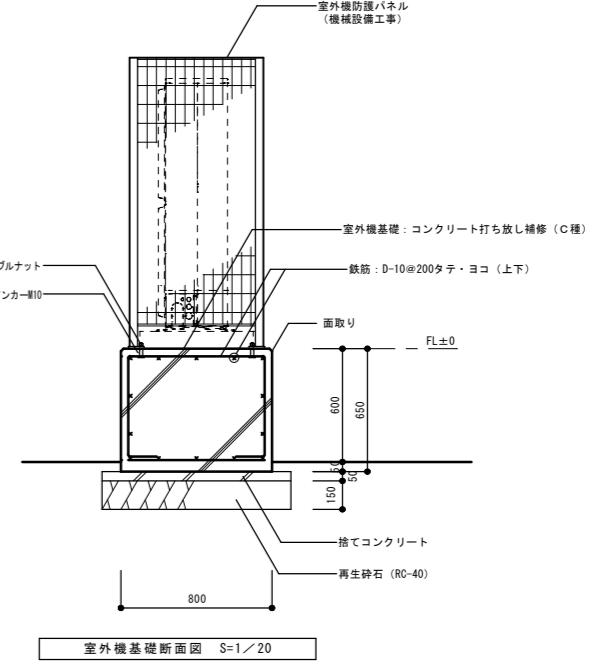
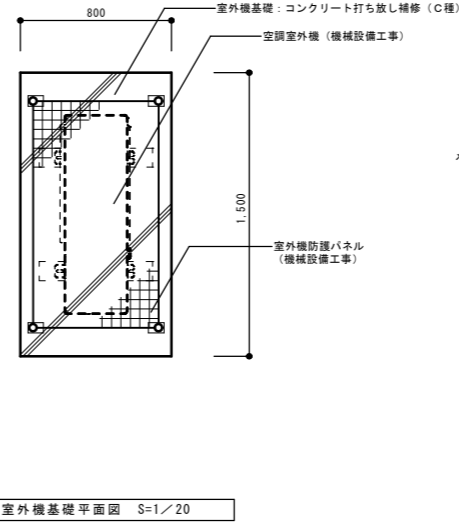
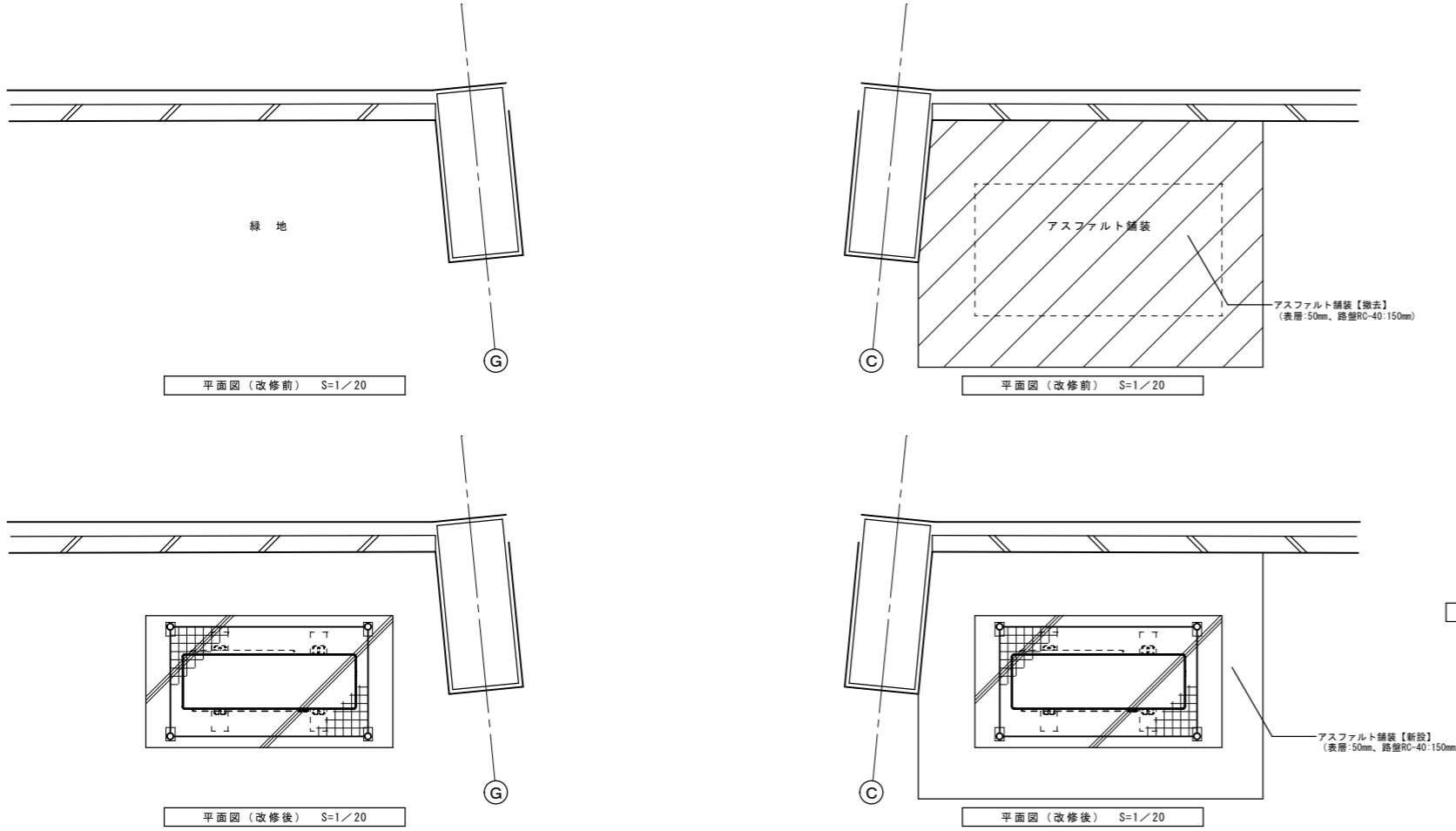
S=1/40



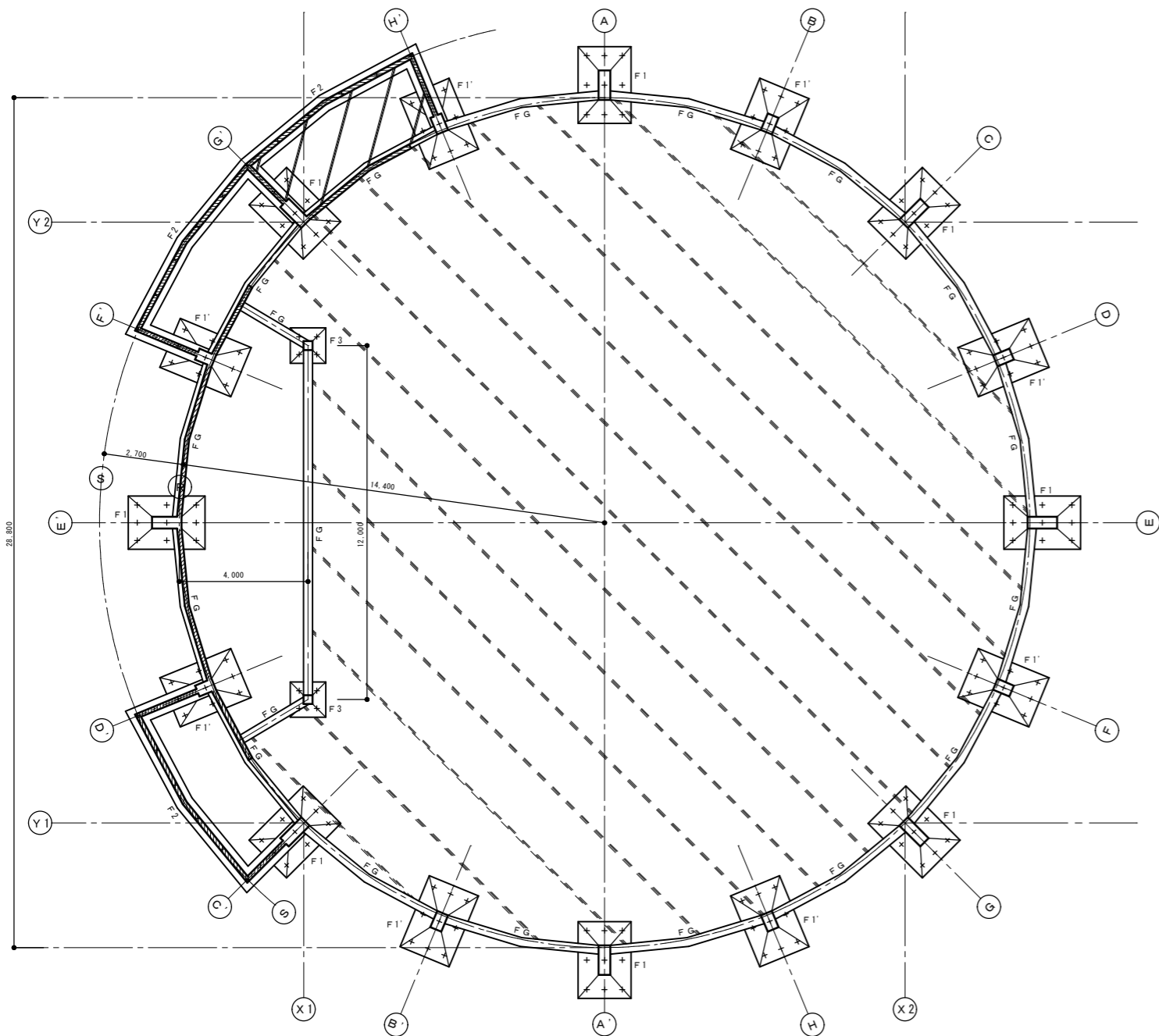
吊上げ式バスケット昇降装置交換詳細図 (1対)  
※配線・配管・コンセントボックス取付は別途電気工事に含む。  
内体育器具取付スペースには照明器具等を取付けないこと。

空調室外機置場詳細図

S=1/20

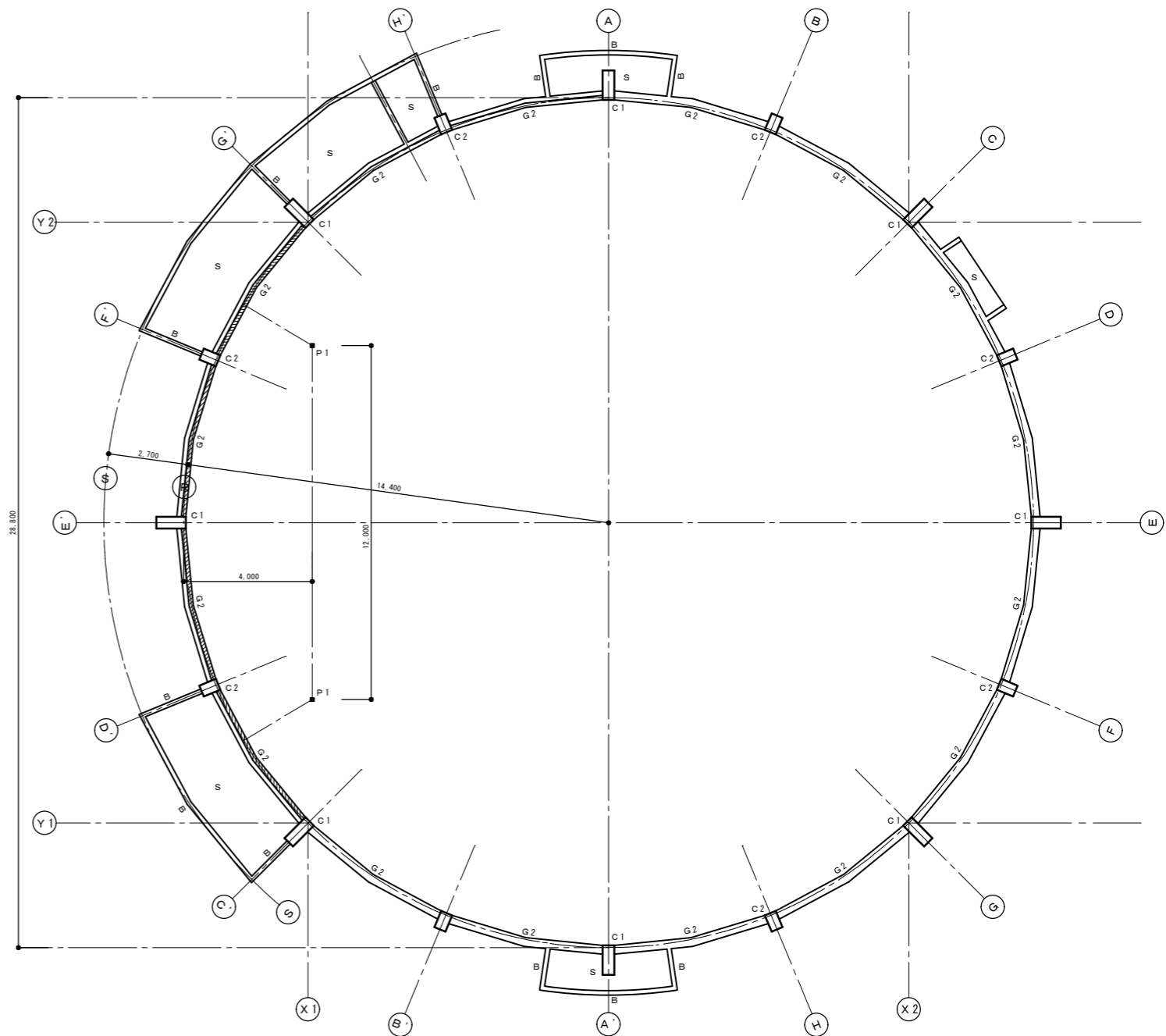




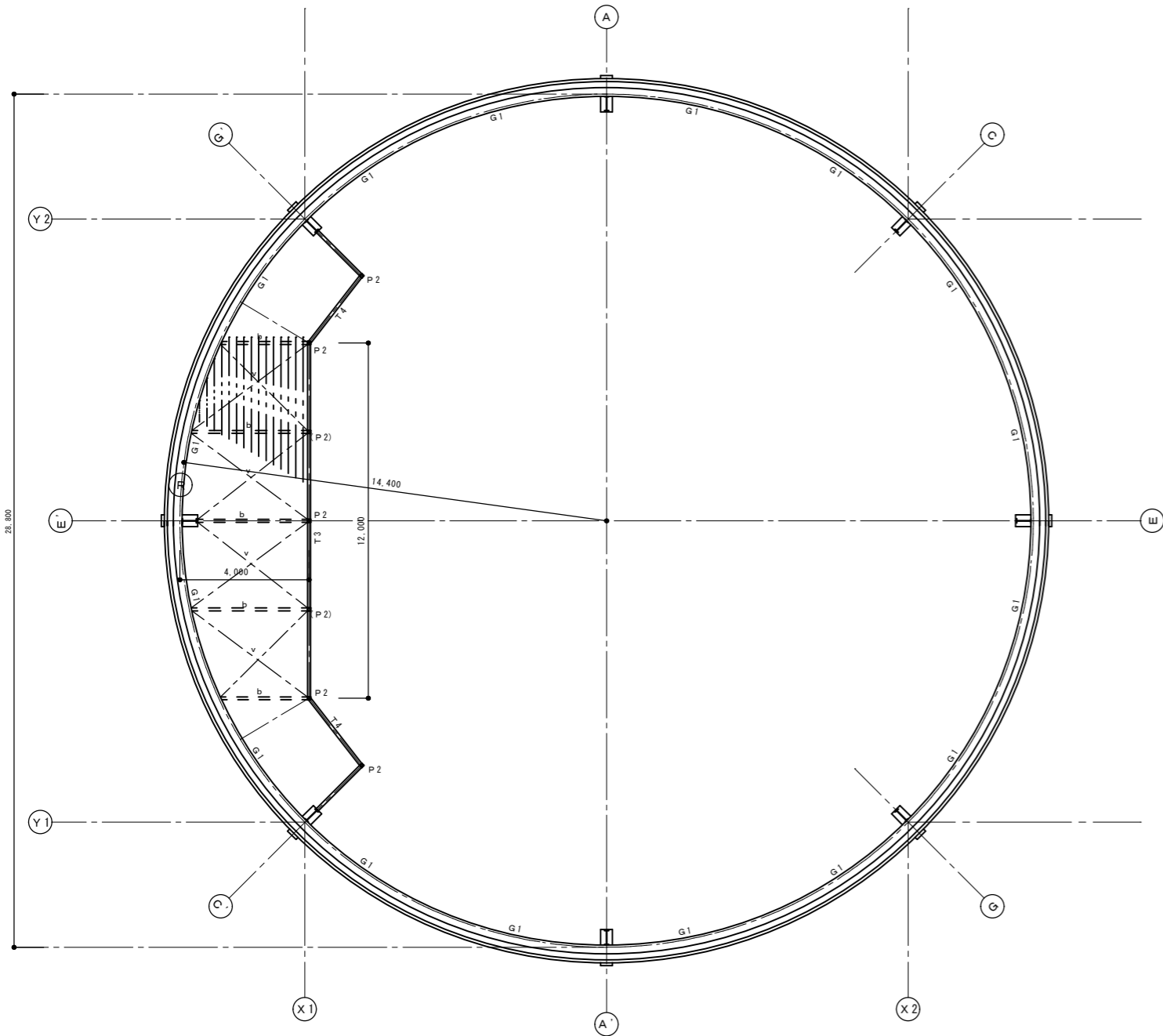


基礎伏図 S=1/100

凡例  
 : 土間>>引-1 t=200 (引・33 D13@200'ア)

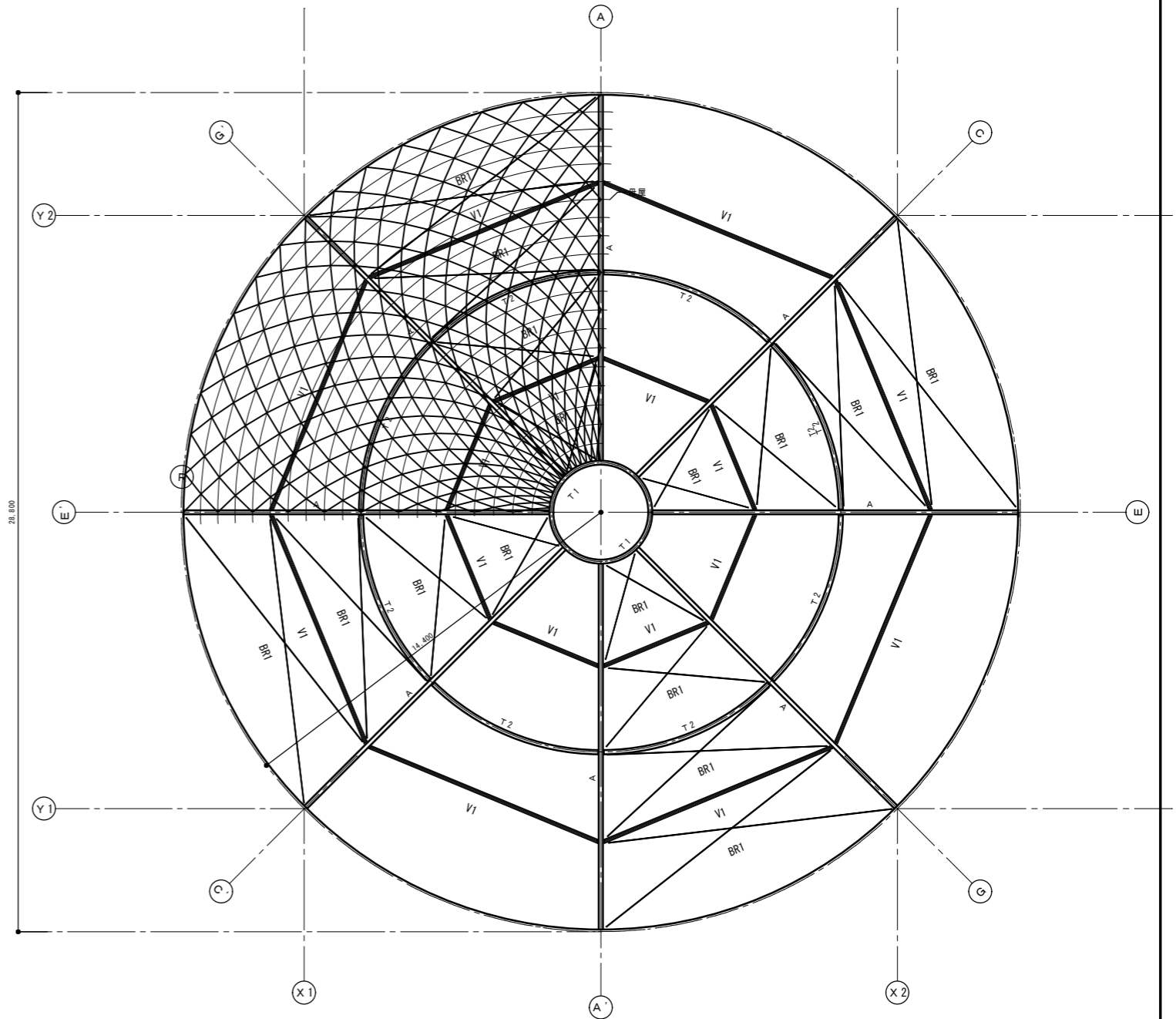


中間梁・下屋屋根伏図 S=1/100



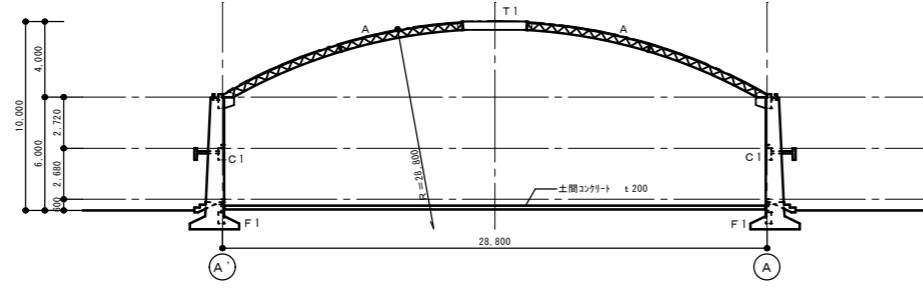
軒梁伏図 S=1/100

凡例  
 =  $\frac{b}{h}$  = H-200×100×5.5×8  
 (B.FL-9 250×300, A.BOLT M16(18A7.8-))  
 (G.FL-6 M16)  
 (P2) : 用兼 2C-100×50×20×3.2  
 〰 : 水平ブレース 13φ9-10φ9  
 - - - : フードリ線 C-75×45×15×2.3@250

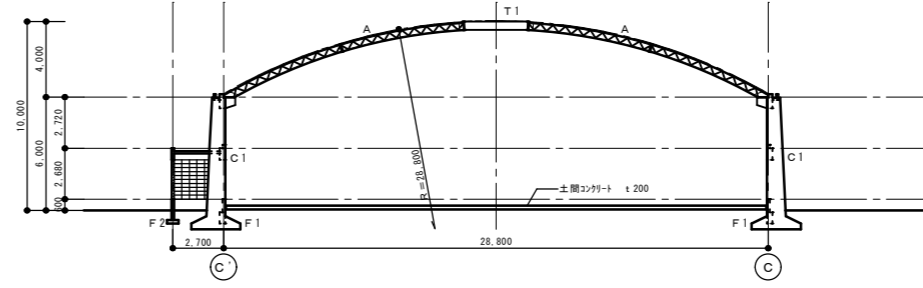


屋根伏図 S=1/100 (下弦面)

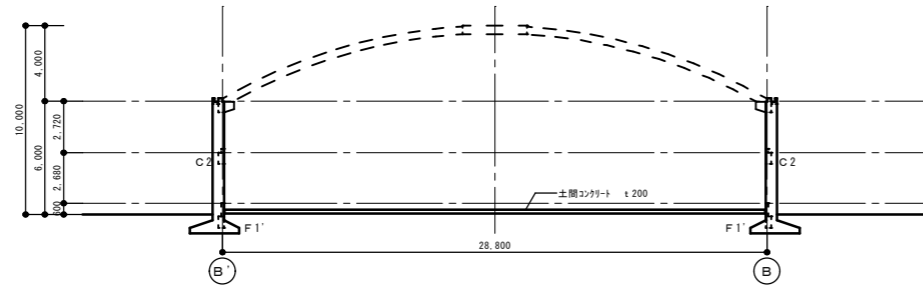
【耐震補強部材】(平成20年度 耐震補強工事)  
 V1 : 2L-60×60×5  
 BR1 : 1-M20 (JISターンバックル筋かい)



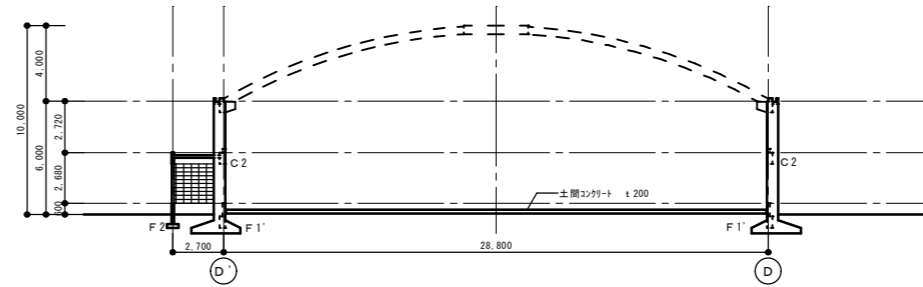
A-A' 軸組図 S=1/200



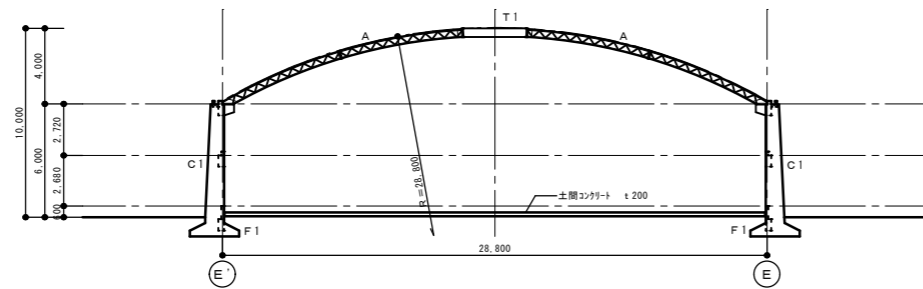
C-C' 軸組図 S=1/200



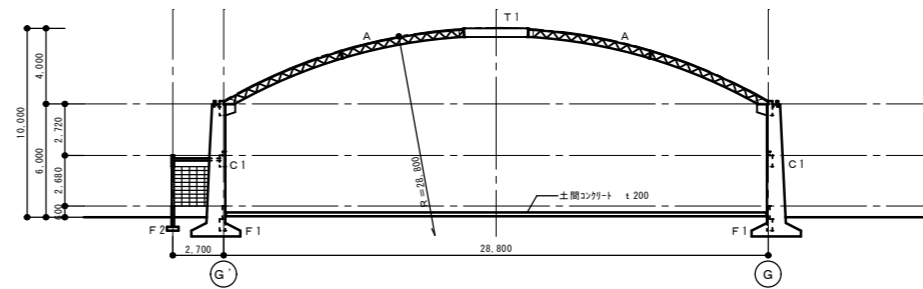
B-B' 軸組図 S=1/200



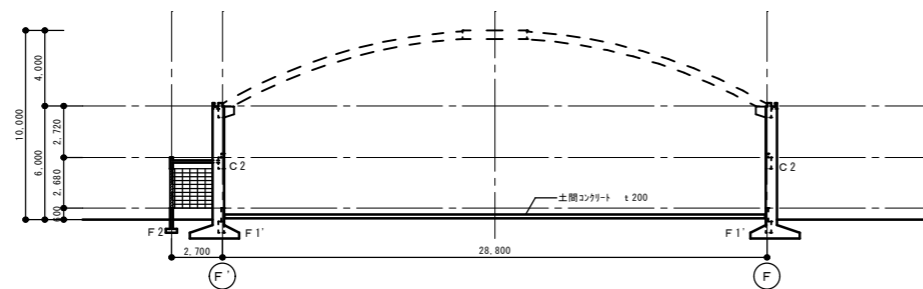
D-D' 軸組図 S=1/200



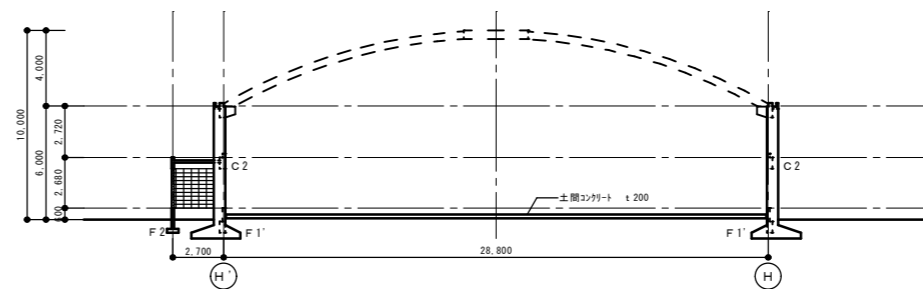
E-E' 軸組図 S=1/200



G-G' 軸組図 S=1/200

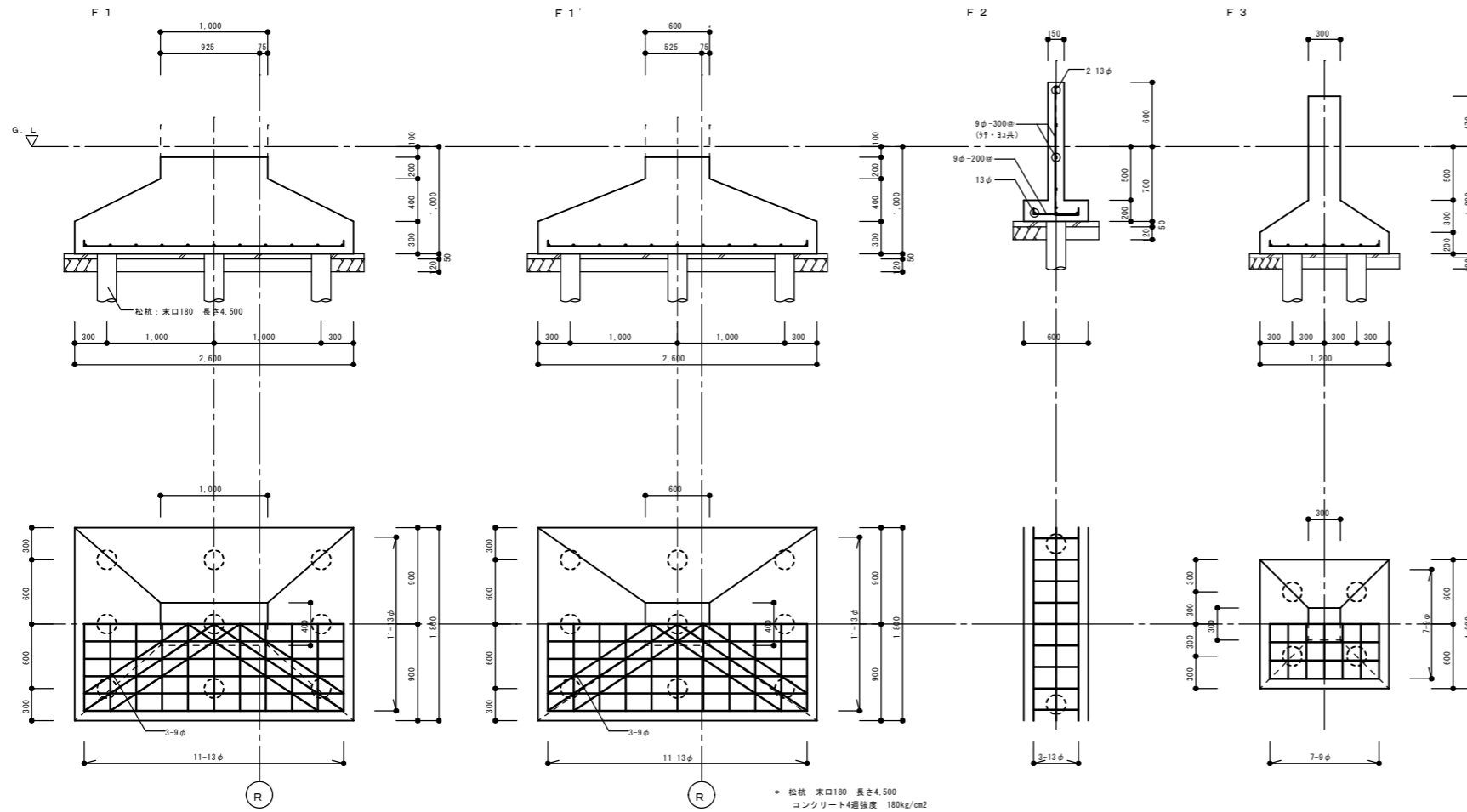


F-F' 軸組図 S=1/200



H-H' 軸組図 S=1/200

基礎リスト S=1/30



・松杭 束口180 長さ4,500  
 コンクリート4種強度 180kg/cm<sup>2</sup>

柱・梁断面リスト S=1/30

符号	C 1			C 2		位置	
	1階柱脚	1階柱頭・2階柱脚	2階柱頭	1階	2階		
断面							
注筋	12-19φ	12-19φ	12-19φ	14-19φ	6-19φ		
HOOP	9φ250#	9φ250#	9φ250#	9φ250#	9φ250#		
符号	FG		G 1		G 2		位置
	両端	中央	両端	中央	両端	中央	
断面							
上端筋	3-19φ	2-19φ	3-22φ	2-22φ	3-19φ	2-19φ	2-9φ
下端筋	3-19φ	2-19φ	3-22φ	2-22φ	3-19φ	2-19φ	2-9φ
S T P	9φ300#	9φ300#	9φ300#	9φ300#	9φ300#	9φ300#	9φ300#
腹筋	2-9φ	2-9φ	2-9φ	2-9φ	2-9φ	2-9φ	2-9φ

スラブリスト S=1/30

